

注意／Attention

ここに掲載されているシラバスは、
2024 年 4 月 12 日時点の内容です。
最新版は学務情報システムでご確認
ください。

The syllabuses listed below are the
latest version as of April 12, 2024.

Please check the Student Affairs
Information System for updates.

経済学入門A/Introduction to Economics A

担当教員/Instructor : 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 1 講時 川北キャンパス C 2 0 0

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0201J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

マルクス経済学による資本主義経済分析の初歩、マルクスらの歴史に関する考え方の概要、中国経済について講義する。

The object of this course is to teach some basic points of Marxian economic analysis of capitalist economy and Marxian view on history, subsequently to provide an overview on modern Chinese economy.

第一部では、マルクス経済学の初歩を説明する。第二部では、マルクスらの唯物史観の概要を説明する。第三部では、現在でも社会主義を標榜する中国を取りあげ、その過去と現状を概説する。

In the first part of this course, I will introduce some basic concepts of Marxian analysis of capitalist economy (e.g., class, exploitation, surplus labor etc.). In the second part, I will explain Marxian historical materialism. Finally, in the third part, I will provide an overview of Chinese economy since 1949.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

学修の到達目標は2つ。資本主義に対するマルクス経済学の分析と唯物史観の基本的な考え方を理解し、中国を例として社会主義の過去の実態と現行経済体制の特徴を知ること。

I set two goals for this class. One is to understand some basic concepts of Marxian economics such as “class” and “exploitation”. The other is to know how China’s “socialist” economy has evolved and what characteristics it currently has.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容を1講=1回で15回にわけて進める。教員はパワーポイントや補足資料に基づいて、口頭で内容を解説していく。私の授業は事前の計画より遅れる傾向があるため、それへの備えとして進行調整回を設定している。

1. オリエンテーション

第一部：資本主義経済の分析

2. 資本主義と所有

3. 再生産・剰余・分業

4. 賃金と利潤

5. 利潤と資本蓄積

第二部：歴史の見方

6. 史的唯物論の基礎Ⅰ：唯物史観の公式

7. 史的唯物論の基礎Ⅱ：社会主義と共産主義

第三部：中国を例として「社会主義」を考える

8. 中華人民共和国の経済体制Ⅰ：計画経済の実施と挫折

9. 中華人民共和国の経済体制Ⅱ：市場経済化への歩み

10. 所有制度はどうなっているか？

11. 生活水準はどれだけ上昇したか、貧困問題は怎么样了か？

12. 中国は格差社会か？

13. 中国は社会主義か？

14. 進行調整回

15. 理解度確認セッション

※講義内容と進行計画は変更される可能性がある。

The entire course is divided to 15 lectures including class orientation and final examination. One lecture remains TBA.

Class schedule

1): Class orientation

Part one: basics of Marxian economic analysis on capitalism

2): Capitalism and ownership

3): Reproduction, surplus, and division of labor

4): Wage and profit

5): Profit and capital accumulation

Part two: Marxian view on history

6) Historical materialism: Marx’s formula of historical materialism

7) Historical materialism: Socialism and communism

Part three: an overview of modern Chinese economy

8) Economic system of People’s Republic of China (1949–1978)

- 9) Economic system of People' s Republic of China (1979-)
- 10) Ownership
- 11) Living standards and poverty alleviation
- 12) Disparities
- 13) Is Chinese economy still socialist ?
- 14) TBA
- 15) Examination

The contents and the schedule of this class may be slightly changed.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションにより評価する予定。出席確認は未定。変更があれば、オリエンテーションで説明する。 Students are evaluated based on the final examination. If changes are made in evaluation method, I will announce in the class orientation.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

資本主義がわかる経済学	阿部太郎ほか	大月書店	2018	ISBN978-4-272-11124-4	参考書
経済学	置塩信雄ほか	大月書店	1987	ISBN4-272-11056-X	参考書
古典から学ぶ史的唯物論	浜林正夫	学習の友社	1997	ISBN4-7617-1435-2	参考書
The Chinese Economy: adaptation and growth	Barry Naughton	The MIT press	2018	ISBN978-0-262-53479-6	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

特に決まった方法はない。No specific way is required for preparation and review.

10. その他/In addition :

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

ミクロ経済分析/Microeconomics

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 1 講時 経済学部第 1 講義室 前期 水曜日 3 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0210J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

ミクロ経済学の基礎を講義する。具体的には、消費者行動、企業行動、完全競争均衡、経済厚生、不完全競争、不確実性、ゲーム理論の初歩的な部分を扱う。ミクロ経済学の知識は経済学部の学生の常識であり、近代経済学の諸科目はもちろんのこと経済学・経営学の多くの関連科目を履修する際にとっても有用である。講義資料に沿って内容を平易に解説するとともに、演習問題を解くことにより理解を深めてもらう。

[This course provides an introduction of microeconomic theory. Topics cover consumer behavior, firm behavior, perfect competition, economic welfare, imperfect competition, uncertainty, and game theory.]

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ミクロ経済学の基礎的な知識を身につける。近代経済学の理論・応用科目、経済学・経営学・会計学の関連科目、経済学演習（ゼミ）を履修する際に必要とされるミクロ経済学の知識を身につける。また、講義中にミクロ経済学の演習問題を解くことにより、公務員試験や資格試験の学習にも繋がるようにする。

[In this course, students will understand the basic principle of microeconomic theory. It is a foundation for learning advanced subjects in economics, management, and accounting.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

この授業の Google Classroom の授業コードは、qnpkwri である。授業の詳細、変更等は Google Classroom で周知するので、よく確認すること。

[The Google Classroom class code for this class is qnpkwri. Class details and changes will be announced on Google Classroom, so please check it carefully.]

講義資料と参考書を用いて講義を行う。

- 第 1 回：消費者行動：選好と効用関数
- 第 2 回：消費者行動：効用最大化と需要
- 第 3 回：消費者行動：需要の変化と財の分類
- 第 4 回：消費者行動：交換の理論
- 第 5 回：消費者行動：練習問題
- 第 6 回：消費者行動：まとめ
- 第 7 回：企業行動：費用と供給
- 第 8 回：企業行動：生産技術と費用
- 第 9 回：企業行動：生産要素と需要
- 第 10 回：企業行動：短期費用と長期費用
- 第 11 回：企業行動：練習問題
- 第 12 回：企業行動：まとめ
- 第 13 回：競争経済：市場均衡
- 第 14 回：競争経済：市場調整
- 第 15 回：競争経済：交換経済
- 第 16 回：競争経済：生産経済
- 第 17 回：競争経済：練習問題
- 第 18 回：競争経済：まとめ
- 第 19 回：経済厚生：パレート効率性
- 第 20 回：経済厚生：厚生経済学の基本定理
- 第 21 回：経済厚生：練習問題
- 第 22 回：経済厚生：まとめ
- 第 23 回：不完全競争：独占市場
- 第 24 回：不完全競争：クールノー均衡・シュタッケルベルグ均衡
- 第 25 回：不完全競争：練習問題
- 第 26 回：不完全競争：まとめ
- 第 27 回：不確実性とゲーム理論：標準形ゲーム
- 第 28 回：不確実性とゲーム理論：支配戦略とナッシュ均衡
- 第 29 回：不確実性とゲーム理論：練習問題
- 第 30 回：不確実性とゲーム理論：まとめ

[This course is centered on a lecture, using textbooks and handouts. The contents and schedule are as shown below.]

[1] - [6]: consumer behavior
[7] - [12]: firm behavior
[13] - [18]: perfect competition
[19] - [22]: economic welfare
[23] - [26]: imperfect competition
[27] - [30]: uncertainty and game theory

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションにより成績評価を行う。平常点（授業中の課題、宿題等）を考慮する場合がある。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新版 ミクロ経済学	武隈 慎一	新世社	2016	978-4883842391	参考書
ミクロ経済学の力	神取 道宏	日本評論社	2014	978-4535557567	参考書
ミクロ経済学	奥野 正寛	東京大学出版会	2008	978-4130421270	参考書
演習ミクロ経済学 第2版	武隈 慎一	新世社	2017	978-4883842490	参考書
ミクロ経済学の技	神取 道宏	日本評論社	2018	978-4535558960	参考書
経済学のためのゲーム理論入門	ロバート・ギボンズ	岩波書店	2020	978-4000614245	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習に関しては、必要に応じて講義資料をあらかじめ読んでおくこと。復習に関しては、講義中に解いた演習問題を十分に理解すること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、qnpkwri である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 30 分間。それ以外は、授業終了時またはメールで日時を約束すること。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時 経済学部第26演習室. 前期 金曜日 5講時 経済学部第26演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第23演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第23演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学部第 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4講時 経済学部第1演習室. 後期 月曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 火曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 第3小講義室. 後期 火曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 久保田 莊/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 久保田 莊/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4講時 経済学部第7演習室. 前期 月曜日 5講時 経済学部第7演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4講時 経済学部第26演習室. 後期 月曜日 5講時 経済学部第26演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4講時 経済学部第21演習室. 後期 金曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 4 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4講時 経済学部第3演習室. 後期 月曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 経済学部第3演習室. 前期 水曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学部第23演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第23演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第21演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第 9 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第 9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) A/Seminar for Economics (I)A

担当教員/Instructor: 矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

民法/Civil Law

担当教員/Instructor：石垣 茂光/SHIGEMITSU ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 2講時 経済学部第3講義室 前期 金曜日 1講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-LAW801J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom： mmbrrvpl

分業社会の今日、我々は他人の財物を獲得したりサービスを受けて生活をしているが、それらの獲得手段として契約がある。この契約を法的にみるとどのようなことになるのか。とりわけ紛争が生じた場合にはどのように法的に解決されるのか。具体的に身の回りで生ずる紛争を例示しながら、民法やその他の特別法（消費者契約法・特定商取引法・割賦販売法・借地借家法、など）がどのようにルールづけているのか、つまりはどのような条文が適用されるのかを具体的にみていくことにする。さらには、条文を適用する際に条文を解釈することも必要となり、裁判所においてどのように解釈され、法律が適用されているのかも含めてみていくことにする。これにより、経済活動をルールづけている民法を具体的に知ることができるとともに、経済活動を多面的・立体的にみることもできるようになる。

またこれらを通じて、法的思考方法を理解し、身に付け、社会で起きている様々な紛争を法的にみることができるようになるとともに、権利意識を身につけることを目的とする。

This course provides explanations of the economic transaction based on the concepts of law and helps students learn how to resolve conflict by applying law, as well as deepen understanding of its court decision.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

1. 様々な取引関係（契約）を法的に説明することができる。
2. 争いが生じた場合、法律を適用することによってどのように解決されるのかを説明することができる。
3. 民法上の主要な争いについての裁判所の判断を説明することができる。

The purpose of this course is to help students explain many cases of economic conflict and their court decisions by developing thinking skills through lectures.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回：ガイダンス1（法学入門、法的思考とは何か、法律を学ぶことの意義・方法）

第2回：ガイダンス2（民法とは何か）

第3回：権利主体としての自然人と法人

第4回：契約の成立要件（申込と承諾）

第5回：契約の有効要件としての能力（意思能力と行為能力）

第6回：契約の有効要件としての意思表示

第7回：契約の有効要件としての目的

第8回：有権代理・無権代理

第9回：表見代理

第10回：解除・クーリングオフ

第11回：弁済の要件

第12回：弁済の効果

第13回：消滅時効

第14回：債務不履行1（履行強制）

第15回：債務不履行2（損害賠償請求 その1 要件）

第16回：債務不履行3（損害賠償請求 その2 範囲）

第17回：売買契約1（双務契約の原則）

第18回：売買契約2（契約不適合）

第19回：売買契約3（物権の取得）

第20回：売買契約4（不動産物権変動）

第21回：売買契約5（動産物権変動）

第22回：賃貸借契約1（総説）

第23回：賃貸借契約2（不動産賃貸借）

第24回：消費貸借契約

第25回：担保の必要性

第26回：人的担保1（保証）

第27回：人的担保2（連帯債務）

第28回：物的担保1（抵当権）

第29回：物的担保2（非典型担保）

第30回：まとめ（理解度確認セッション・授業を振り返って）

This is a lecture-based course.

The contents and schedule are as shown below:

- 1) Learn about 'claims and obligations' based on a contract.
- 2) Understand requirements for various contracts.
- 3) Recognize the occurrence and extinction of 'claims and obligations' based on case studies.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

講義は日本語で行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回行うレポート課題の評価が 50%、理解度確認セッションの評価が 50%。

なお、評価基準は、

専門用語を正確に理解しているか、

条文を事実に適切に当てはめることができるか、

条文自体の解釈が複数ある場合に自分の考えを論理的に展開することができるか、
であるが、より詳細には開講時に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

オリエンテーション民法〔第 2 松久三四彦ほか版〕	有斐閣	2022 年 4 月	9784641138919	参考書
契約法入門	窪田充見	弘文堂	2022 年 3 月	9784335359033 参考書
消費者のための民法入門	村千鶴子	新世社	2019 年 8 月	9784883842988 参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

レジュメを配布します。レジュメには項目の最初に設問を設定しています。予習として、この設問に答えてみる。まずは自分の感覚として答えを考え、ついで参考書等で調べ、最後に授業で確認してください。その際、自分の考えとの異同を確認し、どうしてそのような答えになるのかを自ら考えてみてください。

毎回の授業が終わったら、何が理解できて何が理解できないのかを確認する。理解できない部分は、まずは自分で調べ、それで解決できない場合にはメール等で質問してください。

10. その他/In addition :

メールアドレスは、s-ishigaki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp です。

簿記1/Bookkeeping 1

担当教員/Instructor: 成田 由加里/YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 6 講時 会計大学院講義室A

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC295J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを到達目標とする。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回: オリエンテーション・簿記勘定体系とビジネスプロセス/Orientation・Bookkeeping Chart and Business Process

講義の概要、講義の進め方、成績評価、学習方法（予習・復習）などについてシラバスを用いて確認する。

第2回: 【損益計算】一般商品販売/General product sales

損益計算の基本に関する会計処理を学ぶ。

第3回: 【損益計算】一般商品販売・消費税/General product sales and consumption tax

損益計算の基本と消費税に関する会計処理を学ぶ。

第4回: 【損益計算】棚卸資産/Inventories

売上原価を算定するうえで重要なファクターである棚卸資産の算定方法を学ぶ。

第5回: 【損益計算】商品売買～委託販売/Product Sales-Consignment Sales

委託売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第6回: 【損益計算】商品売買～試用販売/Product Sales-Trial Sales

試用売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと勘定科目の仕組みを学ぶ。

第7回: 【損益計算】商品売買～その他/Product Sales- Others

その他売買について、ビジネスプロセスを理解し商品・資金の流れと収益認識基準に基づく勘定科目の仕組みを学ぶ。

第8回: 【損益計算】工事契約に関する会計処理（建設業会計）/Accounting for construction contracts

請負工事収益の認識基準に基づく会計処理を学ぶ。

第9回: 【金融商品】現預金・金銭債権/Cash and deposits, monetary receivables

貸借対照表の構造を理解し、現預金・金銭債権の評価に基づく会計処理を学ぶ。

第10回: 【金融商品】貸倒引当金/Allowance for doubtful accounts

キャッシュ・フロー見積法等貸倒引当金の会計処理及び貸倒引当金に関するBS・PL表示を学ぶ。

第11回: 【金融商品】有価証券/Securities

有価証券の4分類及び有価証券の期末評価に関し、評価方法・評価差額の処理とその理由について学ぶ。

第12回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから①②の会計処理を学ぶ。

第13回: 【固定資産】有形固定資産/Tangible fixed assets

①取得②費用化③減少④資産性に関する評価の4つのフェーズから③④の会計処理を学ぶ。

第14回: 理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答考査を実施する。

第15回: 総括/Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・理解度確認セッション(60%)・予習復習理解度確認セッション(小テスト)＋課題(40%)で評価する。

・AA(90点以上)、A(80点以上90点未満)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)、D(60点未満; 不合格)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

必要に応じて講義で紹介する。

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.
予習・復習確認セッション（小テスト）を予定している.

10. その他/In addition :

履修条件：日商簿記2級程度の知識を有することが望ましい.
PC 及び電卓持参のこと.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺で掲載する（要 東北大ID）

https://docs.google.com/spreadsheets/d/10RZeernrdwaToua7siY_H8kzQUFkRrFwPEqds5jt0dk

経済学入門B/Introduction to Economics B

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 3 講時 川北キャンパス A 2 0 0

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0202J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

ミクロ経済学の基礎を学ぶ。経済学とはどのような学問なのか自分なりに理解する。

本年度は「ミクロ経済学」のみを扱う

This class is the introduction to Microeconomics..

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ミクロ経済学の基礎を学び、本格的な経済学の学習につなげられるようにする。

Learn economics more to study economics

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

オリエンテーション ミクロ経済学とは? Introductory to economics and micro economics

需要と供給 比較静学 The Market Forces of Supply and Demand

弾力性、消費者余剰、生産者余剰、競争と効率性 Elasticity and Its Application、Consumers, Producers, and the Efficiency of Markets

消費者選択の理論 The Theory of Consumer Choice

応用経済学 Applied economics

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションをもとに成績を付ける

Qualified by the final exam.

数回の授業内課題を課す。(10%程度)

We will have in-class assignments.

詳しい成績評価方法は授業内で説明する

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

アセモグル/レイブソン/リスト	アセモグル/レイブソン	東洋経済新報社	2020	978-	教科書
ミクロ経済学	ン/リスト			4492315132	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

上記教科書には例や応用やクイズがあり、授業内で使用しますので購入してください

The textbook includes additional examples, applications, and problems, as well as quizzes so you can test yourself.

lGoogle Classroom のコードは
piffv7a

です。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

マクロ経済分析/Macroeconomics

担当教員/Instructor : 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 3 講時 経済学部第 1 講義室 後期 木曜日 1 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0214J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

マクロ経済学は国内総生産 (GDP)、物価、利子率といった集計変数の動きを解明する経済学の一分野である。この講義ではマクロ経済学の基本的な分析手法を習得してもらうとともに、最近の同分野の発展についても解説したい。

The purpose of this lecture is to instruct students in the basics of macroeconomics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

基本的なマクロモデルの完全な理解を目標としたい。特に、それぞれのモデルにおいて、国内総生産 (GDP) はどのように決まるか、財政金融政策は GDP の水準にどのような影響を与えるか、といった点を受講者は自分の言葉で説明できるようになってもらいたい。

Students are supposed to understand finally how a macroeconomy is working.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容を対面講義形式で解説する。

1. 国民経済計算上の諸概念
2. 短期のマクロモデル (45 度線モデル、IS-LM モデル、総需要-総供給モデル、新古典派モデル)
3. フィリップス曲線と自然失業率仮説
4. 開放経済への応用
5. マクロ経済政策論争
6. 消費の理論
7. 投資の理論
8. 金融政策の理論と実際
9. 経済成長

This online lecture covers the following topics:

- (1) System of National Accounting
- (2) Short-run Macroeconomic Models
- (3) Phillips Curve and the Natural Unemployment Hypothesis
- (4) Models of Open Economies
- (5) Controversy over Macroeconomic Policies
- (6) Theory of Consumption
- (7) Theory of Investment
- (8) Theory and Practice of Monetary Policy
- (9) Economic Growth

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション 1 (11 月下旬実施予定) と理解度確認セッション 2 (1 月下旬実施予定) の成績、および、宿題の提出状況から総合的に評価する。

Students will be evaluated based on their test scores and the submission status of homework.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

マクロ経済学 ― 入門の「一歩前」から応用まで (新版)	平口良司, 稲葉大	有斐閣	2020	4641150761	参考書
ブランシヤール マクロ経済学上 (第 2 版): 基礎編	オリヴィエ ブランシヤール	東洋経済新報社	2020	4492315284	参考書
ブランシヤール マクロ経済学下 (第 2 版): 拡張編	オリヴィエ ブランシヤール	東洋経済新報社	2020	4492315292	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

理解を完全にするために宿題を時々課すので、それを解いて期限までに提出すること

Students are required to submit homework by the deadline.

10. その他/In addition :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を通じて行うので、この科目の履修を考えている人は授業開始前に Classroom にアクセスしておくこと (クラスコード: 17dnbxg)

教科書は使用しない。授業で使用するスライドを Google Classroom にアップロードしておくので、それを教科書代わりにすること。

Before the new semester starts, students should access the classroom of this subj

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学部第26 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第26 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4講時 経済学部第1演習室 後期 水曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 4 講時 経済学部第23演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第23演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学部第 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時 経済学部第 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 第3小講義室. 前期 火曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 火曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 久保田 莊/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 久保田 荘/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 経済学部第7 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第7 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4講時 経済学部第26演習室. 前期 月曜日 5講時 経済学部第26演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 4 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4講時 経済学部第3演習室. 前期 月曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅰ）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 経済学部第21演習室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（I）B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (I) B/Seminar for Economics (I)B

担当教員/Instructor: 矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

簿記2/Bookkeeping 2

担当教員/Instructor：成田 由加里/YUKARI NARITA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 6 講時 会計大学院講義室A

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ACC296J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

企業の経済活動を表す財務諸表を作成するために基本となる簿記の考え方を学ぶ。対象とするのは個別財務諸表であり、個別財務諸表作成レベルの簿記の理解をその目的とする。経済環境に新たな変化に対し、販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方の「幹」を太くすることにより、どのような場面でも柔軟に対応できる基礎力が養われることが本講義の目的である。

To learn the basics of bookkeeping to prepare financial statements that represent the economic activities of companies. The focus of the course is on individual financial statements. The goal of this course is to develop the ability to respond flexibly in any situation by fully understanding the "core" of the bookkeeping concept while being aware of business processes such as sales, financing, and investment, even if a new change occurs in the economic environment.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

販売、資金調達、投資等のビジネスプロセスを意識しつつ簿記の考え方や背景を理解し、個々の取引を会計の表現方法に変換し財務諸表作成に至る会計処理を修得することを到達目標とする。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

第1回：オリエンテーション・研究開発費とソフトウェア/Orientation, R & D expenses and software

講義の概要、成績評価、学習方法などについて説明を行い、市場販売目的ソフトウェア等の会計を学ぶ。

第2回：資産除去債務/Asset retirement obligations

会計基準の基本的考え方を理解した上で資産除去債務の基本型及び債務見積もりの変更の会計処理を学ぶ。

第3回：減損/Impairment

減損の重みを理解した上で認識・測定の基本形を学び、のれん・共用資産がある場合の減損会計を学ぶ。

第4回：リース/Lease

リース取引＝「固定資産取引」＋「金融取引」と理解した上で、取得・費用化の観点から会計を理解する。

第5回：引当金・退職給付引当金/Provisions and Provision for retirement benefits

引当金及び引当金に加えて特有の事象を有する退職給付会計（個別）について理解しその会計処理を学ぶ。

第6回：退職給付引当金/Provision for retirement benefits

①基本：企業会計原則＋②特有の事象（1）年金資産～控除（2）数理計算上の差異等～遅延認識を学ぶ。

第7回：純資産/Net assets

純資産の部、株主資本の変動を理解し、欠損填補、自己株式の取得、処分、消却時等の会計処理を学ぶ。

第8回：純資産・ストック・オプション/Net assets, Stock option

新株予約権の発行時、権利行使時等の会計処理を理解した上で、ストック・オプションの基本を学ぶ。

第9回：ストック・オプション/Stock option

適正な期間損益計算のため株式報酬費用の適切配分及び条件変更時の会計処理を学ぶ。

第10回：金融商品～デリバティブ/Financial Instruments-Derivative

先物取引、オプション取引等デリバティブに関する会計処理を理解する。

第11回：金融商品～デリバティブ・ヘッジ/Financial Instruments-Derivative Hedging

デリバティブを基礎にヘッジ会計が果たす有用な役割を理解した上でヘッジ会計の会計処理を学ぶ。

第12回：外貨換算/Foreign currency conversion

外貨建取引の換算、外貨建金銭債権債務の換算、外貨建有価証券の換算、為替予約について学ぶ。

第13回：税効果会計/Tax effect accounting

法人税、地方税、特に事業税の課税特質、繰越欠損金制度を理解し資産負債法による計算方法を学ぶ。

第14回：理解度確認セッション/Examination

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

第15回：総括/Review

理解度確認セッションの確認のほか、講義全体を通じた総括を行う。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

・理解度確認 セッション（60%）・予習復習理解度確認セッション（小テスト）＋課題（40%）で評価する。

・AA（90点以上）、A（80点以上90点未満）、B（70点以上80点未満）、C（60点以上70点未満）、D（60点未満；不合格）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

必要に応じて講義で紹介する。

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習範囲に関して、疑問点を整理して講義に臨むこと.
予習・復習確認セッション（小テスト）を予定している.

10. その他/In addition :

履修条件：日商簿記２級程度の知識を有することが望ましい.
PC 及び電卓持参のこと.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、Classroom のコードなどの補足情報は、下記シラバス補遺で掲載する（要 東北大 ID）

https://docs.google.com/spreadsheets/d/10RZeernrdwaToua7siY_H8kzQUFkRrFwPEqds5jt0dk

経営学入門/Introduction to Business and Management

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時 川北キャンパス C 2 0 0

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN201J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

C・I・バーナードの近代組織論を基軸に、組織とは何か、どのようなメカニズムで成り立っているか、どのように管理されるべきか、といった問題意識を背景に経営管理論の諸概念について学習する。

This lecture will provide you the basic knowledge of several concepts of business administration referring to the modern organization theory produced by C.I. Barnard so that you can understand what is the mechanism of business organization, how it should be managed and so on.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

2 年次以降、経営学を専門的に学習するにあたっての入門的知識を得ることを目指す。とりわけ身近で小規模な組織を題材に、目の前の具体的な経営事象について多角的に分析し、本質的に理解する経営学的センスを習得することを目標とする。

This lecture aims to let you acquire the introductory knowledge of management and the academic mind in learning how to analyze critical issues embedded in a small business case from various points of view

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

映像資料（ドラマ教材）等を交えながら、以下の分野（項目）について概説する。

- (1) 組織理論の基本枠組（管理過程論、協働システム論、意思決定論）
- (2) 組織構造論（連結ピンモデル、階層原理、組織のデザイン）
- (3) 組織行動論①モチベーション論（内発的動機付け、X-Y理論、動機付け-衛生理論）
- (4) 組織行動論②リーダーシップ論（権限受容説、行動類型論、道徳的リーダーシップ論）
- (5) 組織認識論（組織化プロセス、イナクトメント、組織文化の変革モデル）

本講義は対面授業を基本とするが、Google クラズルーム（下記コード）を通じて授業資料の配布、解説動画の配信及び提出課題の受付、オンライン考查を実施する予定である。

クラス コード : hvfkx2j

教室では、映像資料の視聴と演習問題に関するディスカッションを中心に進める。授業欠席時も課題提出は可能である。正規の履修登録をせず Google クラズルームのみの登録を通じたオンライン聴講を認める。

We will explore the following contents of the organization theories and frameworks; designing organizational structure, organizational behavior and organizational epistemology.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

各講の課題レポート及びオンライン考查に基づいて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

コア・テキスト経営学入門 第2版	高橋伸夫	新世社	2020	9784883843176	教科書
基礎コース 経営学 第2版	小松章	新世社	2006	4883841057	参考書
テキスト経営学 増補版	井原久光	ミネルヴァ書房	2000	4623051293	参考書
経営管理（有斐閣アルマ）新版	塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男	有斐閣	2009	4641123756	参考書
1からの経営学	加護野忠男、吉村典久	碩学舎	2006	4502696102	参考書
わかる経営学	小樽商科大学・高大連携チーム	日本経済評論社	2005	4818817678	参考書
経営学入門（日経文庫）	榊原清則	日本経済新聞社	2002	4532108535	参考書
ドラマで学ぶ経営学入門	河西邦人	PHP 研究所	2007	4569659713	参考書
ケースに学ぶ経営学 新版（有斐閣ブックス）	東北大学経営学グループ	有斐閣	2008	9784641183582	参考書

8. 関連URL/URL :

毎回の授業に教科書を持参（参照）することが必須である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎週、次回の講義で取り上げる項目のテキスト該当箇所を指示するので、事前に通読しておくこと。また講義後は、学習した項目に関連して参考文献をテキストで確認し、図書館等で調べ理解を深めることが望ましい。

10. その他/In addition :

履修の条件：とくに予備知識を必要としない。

連絡先（メールアドレス）：教員用 HP (<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>) で確認のこと。

オフィスアワー：木曜3限、その他随時（出張等で不在の場合もありますので事前にご確認いただくことをお勧めします。研究室：経済学部棟 6F601）

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

（その場合であってもオンライン聴講は可能です）

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 第2小講義室. 前期 火曜日 5講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 第2小講義室. 後期 火曜日 5講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 経済学部第2講義室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (Ⅰ)A

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 経済学部第24演習室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第24演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第22 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第22 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第22演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第22演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4講時 経済学部第13演習室. 後期 水曜日 5講時 経済学部第13演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 第3小講義室. 前期 水曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4講時 第3小講義室. 後期 水曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第10 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第10 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第10 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第10 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時. 前期 金曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor : 藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 第2小講義室. 前期 水曜日 5講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) A/Seminar for Business Management (I)A

担当教員/Instructor: 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

原価計算 1 / Cost Accounting 1

担当教員/Instructor : 鈴木 翔太/SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 6 講時 会計大学院講義室A

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。

2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。

3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.

2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.

3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

講義の進め方 :

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・原則として毎回講義の冒頭に小テストを実施する./In principle, a quiz will be given at the beginning of each lecture.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

第1回 : オリエンテーション、工業簿記・原価計算の基礎 1 / Orientation・Basic of industrial bookkeeping and cost accounting1

講義の目的および全体のフレームワーク、進め方、成績評価方法、学習方法に関するガイダンスを行う。その上で、原価計算の目的と原価概念について講義する。

第2回 : 工業簿記・原価計算の基礎 2 / Basic of industrial bookkeeping and cost accounting2

原価計算の手続きと勘定連絡及び財務諸表との関係について講義する。

第3回 : 費目別原価計算 (材料費) / Item cost accounting I (Material cost)

材料費の分類及び会計処理方法について講義する。

第4回 : 費目別計算 (労務費計算) / Item cost accounting (Labor cost)

労務費の分類及び会計処理方法について講義する。

第5回 : 費目別計算 (経費計算) / Manufacturing overhead

経費の分類及び会計処理方法について講義する。

第6回 : 製造間接費 / Manufacturing overhead

製造間接費の配賦方法について講義する。

第7回 : 演習問題 (費目別計算) / Exercises

原価計算 1 の第6回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第8回 : 個別原価計算 / Single process costing

個別原価計算の計算手続について講義する。

第9回 : 個別原価計算における仕損 / Spoilage expenses Shrinkage loss in Job order costing

個別原価計算における仕損及び作業屑の計算手続について講義する。

第10回 : 演習問題 (個別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第9回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第11回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門別計算の計算手続について講義する。

第12回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

部門個別費と部門共通費の集計 (第1次集計) について講義する。

第13回 : 部門別計算 / Departmental cost accounting

補助部門費の配賦 (第2次集計) について講義する。

第14回 : 演習問題 (部門別原価計算) / Exercises

原価計算 1 の第13回までで学習した基礎知識を元にして、さらに多面的な観点からの練習問題を解くことにより、これまで学習してきた内容の総合的な理解を深めていく。

第 15 回：演習問題(理解度確認セッション)/Exercises

これまで学習してきた基礎的事項の理解を確認するために筆答審査を実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価法 :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満 : 不合格)

Evaluation method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or more and 1

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商 1 級 工業簿記・原価計算 1 費目別計算 個別原価計算編 第 2 版 (旧:TAC 簿記の教室シリーズ)	鈴木 隆文 著	TAC 出版	2019	9784813285779	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・復習について :

・予習 : 次回講義分について必ず予習すること

・復習 : 各回の講義で課題を課す。事例について今回以前の分までを反復継続的に復習し、いつ小テストがあっても大丈夫なようにしておく必要がある。宿題以外の問題についても自主的に学習することを期待する。

About preparation and review:

・Preparation: Be sure to prepare for the next lecture

・Review: Tasks are assigned in ea

10. その他/In addition :

・オフィスアワー/office hour : 講義終了後/After the lecture

連絡先/contact address : shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他/others :

・簿記 2 級程度の知識を有していることが望ましい。 / It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・電卓を用意しておくこと./Prepare a calculator.

各回の授業方法の詳細、オフィスアワー、

会計学入門/Introduction to Accounting

担当教員/Instructor : 亀岡 恵理子/ERIKO KAMEOKA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 川北キャンパス A 2 0 0

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC201J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

会計はビジネスに必須のコミュニケーション・ツールであり、しばしばビジネスの共通言語と表現される。会計の役割は、財務報告のサプライチェーンに携わる利害関係者間のコミュニケーションを促進することであり、会計情報は各利害関係者の意思決定を支える基礎となる。

この授業は会計に関する基礎的な知識や技術を習得することを目的とする。主たる会計情報である損益計算書や貸借対照表などの財務諸表を利用できるようになるためには、その作成方法である複式簿記を学ぶことが有益である。授業では複式簿記の仕組みについても説明する。

Accounting is an essential communication tool for business and is often called "the language of business." The role of accounting is considered to facilitate communication between participants in the financial reporting supply chain. Accounting information becomes the basis of decision-making by each stakeholder.

This class aims to acquire the basic knowledge and skills of accounting. It is useful to learn double-entry bookkeeping because financial statements such as income statement and balance sheet are prepared based on it. The class explains the system of it.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下を学習の到達目標とする。

- ・財務諸表を作成する仕組みとしての簿記を理解すること
- ・実際に手を動かすことによって、簿記の実践スキルを習得すること（レベルとしては日商簿記検定 3 級程度、一部 2 級レベルの内容を追加）
- ・財務諸表に記載されている会計情報の内容や、企業会計や企業経営に関連する新聞・雑誌記事の内容をある程度理解できるようになること

The learning goals are as follows:

- ・Acquiring the knowledge of double-entry bookkeeping as a mechanism for preparing financial statements.
- ・Acquiring the practical skills of double-entry bookkeeping (about 3rd or 2nd level of Nissho Bookkeeping Examination)
- ・Acquiring the knowledge to understand the accounting information in financial statements and applying it when reading newspapers and journal articles

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom クラスコード : yg3dhrd

第 1 回 : ガイダンス

第 2 回 : 財務諸表の種類と構造、複式簿記の概観

第 3 回 : 簿記一巡の手続、帳簿、取引の記録

第 4 回 : 仕訳と転記（資金調達取引、現金と預金）

第 5 回 : 仕訳と転記（様々な資産の取得・売却取引、商品売買取引）

第 6 回 : 仕訳と転記（複数の代金決済方法）

第 7 回 : 仕訳と転記（税金、その他の債権・債務取引）

第 8 回 : 補助簿、課題の提示（予定）

第 9 回 : 課題の確認、決算手続（試算表の作成、帳簿の締切）

第 10 回 : 決算整理事項（商品勘定の整理）

第 11 回 : 決算整理事項（収益・費用の見越・繰延）

第 12 回 : 決算整理事項（減価償却、貸倒引当金）

第 13 回 : 決算整理事項（消耗品など）

第 14 回 : 精算表の作成、財務諸表の利用（財務分析）

第 15 回 : 理解度確認セッション

#1: Guidance

#2: Structure of financial statements, an overview of double-entry bookkeeping

#3: Double-entry bookkeeping, books, and transaction records

#4: Journal entries (financing transactions, cash, and deposits)

#5: Journal entries (acquisition/sale transactions of assets, transaction of goods)

#6: Journal entries (variety ways of payment)

#7: Journal entries (tax, other receivables, and payables transactions)

#8: Subsidiary ledgers, Homework assignment (planned)

#9: Closing procedure (trial balance, closing books)

#10: Closing adjustment (adjustment for goods)

#11: Closing adjustment (accrual and deferral of income/expense)

#12: Closing adjustment (depreciation, allowance for bad debt)

#13: Closing adjustment (consumable goods etc.)

#14: Preparation of a working sheet, Using financial statements (financial analysis)

#15: Examination

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

小課題 (30%) と理解度確認セッション (70%) により評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

検定簿記講義／3級商業簿記	渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著	中央経済社	2024		教科書
検定簿記ワークブック／3級商業簿記	渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著	中央経済社	2024		教科書
起業ストーリーで学ぶ会計	川島健司	中央経済社	2021	4502398314	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

復習として、授業で説明したテキストの該当箇所を読み、設例やワークブックの練習問題を解くことを勧めます。

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

教科書、参考書ともに、第 1 回目の講義では使用しません。初回講義を聞いて、4 月中に購入してもらったので結構です。

講義のうち 1 回、外部講師を招いて公認会計士制度説明会を実施する予定です (仮)。

数理統計/Mathematical Statistics

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 1 講時 経済学部第 1 講義室 後期 水曜日 3 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM210J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、その問題に対して有効なデータ分析手法を適用する必要がある。本講義では、既に学習した統計的検定と回帰分析の知識に基づいて、最尤法、ベイズ統計、多変量解析、因果効果推定などのトピックに関する知識を身に付けることを目的とする。

In this course, students learn the basic mathematical statistics for economics and management.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・統計的モデリングについて知る
- ・基礎的なベイズ統計について理解する
- ・基礎的な多変量解析について理解する
- ・基礎的な因果効果推定について理解する

This course is designed to help students understand the basics of mathematical statistics and be able to apply them to economics and management problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom のクラスコード「h7hnrdc」

- 第 1 回 : ガイダンス
- 第 2 回 : データ活用社会と経済学部生
- 第 3 回 : 統計学入門の復習
- 第 4 回 : 統計学入門の復習 2
- 第 5 回 : 線形回帰モデル
- 第 6 回 : 予測のための線形回帰モデル
- 第 7 回 : 実証のための線形回帰モデル
- 第 8 回 : 統計モデルと尤度原理
- 第 9 回 : ロジスティック回帰モデル
- 第 10 回 : ロジスティック回帰モデルの推定
- 第 11 回 : 尤度関数と数値最適化
- 第 12 回 : ポアソン回帰モデル
- 第 13 回 : 第 1 回フォローアップ授業
- 第 14 回 : ベイズ統計学とは？
- 第 15 回 : 事前分布と事後分布
- 第 16 回 : ベイズ推定
- 第 17 回 : 意思決定のためのベイズ推定
- 第 18 回 : 「個」のためのベイズ推定
- 第 19 回 : 多変量解析のための固有値分解の復習
- 第 20 回 : 主成分分析
- 第 21 回 : 判別分析
- 第 22 回 : 非線形回帰
- 第 23 回 : ベイジアンネットワーク
- 第 24 回 : クラスタリング
- 第 25 回 : 統計的因果推論とは？
- 第 26 回 : 統計的因果推論と共変量調整
- 第 27 回 : 差の差の分析
- 第 28 回 : 統計的因果推論に必要な仮定・条件
- 第 29 回 : 第 2 回フォローアップ授業
- 第 30 回 : 理解度確認セッション

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの結果で評価する。具体的には第 1 回ガイダンスで指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済経営のデータサイエンス 石垣、植松、千木良、 共立出版 2022 9784320125193 参考書
照井、松田、李

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習よりも復習を重視して欲しい。

10. その他/In addition :

統計的検定や回帰分析の知識を前提として講義を行うため、統計学入門・計量分析は履修済みであることが望ましい。
加えて、線形代数の知識（特に、逆行列や固有値分解）を前提として講義を行う回があるため、経済経営数学入門 A と B、経済経営数学の履修を推奨する。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第22 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第22 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第22演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第22演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 4 講時 経済学部第2 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 水曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor : 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3,

科目ナンバリング/Course Numbering : EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第10 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第10 演習室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management（Ⅰ）B

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第10演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第10演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時. 前期 金曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習 (I) B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor: 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅰ）B/Seminar for Business Management (I)B

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：3,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN330J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

原価計算 2 / Cost Accounting 2

担当教員/Instructor : 鈴木 翔太/SYOTA SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 6 講時 会計大学院講義室A

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC298J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

工業簿記及び原価計算の基礎を身につけることを目的としている。

講義では、演習問題を取り入れながら原価計算を支える理論や計算システムについて学習していく。

/The aim is to teach the basics of industrial bookkeeping and cost accounting.

In the lectures, students will study the theory and calculation systems that support cost accounting while incorporating practice problems.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 原価計算の目的と諸概念について説明できる。
2. 原価計算システムの理論構造を理解し、説明できる。
3. 原価計算の計算問題を解くことができる。

1. Explain the purpose and various concepts of cost accounting.
2. Understand and explain the theoretical structure of the cost accounting system.
3. Can solve calculation problems of cost accounting.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

講義の進め方 :

・1回目の講義で講義の概要、進め方、成績評価、学習方法などについて説明を行う/In the first lecture, we will explain the outline of the lecture, how to proceed, grade evaluation, learning method, etc.

・テキストをベースとして、各講義で概ね一つのテーマについて講義する/Based on the textbook, each lecture will give a lecture on almost one theme.

・各セクションには練習問題を設けており、それを中心に復習する/Each section has exercises, and we will review them mainly.

・練習問題の一部はショートレポートとして提出を求める/Some exercises are required to be submitted as a short report

・Google Classroom : vp2ltd7

第1回 : 単純総合原価計算 / Single process costing

単純総合原価計算について概説する

第2回 : 総合原価計算における仕損費・減損 I / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第3回 : 総合原価計算における仕損費・減損 II / Spoilage expenses Shrinkage loss in process cost system

総合原価計算における仕損費・減損について概説する

第4回 : 工程別総合原価計算 I / Sequential cost system I

工程別総合原価計算について概説する

第5回 : 工程別総合原価計算 II / Sequential cost system II

工程別総合原価計算について概説する

第6回 : 組別・等級別総合原価計算 / Class cost system ・ Group cost system

組別・等級別総合原価計算について概説する

第7回 : 連産品の原価計算 / CO-product

連産品の原価計算について概説する

第8回 : 演習問題 (総合原価計算) / Exercises

総合原価計算の演習を実施する。

第9回 : 標準原価計算 I / Standard cost system I

標準原価計算について概説する

第10回 : 標準原価計算 II / Standard cost system II

標準原価計算について概説する

第11回 : 標準原価計算 III / Standard cost system III

について概説する

第12回 : 標準原価計算 IV / Standard cost system IV

標準原価計算について概説する

第13回 : 標準原価計算 V / Standard cost system V

標準原価計算について概説する

第14回 : 演習問題 2 (標準原価計算) / Exercises2

標準原価計算に係る問題演習を通じて理解を深める

第15回 : 演習問題 (理解度確認セッション) / Exercises

理解度確認セッションを実施する。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

成績評価法 :

理解度確認セッション (50%)、レポート・小テスト (50%)

・AA(90 点以上), A(80 点以上 90 点未満), B(70 点以上 80 点未満), C(60 点以上 70 点未満), D(60 点未満 : 不合格)

Grading method:

Understanding level confirmation session (50%), report/quiz (50%)

・AA (90 points or more), A (80 points or more and less

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

みんなが欲しかった! 簿記の	鈴木 隆文 著	TAC 出版	2019	9784813285786	教科書
教科書 日商 1 級 工業簿記・原					
価計算 2 総合原価計算・標準原					
価計算編 第 2 版(旧:TAC 簿記の					
教室シリーズ)					

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・復習について :

・予習: 次回講義分について必ず予習すること

・復習: 各回の講義で課題を課す。事例について今回以前の分までを反復継続的に復習し、いつ小テストがあっても大丈夫なようにしておく必要がある。宿題以外の問題についても自主的に学習することを期待する。

About preparation and review:

・Preparation: Be sure to prepare for the next lecture

・Review: Tasks are assigned in ea

10. その他/In addition :

オフィスアワー: 講義終了後

連絡先: shota.suzuki.e5@tohoku.ac.jp

その他講義を受講する際注意すべき点/others :

・簿記 2 級程度の知識を有していることが望ましい。 / It is desirable to have knowledge of bookkeeping level 2.

・前期に開講される原価計算 1 を履修していることが望ましい。 / It is desirable to have taken Cost Accounting 1, which is off

経済史入門/Introduction to Economic History

担当教員/Instructor : 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 5 講時 川北キャンパス A 200

対象学年/Eligible Participants : 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0203J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

(1) 誰が、何を、どれだけ、いつ、どのように生産して、消費するのか(資源配分の問題)と(2)人々のどのような動機付けによって資源配分が決まるのか(インセンティブの問題)に着目して歴史を考察するのが「経済史」である。すなわち、人類の経済活動の歴史とは、資源配分とインセンティブの問題を解決する過程に他ならない。ここで中心となる仕組みは制度と組織である。こうした視点をふまえながら、日本を主たる対象事例として時代や地域で異なる特殊性と共通する一般性を理解できるようになることを本講義の目標とする。

Economic history examines history by focusing on (1) who, what, how much, when, and how resources are produced and consumed (resource allocation problem) and (2) what motivates people to allocate resources (incentive problem). In other words, the history of human economic activity is nothing other than the process of solving the problems of resource allocation and incentives. The central mechanisms here are institutions and organizations. The goal of this lecture is to understand the generalities common to each period and region, as well as the particularities that differ from period to period, using the post-World War II period, which is directly related to the present day, as the main case study.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ①社会科学の思考法を理解することで、社会現象を分析的に考えることができる。
- ②時代や地域で異なる現象と共通して見られる現象を分けて分析することができる。
- ③人類の歴史を経済の側面から非常に長期的なスパンで理解することができる。
- ④経済史の学習を通じて、経済学のエッセンスを理解することができる。

- (1) By understanding the way of thinking of social science, be able to think analytically about social phenomena.
- (2) It is possible to separate and analyze phenomena that differ from one era or region to another and those that are commonly found in the same era or region.
- (3) To be able to understand human history from an economic aspect over a very long span of time.
- (4) To be able to understand the essence of economics through the study of economic history.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

教科書に即して授業が行われるが、必要に応じて、経済史の重要なトピックスも解説する。

- 第1回 イントロダクション/Introduction
- 第2-3回 歴史・経済史の考え方/Historical and Economic History Approach
- 第4-5回 戦後経済史の視点/Text Chapter1
- 第6回 復興と冷戦/Text Chapter2
- 第7-8回 混合経済の成長過程/Text Chapter3
- 第9-10回 発展と停滞/Text Chapter4
- 第11-12回 転換/Text Chapter5
- 第13-14回 破綻/Text Chapter6
- 第15回 理解度確認セッションと総括/Examination and Summary

※初回は「オンライン」で行います。またその後もオンラインで行う場合もあります。
必ず Google Classroom と大学メールアドレスを確認するようにしてください。

クラスコードは「4elrvb2」

*The first session will be conducted "online". Be sure to check your Google Classroom and University email accounts.

The class code : 4elrvb2

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (100%)
Examination (100%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

戦後世界経済史	猪木武徳	中央公論新社	2009	978-	教科書
				4121020000	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義内容は多岐にわたり情報量が多いため、予習と復習が必要不可欠である。

10. その他/In addition :

使用言語：講義は日本語で行う。

履修の条件：特になし

連絡先：takenobu.yuki.c1@tohoku.ac.jp

教員 HP：<https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home>

BCP レベル 1 の場合は、「対面授業」を原則とする。

BCP レベル 2 以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。

BCP レベルに関係なく、参加者は Google クラスルームを必ず参加登録すること。

クラスコードは「4e1rvb2」

Language: Ja

経営原理/Principle of Management

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 2講時 経済学部第1講義室 前期 金曜日 1講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN210J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

20世紀初頭に米国で誕生した経営学は、その後の企業社会の発展とともに飛躍的な成長を遂げ、今日、世界中で企業経営の理論的基礎を与えるに至っている。本講義では、こうした経営学の歴史的展開を追いながら、その理論体系を学び、経営の原理が何であるかを多面的に把握することをめざす。経営学は、将来のビジネスリーダーをめざす人々に対して深い洞察を与えるのみならず、消費者や市民の立場となるような人々に対しても企業のありようや影響力を理解する上で有益な視点を提供するであろう。

This lecture will provide you the multiple and systematic knowledge of the management theories and the principles of business administration in following up the academic history of the management thought. The management study will enable you to find profound insights for becoming the future business leader and also grasp useful perspectives in understanding what is business and how business influences the society.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

経営学説の総論的な検討を通じて、基本的な諸概念や分析フレームワークについて体系的に理解するとともに、主として日本企業の事例に基づきながら現実の経営現象に対して理論的に考察できるようになることをめざす。

This lecture aims to let you understand the fundamental concepts and analytic framework in a systematic way in exploring the management study totally in order to examine the real management events theoretically through some case studies of the Japanese companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

講義は基本的にテキスト各章に沿って進める。以下の内容を予定している。

- (1) 経営学とは - 研究対象、課題および方法
- (2) 現代企業論 - 専門経営者の出現、所有と支配の分離、金融仲介機関の台頭
- (3) 経営管理論 - 科学的管理法、人間関係論、協働システム論、コンティンジェンシー理論ほか
- (4) 組織構造論 - 基本的な組織形態、機能別組織、事業部制組織、マトリックス組織
- (5) 経営戦略論 - ドメイン戦略、競争戦略、資源戦略、組織間関係
- (6) 組織行動論 - モチベーション、リーダーシップ、組織文化

※講義は対面授業を基本とするが、Google Classroomも活用する（履修登録時に自動で生徒登録される見込み）。Classroomを通じて講義資料の配布、説明動画のオンデマンド配信、提出課題の受付、オンライン考査等を実施する予定である。

クラスコード：lvmdx5

※教室では演習課題についてのディスカッションを中心に進める。授業欠席時も課題提出は可能である。

（上記の対応は本学BCPレベル等によっても変わり得ますので、Classroomを介した講義配信情報を随時チェックするようにしてください）

※本科目について履修登録せずClassroomのコード登録のみによるオンライン聴講を認める。

We will explore the following contents such as the method of management study, the theory of modern business, business administration, the organization structure, business strategy and human relations in organizations.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

各講の課題レポート（約45%）及びオンライン考査（約55%）により評価（予定）。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

経営管理（有斐閣アルマ）新版	塩次喜代明、高橋伸夫、小林敏男	有斐閣	2009	教科書
テキスト経営学 増補版	井原久光	ミネルヴァ書房	2000	参考書
経営学説史（有斐閣アルマ）	岸田民樹、田中政光	有斐閣	2009	参考書
経営学説入門（有斐閣新書）	北野利信編	有斐閣	1977	参考書
経営学原理	村田和彦	中央経済社	2006	参考書
経営学入門（日経文庫）	榊原清則	日本経済新聞社	2002	参考書
企業倫理入門	高浦康有、藤野真也編	白桃書房	2022	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業前に Classroom を通じて配布される講義資料に目を通して予習しておこう。授業後は演習問題について自分なりに解答をまとめることで復習になるだろう。また諸科学の研究蓄積に依拠した経営学は“セオリー・ジャングル”と呼ばれるほど理論内容が多岐にわたる。講義資料のほかテキスト章末の文献リストを活用して興味ある図書に積極的にあたってみよう。

10. その他/In addition :

履修の条件：とくに予備知識を必要としない。

連絡先（メールアドレス）：教員用ホームページ参照。<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>

オフィファワー：オフィファワー：木曜3限、その他随時（出張等で不在の場合もありますので事前にご確認いただくことをお勧めします、研究室：経済学部研究棟601）

★履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第 8 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第26 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第26 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第23演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第23演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 経済学部第1演習室. 前期 水曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4講時 経済学部第1演習室. 後期 水曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (II) A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor: 日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4講時 経済学部第1演習室. 前期 月曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4講時 経済学部第1演習室. 後期 月曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 第3小講義室. 前期 火曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 第3小講義室. 後期 火曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：久保田 莊/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：久保田 莊/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第7 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第7 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4講時 経済学部第26演習室. 前期 月曜日 5講時 経済学部第26演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時 経済学部第1演習室. 前期 金曜日 5講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：L I Y A N J U N/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第2演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時 経済学部第21演習室. 前期 金曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時 経済学部第24演習室. 前期 金曜日 5講時 経済学部第24演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 経済学部第3演習室. 前期 水曜日 5講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (II) A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : 佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 経済学部第21演習室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第21演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4講時 経済学研究科401演習室. 前期 金曜日 5講時 経済学研究科401演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）A/Seminar for Economics (II)A

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 前期集中 その他 その他 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部のクラスと合同になります）。

前期クラスコード : 2avkuux

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用 Web で、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は5月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果を Classroom に掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。

※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学 BCP レベルにも拠りますので、Classroom からのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（：●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP 及び窓口）、各社 HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能です。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記の Google Classroom の当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship

program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

インターンシップ/Internship

担当教員/Instructor : 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period : 後期集中 その他 その他 経済学部第21演習室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM297J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

在学中に大学での授業を通じて修得した理論や知識を、企業やNPO、公的機関等の実社会で実践し体験する機会を提供する。それによって、経済・経営現象についての理解・関心を深め、ものの見方や考え方を養うと同時に、人格形成や将来のキャリア形成に役立てることを目的とする。

This class will provide you with the chance to apply the theory and the knowledge which you have obtained at our school for the real community of the business, the non-profit, and the government sector. Through the practical internship experience you can understand the economic and management world profoundly and exercise your own personality and career development.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

大学で修得した専門的知識を実社会の問題に結び付けて活用する能力を高められるようになる。また広い視野と考え方を身につけ、将来的なキャリアについて考えるヒントを得る。

This class aims to enhance your practical abilities to utilize the academic knowledge for real situations and then give you wider perspectives and some hints for you to consider your future career.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

インターンシップ科目の履修方法は他の科目と大きく異なるので、注意すること。

※Google Classroomを活用します（大学院の受講生についても学部のクラスと合同になります）。

前期クラスコード : 52n2hpf

各種の関係書式もこちらを通じて配布します。

（1）第1学期または第2学期の履修登録期間中に学生用Webで、連続講義と同様に履修登録する。本科目の登録時の単位数は2単位のみとなっているが、原則次学期末の成績確定時に、実際に取得した単位数（2～4単位）の科目へ登録振替を行う。

（2）履修登録・変更期間終了後に、事前研修（第1学期登録の場合は5月頃、第2学期登録の場合は11月頃、学内で実施される）のクラス割り当て結果をClassroomに掲出するので、日程を確認し、該当クラスに参加する。

※事前研修のクラスは教室開催の予定ですが、本学BCPレベルにも拠りますので、Classroomからのお知らせ配信をチェックするようにしてください。

（3）各学期当初からインターンシップ公募情報をもとに受入機関を自ら探し、採用試験等を受ける。受入先が決まったら、すみやかに受入機関による協力承諾を取り付けた後、「インターンシップ実施届」を、必要証明書類を添付の上、教務係窓口へ提出する。

※教務係インターンシップ専用メールアドレスにご送付ください。証明書類等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

eco-intern●grp.tohoku.ac.jp（:●は@に要置換え）

○インターンシップの公募情報については、キャンパス・コミュニティ、教務揭示版（とくに官公庁等による募集の場合）、本学キャリア支援センター（HP及び窓口）、各社HP、民間就職支援サイトほかで検索・入手が可能です。

参考：本学キャリア支援センター「インターンシップ希望者向け情報」

http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/ug_ma/info/intern

（4）就業体験期間中は、毎週「インターンシップ週間活動報告書」（週報）を作成する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。その場合、ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、各週分をまとめてメール送付いただくようにご依頼ください。

（5）就業体験終了後、受入機関に「インターンシップ受入機関所見」の送信を依頼する。

※受入機関ご担当者によるサインや押印は省略できます。ご担当者の所属機関アドレスから、上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスまで、メール送付いただくようにご依頼ください。

（6）週報、成果物及び「インターンシップ終了報告書」等の必要書類を教務係窓口へ提出する。

※週報は（4）で述べたようにご担当者からメール送付いただくことが可能です。報告書については上記の教務係インターンシップ専用メールアドレスに自らご送付ください。成果物等の写しはスマートフォン撮影のもので構いません。

以上の関係書式は上記のGoogle Classroomの当該科目教材リストを通じて入手可能です。

その他、詳細は新年度版の学生便覧（抜粋）の「インターンシップ履修要領」を参照してください。

We will confirm you to have to attend the pre-internship training seminar held in our school and submit the designated series of documents to the Instruction Section before and after you take part in each internship

program.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

担当教員は、出席簿等により事前研修に既参加であるかどうか、並びに「実施届」が提出済みであるか否か等の認定要件を確認した上で、提出資料ほかに基づいて履修単位数*及び成績を決定する。担当教員は記載内容の確認を要する場合など必要に応じて受講生と面談を行うことがある。なお成績評価の確定は基本的に次学期末となり、通常よりも成績表への反映が遅れるので留意すること。

*総時間数（受入機関での実習時間 × 1.5）：60 時間につき 2 単位（以降 30 時間ごとに 1 単位追加、4 単位まで）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

以下の要件をすべて満たすプログラムに限って当該年度の単位修得を認める。

- (1) 受入機関が「公募」によって参加者募集を行っていること*
- (2) 受入機関での実習時間数が「40 時間以上」であること**
- (3) 当該年度の所定期間内に実施されるプログラムであること***
- (4) 本人が「学生教育研究災害傷害保険」等の保険・共済に加入していること
- (5) 受入機関が単位認定のための諸手続に協力することを承諾していること

* 実体としてアルバイトや労務の提供ではなく、研修的要素を備えたインターンシップ

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

実習先で課題が与えられるような場合はその指示に従うこと

10. その他/In addition :

問い合わせ先：東北大学経済学部・経済学研究科教務係 インターンシップ専用メール
eco-intern●grp.tohoku.ac.jp （：●は@に要置換え）

統計学入門/Introduction to Statistics

担当教員/Instructor: 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 2 講時 川北キャンパス A 2 0 0

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM201J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本科目の Google classroom に登録してください。皆さんとここでコミュニケーションをとります。
<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY0NTg3MzYy?cjc=ctnhn6m>

経済学、経営学の問題のみならず社会における様々な問題を解決するため、データに基づく意思決定はますます重要となってきた。データから得られる根拠（エビデンス）に基づく問題解決を実践するためには、データを適切に処理し、必要な情報を得るための統計学の知識と考え方が必要となる。本講義の目的は以下の通りである。

- ・統計に騙されない、誤解・誤用しないための統計リテラシーを身に付ける。
- ・統計学の知識を獲得し、統計的な思考法の基礎を知る。
- ・基礎的なデータ分析を行うことができる知識を得る。

In this course, students will learn the basics of statistics

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・基本的なデータの取り扱いや可視化の方法を理解する。
- ・経済・経営に関する統計指標を理解する。
- ・確率分布の概念を理解する。
- ・標本分布の特性、区間推定、仮説検定の考え方と方法を理解する。
- ・基礎的なデータ分析の手法と考え方を理解する。

This course is designed to help students understand the basics of statistics

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

この講義の大まかな予定は以下の通りである。

- 第1回: イントロダクション / introduction
第2回: 記述統計/ descriptive statistics
第3回: 相関と回帰(1) / correlation and regression
第4回: 相関と回帰(2) / correlation and regression
第5回: 確率/ probability
第6回: 分布と期待値(1) / distribution and expectation
第7回: 分布と期待値(2) / distribution and expectation
第8回: 標本分布(1) / sample distribution
第9回: 標本分布(2) / sample distribution
第10回: 推定(1) / estimation
第11回: 推定(2) / estimation
第12回: 仮説検定(1) / hypothesis testing
第13回: 仮説検定(2) / hypothesis testing
第14回: 重回帰分析(1) / multiple regression
第15回: 重回帰分析(2) / multiple regression

Google classroom code: c23iym2

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

レポートと理解度確認セッションで評価する。具体的には第1回の講義で指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

統計学	森棟公夫、照井伸彦、 中川満、西埜晴久、黒 住英司	有斐閣	2015	4641053804	参考書
経済経営のデータサイエンス	石垣司、植松良公、千 木良弘朗、照井伸彦、 松田安昌、李銀星	共立出版	2022	4320125193	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :
授業の予習と復習。

10. その他/In addition :
履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経営組織/Organization and Management

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 3 講時 経済学部第 1 講義室. 前期 木曜日 1 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-MAN211J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

組織のマネジメントについて、多様な事象や意思決定の背景にあるメカニズムや因果関係を深く考察するための様々な基礎的な概念を体系的に幅広く学習する。

In this course, students will learn comprehensive and systematic basic concepts regarding organization management, in order to consider mechanism and causal relationship which is behind various phenomenon.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

組織のマネジメントに関する基礎的な概念体系を学習し、経済ニュースやアルバイトなどの日常的な社会生活における様々な社会現象や身近な出来事について「何故、このような事が生じるのか」という疑問に対して、その背景にあるメカニズムや因果関係を理解できるようになること。

The purpose of this course is to understand mechanism and causal relationship of organization management.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

この講義の内容は、「マクロ組織論」（組織構造、組織間関係、組織文化など）と「ミクロ組織論」（モチベーション、リーダーシップなど）という 2 つのパートに分けて講述する。

In this course, I will take up various subjects regarding organization management as follows: macro organization and micro organization.

この授業に関するお知らせやレジュメのダウンロードなどは、全て下記の Google Classroom を使用する。

「[EB207] 経営組織（学部基本専門科目）」クラスコード：luikfky

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjYxMDUxMTg0?cjc=luikfky>

第 1 回：オリエンテーション

第 2 回～第 6 回：経営組織とは何か

第 7 回～第 11 回：組織構造のマネジメント

第 12 回～第 15 回：組織間関係のマネジメント

第 16 回～第 19 回：組織文化のマネジメント

第 20 回～第 24 回：モチベーション

第 25 回～第 29 回：リーダーシップ

第 30 回：理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

理解度確認セッション（100%）で評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjYxMDUxMTg0?cjc=luikfky>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

10. その他/In addition：

特定のテキストは使用しないが、講義のレジュメを Google Classroom から各自でダウンロードすること。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：守 健二/KENJI MORI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：北川 章臣/AKIOMI KITAGAWA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (II) B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 4 講時 経済学部第26 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第26 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第2 3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第2 3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第 2 3 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第 2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 3 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 火曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 火曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：久保田 荘/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (II) B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : 久保田 荘/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：千木良 弘朗/HIROAKI CHIGIRA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第7 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第7 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第26 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第26 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 6 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 6 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習 (II) B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor: LI YANJUN/LI YANJUN

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : L I Y A N J U N / L I Y A N J U N

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第2 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第3演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第2 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：佐々木 伯朗/NORIO SASAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第2 3 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 前期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室. 後期 金曜日 5 講時 経済学研究科 4 0 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor' s major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor : B A I Y U/BAI YU

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第9 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第9 演習室

対象学年/Eligible Participants : 4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor' s major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition :

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済学演習（Ⅱ）B/Seminar for Economics (II)B

担当教員/Instructor：矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EEC-EC0430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 3講時 川北キャンパスC405

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済学の様々な分野において、ゲーム理論はモデル化や分析のために必要不可欠なものとなっている。この科目では、ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用をゼミ形式で学習する。ゲーム理論は、消費者や企業などの経済主体の行動がお互いに影響を与え合う状況において、各経済主体が相手の持つ情報や相手のとる行動を合理的に予想しながら自らの行動を決定すると、社会的にどのような結果が実現するのかを分析する。ゲーム理論は、その誕生以来、経済学の主要な分野の理論を“ゲーム理論的な考え方”に基づいて再構築させるほどの多大な影響を与えてきた。また、ゲーム理論の応用範囲は幅広く、社会学、心理学、政治学、国際関係学などの人文社会科学分野から、数理科学、情報科学、物理学、生物学などの自然科学分野にまで及んでいる。

[In this course, students will learn the basic framework of game theory and its application to economics.]

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。ゲーム理論に必要な最小限の数学の知識を身に付ける。

[In this course, students should understand the basic framework of game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

この授業の Google Classroom の授業コードは、jr2tcnr である。授業の詳細、変更等については Google Classroom で周知するので、よく確認すること。

[The Google Classroom class code for this class is jr2tcnr. Class details and changes will be announced on Google Classroom, so please check it carefully.]

ゲーム理論の基本的なテキストを受講者が交代で報告をして、その後全員で討論を行う。

- 第1回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第2回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第3回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第4回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第5回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第6回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第7回：情報不完備なゲーム
- 第8回：情報不完備なゲーム
- 第9回：情報不完備なゲーム
- 第10回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第11回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第12回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第13回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第14回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第15回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム

[In this course, students will discuss several topics on game theory and its application to economics.]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

平常点（報告、宿題等）によって成績評価を行う。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門

武藤滋夫

日経文庫

2001

978-

4532108298

参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

報告者だけではなく、受講者全員が予習をすること。授業で取り扱った練習問題をよく復習すること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、jr2tcnr である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 1 時間

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 3 講時 川北キャンパス C 2 0 3

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

「NPO・社会的企業から学ぶ、SDGs・多様性（DEI）とウェルビーイング」

このプレゼミでは、VUCA の時代に求められる人・組織・社会の多様な様相について、NPO・社会的企業のゲスト講義・グループでのインタビュー調査・ケース作成を通して学ぶことを目的とする。
特に、ウェルビーイングに着目するとともに、SDGs、DEI（多様性・公平性・包摂）、ソーシャル・キャピタル、レジリエンス等の関連概念の基本的な考え方についても取り上げる。

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・NPO・社会的企業の基礎知識と多様な事例について理解し、問いを立て・調べ・整理・言語化する力を身につける。
- ・ウェルビーイングおよびその関連概念について理解する。
- ・ゲスト講義と議論を通して、聴く力・問いを立て問いかける力を身につける。
- ・グループワークを通して、チームビルディングやプロジェクトマネジメントの基礎やプロセスを実践的に学ぶ。

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

講義・ゲスト講義、グループでのワーク・議論・調査・ケース執筆・発表を組合わせて行なう。

スケジュール案

2. ガイダンス、基本的概念、グループワーク、インタビュー・問いかけの心得
3. 5. 7. 9. ゲスト講義+インタビュー（4回）（4月下旬—6月前半）
4. 6. 8. 10. 調査・ゲスト講義やインタビューの準備・ふりかえり（4月—6月）
- 11.-13. ケース報告書執筆・調べ学習（6月—7月）
14. 15. 成果報告会・ケース報告書提出とフィードバック・ふりかえり（7月）

ゲスト講義形式：

授業前半：組織概要・事業&業務内容・経営哲学等に関する講義

授業後半：インタビュー形式。多様性やウェルビーイング経営等に関する対話・質疑応答。

学生が4グループに分かれて、それぞれゲスト講義・インタビューや文献調査等をふまえて、ケース報告書を執筆予定。

『ケースに学ぶ経営学』16章・アスヘノキボウのケースのイメージ

<https://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641184480>

ゲスト講義・ケース候補（一部変更の可能性有）

1. 株式会社ゆいネット / 株式会社たびむすび
2. 一般社団法人 VENTURE FOR JAPAN
3. 株式会社シムネット
4. 株式会社未来企画 / 特定非営利活動法人まちあす

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

1. ミニツツペーパー（50%）：

毎回の授業に関して、自身の意見や考えなど、ふりかえり（リフレクション）を記入提出。

2. グループワークへの貢献・発表・報告書（50%）

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

参考書

はじめての NPO 論	澤村明・田中敬文・黒田かをり・西出優子	有斐閣	2017
ケースに学ぶ経営学 第3版	東北大学経営学グループ部	有斐閣	2019
ウェルビーイング	前野隆司・前野マドカ	日経文庫	2022
ダイバーシティ&インクルージョン経営	荒金雅子	日本規格協会	2020
問いかけの作法	安西勇樹	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2021
リフレクション	熊平美香	ディスカヴァー・	2021

8. 関連URL/URL :

<https://researchmap.jp/7001318>

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/jinsya/interview3/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

【予習】事前に授業でとりあげるテーマや事例について考え・調べ、問いや問題意識をもって臨む。

【復習】参考書や関連文献を読んだり、関心テーマや実際の組織について自ら調べ、考え、理解を深める。

10. その他/In addition :

各回の資料や連絡、課題提出等は、すべて Google Classroom で行ないます。

クラスコード : g34yva4

本授業に関する質問や要望は、原則、金曜3限の本授業終了直後に受付けます。

または、西出 (yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp) 宛、件名に【プレゼミ】と記入して連絡下さい。

ミニツッパーパーや Google Classroom での質問も受け付けます。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 3 講時 川北キャンパス C 4 0 6

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミでは、教科書『市場を創るーバザールからネット取引まで』の輪読と参加者による議論を通じて、現代経済学の中心的な課題である市場の機能と限界について理解を深めることを目指す。競争的な市場が持つ効率性と、実際の市場における制約要因に焦点を当て、市場メカニズムがどのように機能し、政府はどのように市場機能を補完できるのかを、教科書の豊富な事例で学ぶ。

This course aims to deepen participants' understanding of the functions and limitations of markets through a round-reading of the textbook "Reinventing the Bazaar: A Natural History of Markets" and discussions by participants. Focusing on the efficiency of competitive markets and the frictions in actual markets, participants will learn how market mechanisms work and how governments can complement market functions through the textbook's extensive examples.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

競争的市場の効率性とその機能を制限する要因、そして市場機能を補完する政府の役割について学ぶことで、身の回りの経済現象をより深く分析できる力をつける。プレゼンテーションの技術を修得する。

Learn about the efficiency of competitive markets and the factors that limit their functioning, as well as the role of government in complementing market functioning, in order to develop the ability to analyze economic phenomena around us in more depth. Acquire presentation skills.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

教科書の輪読を行う。初回授業で発表の担当と順番を決定する。以下は、進度予定の一例である。

A round-reading of the textbook will be conducted. The first class will decide the order and responsibility for the presentations. The following is an example of the schedule.

1. イントロダクション (Introduction)
2. 第1章 唯一の自然な経済 (The only natural economy)
3. 第2章 知性の勝利 (Triumphs of intelligence)
4. 第3章 地獄の沙汰も金次第 (He who can't pay dies)
5. 第4章 情報は自由を求めている (Information wants to be free)
6. 第5章 正直は最善の策 (Honesty is the best policy)
7. 第6章 最高札の値付け人へ (To the best bidder)
8. 第7章 サア、いくらで買う！ (Come bid!)
9. 第8章 自分のために働くときには (When you work for yourself)
10. 第9章 特許という困惑 (The embarrassment of a patent)
11. 第10章 なんびとも孤島にあらず (No man is an island)
12. 第11章 公衆に対する陰謀 (A conspiracy against the public)
13. 第12章 草の根の努力 (Grassroots effort)
14. 第13章 他人のお金を管理する人々 (Managers of other people's money)
15. 第14章 競争の新時代 (A new era of competition)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席、発表、議論への参加により評価する。

Grades will be based on attendance, presentations, and participation in discussions.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

新版 市場を創る：バザールから ネット取引まで ジョン・マクミラン 慶應義塾大学出版 2021 4766427831 教科書
会

8. 関連URL/URL :

Google classroom のコースページ参照 (Class code:e2akyp7)

See the course page in Google classroom. (Class code:e2akyp7)

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

各週のトピックについて事前に指定された読書を完了し、ディスカッションに積極的に参加すること。

Complete pre-assigned readings on each week's topic and actively participate in discussions.

10. その他/In addition :

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 3 講時 川北キャンパス C 4 0 7

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

このプレゼミでは、産業組織論について学んでいく。市場はどのようになりたっているのか、市場で企業はどのような戦略をとるのかという問題に対して、ミクロ経済学の理論、特にゲーム理論や情報の経済学に基づき分析していく。具体的には、価格差別、競争政策、製品差別化、談合、戦略的な参入阻止や合併、研究開発といったトピックを取り扱う。

The objective of the seminar is to help students understand industrial organization.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

産業組織論について理解を深めるとともに、プレゼンの基礎的な技術を身につける。

By the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of industrial organization and acquire presentation skills.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

毎回、参加者が教科書（花崗誠 『産業組織とビジネスの経済学』 有斐閣、2018 年）の該当箇所を報告し、その内容に基づいて議論を行う。

This is a reading group based on students' presentations.

連絡は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、wanuc34。

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is wanuc34.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

発表および議論への貢献に基づいて判断する。

正当な理由がなく欠席や大幅な遅刻を繰り返した場合、単位習得を認めない。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

産業組織とビジネスの経済学	花崗誠	有斐閣	2018	4641150591	教科書
ミクロ経済学の力	神取 道宏	日本評論社	2014	453555756X	参考書

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

参加者は全員、毎回の予習として教科書の報告箇所を読んでくること。

10. その他/In addition：

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 3 講時 川北キャンパス C 2 0 4

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

近年では、統計学、データ科学における研究は高いプログラミング能力を必要とする場合が多い。本プレゼミでは、今後データ科学を用いた研究を行いたい学生に向け、その基礎となる python を用いたプログラミングの基礎知識を中心に学ぶ。プログラミングの基礎から、応用まで自ら実践することで、プログラミングに対する理解を深めると同時に、今後のデータ分析に必要な基礎スキルを身に付ける。

In recent years, research in statistics and data science often requires a high level of programming ability. In this pre-seminar, students who wish to conduct research using data science in the future will learn the fundamentals of programming using python, which will serve as the basis for such research. By practicing the basics and applications of programming on their own, students will deepen their understanding of programming and acquire the basic skills necessary for future data analysis.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. プログラミング言語 python の理解。
2. Python を用いた既存 AI モデルの応用を学ぶ。
3. 簡単なプログラミングのプロジェクトを設計し、完成させる。

プロジェクトの例：ビデオファイルから文字起こしするアプリの作成、生成 AI のカスタマイズ、写真の画風を変える AI を作る、じゃんけんゲームを作る、ウェブサイトのスクレイピング・・・など

1. understanding of the programming language python.
2. learn to apply existing AI models using Python.
3. Design and complete a simple programming task.

Examples of projects: creating an application to transcribe text from video files, customizing a generative AI, creating an AI to change the style of a photo, creating a rock-paper-scissors game, scraping a website...etc.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1～6 回目：主にプログラミングの基礎を学ぶ。テキストを輪読し、順番に発表を行う（1～2 回目は講師が発表）。『スッキリわかる Python 入門』を使用。
- 7～11 回目：python を用いて、AI などを活用して様々な問題への応用を実践する。『Python×API で動かして学ぶ AI 活用プログラミング』を使用。
- 12 回目：python を活用した UI の作り方を学ぶ（講師発表）
- 13 回目：グループに分け、プロジェクトを設計する。
- 14 回目：グループワーク、および途中報告
- 15 回目：プロジェクト発表会

授業ではノートパソコンを使います。
発表はスライド、もしくは Google Colaboratory を用いて行います。

1-6 seminars: Mainly learn the basics of programming. Students will read the textbook in turns and give presentations (the instructor will give a presentation in the first two sessions). The textbook "Introduction to Python" will be used.

7-11th: Practice applications to various problems using AI, etc., using Python. The 12th session will be held using "Python & API: Learning AI Programming by Running".

12th lecture: Learn how to create a UI using python (presented by the instructor).

13th: Divide into groups and design a project.

14th: Group work and report on the progress of the project.

15th: Project presentation

Students will use laptops in class.
Presentations will be made using slides or Google Colaboratory.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席率 20%、発表 30%、議論への貢献 10%、プロジェクト成果 40%

Attendance 20%, Presentation 30%, Contribution to Discussion 10%, Project Outcome 40

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

スッキリわかる Python 入門	国本大悟, 須藤秋良	インプレス	2023	4295016365	書籍
Python×API で動かして学ぶ AI 活用プログラミング	下山輝昌, 黒木賢一, 宮澤慎太郎	秀和システム	2023	4798070904	書籍

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

python の練習が望ましい。

10. その他/In addition :

1. 基本的に、プログラミングはオンライン上の Google Colaboratory を利用して勉強するが、自身のパソコンにも Anaconda3 などをインストールして、python が使える環境を整えることが望ましい。

2. 受講生の進捗状況に応じて、基礎学習と応用の割合を調整する可能性がある。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 川北キャンパス C 4 0 6

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミはデータ分析より因果関係への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

This seminar aims to deepen understanding of causality through data analysis, and at the same time, to develop communication skills through presentations and group discussions.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下の3点を目標とする。

- (1) 経済学への直観的な理解を深める。
- (2) 因果関係と相関関係の違いを理解できる。
- (3) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

- (1) Develop an intuitive understanding of economics.
- (2) Understand the difference between causality and correlation.
- (3) Acquire basic skills in presentation and discussion.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス
2. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ? (1)
3. 学校の先生と相撲の力士、どこがおんなじ? (2)
4. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ? (1)
5. ク・クラックス・クランと不動産屋さん、どこがおんなじ? (2)
6. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの? (1)
7. ヤクの売人はどうしてママと住んでるの? (2)
8. 犯罪者はみんなどこへ消えた? (1)
9. 犯罪者はみんなどこへ消えた? (2)
10. 完璧な子育てとは? (1)
11. 完璧な子育てとは? (2)
12. 完璧な子育て、その2 (1)
13. 完璧な子育て、その2 (2)
14. 最終プレゼンテーション(1)
15. 最終プレゼンテーション (2)

1. Guidance
2. What Do Schoolteachers and Sumo Wrestlers Have in Common? (1)
3. What Do Schoolteachers and Sumo Wrestlers Have in Common? (2)
4. How Is the Ku Klux Klan Like a Group of Real-Estate Agents? (1)
5. How Is the Ku Klux Klan Like a Group of Real-Estate Agents? (2)
6. Why Do Drug Dealers Still Live with Their Moms? (1)
7. Why Do Drug Dealers Still Live with Their Moms? (2)
8. Where Have All the Criminals Gone? (1)
9. Where Have All the Criminals Gone? (2)
10. What Makes a Perfect Parent? (1)
11. What Makes a Perfect Parent? (2)
12. Perfect Parenting, Part II (1)
13. Perfect Parenting, Part II (2)
14. Final Presentation (1)
15. Final Presentation (2)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

各回の出席状況 (30%)
発表 (30%)
討論への貢献 (40%)

Class participation (30%)
Presentation (30%)
Contribution of discussion (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

やばい経済学 (増補改訂版)	Steven D. Levitt, (著), Stephen J. Dubner (著), 望月衛 (訳)	東洋経済新報社	2007 年	978-4-492- 31378-7	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【6ofetmu】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : ZHANG TINGTING/ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 4 講時 川北キャンパス C407

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このセミナーでは、長期的な視点かつ複合的な視野に基づいて現代日本社会における問題や課題について理解を深めることを目指す。特に多くの問題に関連する雇用問題について学ぶ。それと同時に、受講者に、「失われた 30 年」とも呼ばれる 1990 年代から 2010 年代までの日本経済、およびこれから日本が直面する経済、人口、社会問題を鳥瞰する視点を提供する。
・経済現象に関する問いを立てて調査を進め、仮説を提示することを体感する。

This seminar aims to deepen the understanding of issues in modern Japanese society based on a long-term and complex perspective. Specifically, students first learn about "employment". This course will also focus on Japan's economy between the 1990s and the 2010s, a period called as "The lost thirty years", as well as overviewing the economic, demographic and social issues that Japan may face in the future.
The course aims to further improve the students' ability to do economic research and to develop higher-level skills in finding answers as well as creation of hypothesis.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・情報検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの初歩的な調査・研究スキルを身につける。
- ・社会科学的なものの見方を理解する。
- ・証拠や論理に基づいて自分の考えを他者へ説得的に述べる技術を身につける。
- ・ Students will develop basic academic skills.
- ・ To understand the social scientific point of views.
- ・ To develop persuasive skills based on evidence and logic.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第 1 回 : オリエンテーション・輪読チーム分け・授業の説明
 第 2 回 : 『日本社会のしくみ』 第 1 章～第 2 章
 第 3 回 : 『日本社会のしくみ』 第 3 章～第 4 章
 第 4 回 : 『日本社会のしくみ』 第 5 章～第 6 章
 第 5 回 : 『日本社会のしくみ』 第 7 章～第 8 章
 第 6 回 : ①『日本社会のしくみ』終章と後書き、②『日本経済 30 年史』 第 1 章
 第 7 回 : 『日本経済 30 年史』 第 2 章～第 3 章
 第 8 回 : 『日本経済 30 年史』 第 4～5 章
 第 9 回 : 『日本経済 30 年史』 第 6～7 章
 第 10 回 : 『日本経済 30 年史』 第 8～9 章
 第 11 回 : 発表チーム分けと報告テーマの設定
 第 12 回 : グループワーク (1)
 第 13 回 : グループワーク (2)
 第 14 回 : グループワーク (3) 発表順決定
 第 15 回 : グループワーク (4) 成果表会

Text one: .Nihon shakai no shikumi, [the social structure of Japan]. (Kodansha, 2019), Eiji Oguma

Text tow: Nippon-keizai 30-nen-shi baburu kara abenomikusu made, [30 years of Japanese economy: from bubble to Abenomics], (Tokyo: Iwanami Shoten, 2019), Yukio Yanbe .

- 1st Orientation and Introduction
 2nd : Chapter 1 and Chapter 2
 3rd : Text one Chapter 3 and Chapter 4
 4th : Text one Chapter 5 and Chapter 6
 5th : Text one Chapter 7 and Chapter 8
 6th : ①Text one: Chapter Chapter 9 ②Text two Chapter 1
 7th : Text two Chapter 2 and Chapter 3
 8th : Text two Chapter4 and Chapter5
 9th : Text two Chapter 6 and Chapter 7
 10th : Text two Chapter8 and Chapter 9
 11th : Presentation team division
 12th : Group work 1st
 13th : Group work 2nd
 14th : Group work 3rd and decide order for final presentation
 15th : Group work 4th and Presentation.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常成績 (50%) + 報告・クラスパフォーマンス (50%)
遅刻や無断欠席は厳禁である。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本社会のしくみ 雇用・教育・ 小熊英二	講談社	2019	978-		教科書
福祉の歴史社会学			4065154298		
日本経済 30 年史 バブルからア 山家悠紀夫 著	岩波書店	2019	978-		教科書
ベノミクスまで			4004317999		

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NjQ4MTg4MzAxNDk5?cjc=tu7pamy>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習が中心であり、報告レポートの作成が必要である。教科書を読み、グループで相談して報告と討論の準備をすることが必要である。

10. その他/In addition :

教員連絡先 :

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email : zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業後約 1 時間 (研究室にて可)

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時 川北キャンパス C 4 0 5

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

多くの学生が統計学入門で確率論について学んでいるものと思う。ここでは、学生の輪読により確率論のもう少し深い理解を目指す。

Many students have learned about probability theory. We aim to provide a more in-depth understanding of probability theory through a round of student readings.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

確率論を学ぶと事象や確率などの多くの概念が必要となる。必要最低限の測度論を学ぶことで、これらの概念の数学的な意味を整理することを目標とする。その上でより数学的な意味での確率論に親しんでもらうことを目指したい。

The study of probability requires many concepts such as events and probabilities. The aim is to understand probability theory in a mathematical sense.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

第1回-第15回 「測度論からの数理統計学」(共立出版)を輪読する。

1st-15th: Reading. "Sokudoron karano suuri-toukeigaku" (Kyoritsu Publishing Co., Ltd.) in a round-reading.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点 100%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

測度論からの数理統計学	綿森 葉子、田中 秀 共立出版	2023	978-	教科書
	和、田中 潮		4320114975	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：大瀬戸 真次/SHINJI OHSETO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 川北キャンパス C 4 0 1

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

経済学の様々な分野において、ゲーム理論はモデル化や分析のために必要不可欠なものとなっている。この科目では、ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用をゼミ形式で学習する。ゲーム理論は、消費者や企業などの経済主体の行動がお互いに影響を与え合う状況において、各経済主体が相手の持つ情報や相手のとる行動を合理的に予想しながら自らの行動を決定すると、社会的にどのような結果が実現するのかを分析する。ゲーム理論は、その誕生以来、経済学の主要な分野の理論を“ゲーム理論的な考え方”に基づいて再構築させるほどの多大な影響を与えてきた。また、ゲーム理論の応用範囲は幅広く、社会学、心理学、政治学、国際関係学などの人文社会科学分野から、数理科学、情報科学、物理学、生物学などの自然科学分野にまで及んでいる。

[In this course, students will learn the basic framework of game theory and its application to economics.]

2. 学修の到達目標/Goal of study：

ゲーム理論の基本的な枠組みと経済学への応用を理解する。ゲーム理論に必要な最小限の数学の知識を身に付ける。

[In this course, students should understand the basic framework of game theory and its application to economics.]

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

この授業の Google Classroom の授業コードは、loyighs である。授業の詳細、変更等については Google Classroom で周知するので、よく確認すること。

[The Google Classroom class code for this class is loyighs. Class details and changes will be announced on Google Classroom, so please check it carefully.]

ゲーム理論の基本的なテキストを受講者が交代で報告をして、その後全員で討論を行う。

- 第1回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第2回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第3回：非協力ゲーム：行動決定が同時に行われる場合
- 第4回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第5回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第6回：非協力ゲーム：行動決定が時間をおいて行われる場合
- 第7回：情報不完備なゲーム
- 第8回：情報不完備なゲーム
- 第9回：情報不完備なゲーム
- 第10回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第11回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第12回：2人協力ゲーム：交渉ゲーム
- 第13回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第14回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム
- 第15回：多人数協力ゲーム：特性関数形ゲーム

[In this course, students will discuss several topics on game theory and its application to economics.]

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

平常点（報告、宿題等）によって成績評価を行う。

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

ゲーム理論入門

武藤滋夫

日経文庫

2001

978-

4532108298

参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

報告者だけではなく、受講者全員が予習をすること。授業で取り扱った練習問題をよく復習すること。

10. その他/In addition :

この授業の Google Classroom の授業コードは、loyighs である。

連絡先 : ohseto@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業終了後から 1 時間

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 3 講時 川北キャンパス C 4 0 6

対象学年/Eligible Participants：2,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

授業のテーマ：行動経済学を通じて、人間の合理性について考えてみよう

経済学は経済活動における人間の行動を分析する学問でもあります。主流派経済学（新古典派経済学）では伝統的に人間は合理的に行動するものだということを前提にして分析を行ってきました。ところがそうした理論的前提に対して、人間は本当に合理的な存在なのか疑問を呈する人たちが表れて、実験を通じて人間は結構合理的ではない行動をするものだと言主張するようになりました。ところがさらに実験を進めると人間は完全に不合理というわけでもなく、不合理の方向に予想可能な側面があることもわかってきました。それと同時にそうした「予想可能な不合理」を利用したビジネス戦略がたくさんあることもわかってきました。このプレゼミでは、行動経済学のテキストをグループ単位で輪読・発表・ディスカッションすることを通じて、人間は合理的なのか不合理なのか予想可能な不合理なのか、予想可能な不合理性はビジネスの世界でどのように利用されているのか、それは伝統的な経済学をどのように拡張していくのかなどの問題について考えていきたいと思います。

経済理論の前提に興味のある学生、経済学と心理学の関係に興味のある学生、経済学とビジネス戦略の間の関係に興味のある学生、経済学の現実への応用に興味のある学生の積極的な受講を期待します。

In this class, students will think about the rationality of human being. Traditionally, economics have the assumption that human being is rational. However, we can easily observe the irrational behavior of us. Therefore, we have doubts about the assumption of rationality is true or not. Let's discuss we are rational, irrational or predictably irrational!

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・人間の合理性について理解することができる。
- ・経済学の心理学的側面について理解することができる。
- ・経済学とビジネス戦略との関係を理解することができる。
- ・グループ学習、グループ発表、グループ討論を通じてプレゼンやディスカッションの能力を身につける。

- ・We will understand the rationality of human being.
- ・We will understand the psychological aspect of economics.
- ・We will understand the relationship between economics and business strategy.
- ・We will acquire the skills of communication and presentation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

授業開講形態：対面授業を行うことを予定しています。

Style of this Class: Normal meeting face-to-face class

Google Classroom のクラスコード「2upehzx」。

Google Classroom's class code: 2upehzx

1 グループ5人程度のグループを作ったうえで、テキストの内容についてグループで報告・発表してもらい、発表内容に基づいてグループ・ディスカッションをしてもらおうと考えています。

現在のところ、次の内容でサブゼミを進めていこうと考えています。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 相対性の真相
- 第3回 需要と供給の誤謬
- 第4回 ゼロコストのコスト
- 第5回 社会規範のコスト
- 第6回 無料クッキーの力
- 第7回 先延ばしの問題と自制心
- 第8回 高価な所有意識
- 第9回 扉をあけておく
- 第10回 予測の効果
- 第11回 価格の力
- 第12回 不信の輪
- 第13回 わたしたちの品性について その1
- 第14回 わたしたちの品性について その2
- 第15回 ビールと無料のランチ

学生の反応・理解度、教員の健康状態等の影響によって内容が変更される可能性があります。

In this class, students will discuss in group about many aspects of the rationality of human being.

The contents and schedule are as shown below:

- #1 Introduction
- #2 The Truth about Relativity
- #3 The fallacy of supply and demand

- #4 The cost of zero cost
- #5 The cost of social norms
- #6 The Influence of arousal
- #7 The Problem of Procrastination and Self-Control
- #8 The High Price of Ownership
- #9 Keeping Doors Open
- #10 The effect of expectations
- #11 The power of price
- #12 The Cycle of Distrust
- #13 The Context of Our Character, Part I
- #14 The Context of Our Character, Part II
- #15 Beer and Free Lunches

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席状況（無断欠席は厳禁）、グループでの発表・報告やディスカッションの内容などから総合的に評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

予想どおりに不合理：行動経済学が明かす「あなたが選ぶわけ」	ダン・アリエリー	早川書房（ハヤカワノンフィクション文庫）	2013 年	978-4-15-050391-8	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習と復習を必要とします。

10. その他/In addition :

「経済学入門 B」をすでに履修し、単位を取得していること

「ミクロ経済分析」を同時に履修することが望ましい。

E-mail: shigemi.izumida.d1@tohoku.ac.jp

オフィス・アワー；金 12:15-13:00

対面又はオンラインで対応しますので、面談を希望する人は事前に E メールで連絡してください。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時 川北キャンパス C 4 0 7

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミでは、数理モデルを用いて政治について学んでいく。有権者や政治家がもつインセンティブをゲーム理論という視点から明らかにし、政治的問題について考察していく。具体的には、低投票率、選挙競争、汚職、連立政権、政治家の資質、選挙運動、メディア、脱官僚、民主化などを取り扱う。また、数理モデルに基づいた理論分析が、政治にまつわる問題の構造を明らかにする上でどのように役立つのか、その限界とは、という点についても議論していく。

The objective of the seminar is to help students understand political economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

政治の経済学およびゲーム理論について理解を深めるとともに、プレゼンの基礎的な技術を身につける。

By the end of the seminar, students should be able to gain a deeper understanding of political economics and game theory and acquire presentation skills.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

毎回、参加者が教科書（浅古泰史 『ゲーム理論で考える政治学 ― フォーマルモデル入門』 有斐閣、2018 年）の該当箇所を報告し、その内容に基づいて議論を行う。

This is a reading group based on students' presentations.

連絡は Google Classroom 上で行う。クラスコードは、qezmzow。

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is qezmzow.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

発表および議論への貢献に基づいて判断する。
正当な理由がなく欠席や大幅な遅刻を繰り返した場合、単位習得を認めない。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ゲーム理論で考える政治学 ― フォーマルモデル入門	浅古泰史	有斐閣	2018	4641149283	教科書
情報とインセンティブの経済学	石田潤一郎, 玉田康成	有斐閣	2020	4641150729	参考書
民主主義の経済学 社会変革のための思考法	北村周平	日経 BP	2022	4296001345	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

参加者は全員、毎回の予習として教科書の報告箇所を読んでもくること。

10. その他/In addition :

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 川北キャンパス C 4 0 6

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このプレゼミはデータ分析より得られる結婚、出産、子育ての真実への理解を深めると同時に、プレゼンテーションやグループディスカッションを通じて、社会人になってからも必要なコミュニケーション能力を養うことを目指す。

This seminar aims to deepen understanding of the truth about marriage, childbirth, and child-rearing through data analysis, and at the same time, to develop communication skills through presentations and group discussions.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下の2点を目標とする。

- (1) 経済学見地から結婚、出産、子育ての実態を理解できる。
- (2) プレゼンテーションやディスカッションの基礎的なスキルを習得できる。

- (1) Understand the realities of marriage, childbirth, and child-rearing from an economic perspective.
- (2) Acquire basic skills for presentation and discussion

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス
2. 育児スタイルと経済学
3. ヘリコプター・ペアレントの出現
4. 世界各国の育児スタイル
5. 不平等、育児スタイル、子育ての罠
6. 鞭からニンジンへ
7. 男子 VS 女子
8. 出生率と児童労働
9. 子育てと階級
10. 学校制度の組織
11. 子育ての未来
12. グループワーク 1
13. グループワーク 2
14. プレゼンテーション 1
15. プレゼンテーション 2

1. Guidance
2. The Economics of Parenting Style
3. The Rise of Helicopter Parents
4. Parenting Styles around the Contemporary World
5. Inequality, Parenting Style, and Parenting Traps
6. From Stick to Carrot
7. Boys versus Girls
8. Fertility and Child Labor
9. Parenting and Class
10. The Organization of the School system
11. The Future of Parenting
12. Group Work 1
13. Group Work 2
14. Final presentation 1
15. Final presentation 2

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語で講義を行う。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

各回の出席状況 (30%)
レジュメ・討論への貢献 (30%)
最終プレゼンテーション (40%)

Class participation (30%)
Contribution of discussion (30%)

Final presentation (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

子育ての経済学ー愛情・お金・育 児スタイル	Matthias Doepke & F a b r i z i o Zilibotti (著) 鹿田昌 美(訳) 大垣昌夫(解 説)	慶応義塾大学出版 社	2020	978-4-7664- 2711-0	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【cwqthpl】である。

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : ZHANG TINGTING/ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 川北キャンパス C407

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

受講者に、「失われた30年」とも呼ばれる1990年代から2010年代までの日本経済、およびこれから日本が直面する経済、人口、社会問題を鳥瞰する視点を提供する。

- ・経済現象に関する問いを立てて調査を進め、仮説を提示することを体感する。

This course will focus on Japan's economy between the 1990s and the 2010s, a period called as "The lost thirty years", as well as overviewing the economic, demographic and social issues that Japan may face in the future.

The course aims to further improve the students' ability to do economic research and to develop higher-level skills in finding answers as well as creation of hypothesis.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・テキストの内容を理解する
- ・情報検索、レポート作成、プレゼンテーションなどの初歩的な調査・研究スキルを身につける。

This course aims to further improve the students' ability to comprehend economic textbooks and to develop skills in information retrieval, academic writing as well as presentation.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回：オリエンテーション・輪読チーム分け・授業の説明
 第2回：『日本経済30年史 バブルからアベノミクスまで』 第1章～第2章
 第3回：『日本経済30年史 バブルからアベノミクスまで』 第3章～第4章
 第4回：『日本経済30年史 バブルからアベノミクスまで』 第5章
 第5回：『日本経済30年史 バブルからアベノミクスまで』 第6～7章
 第6回：『日本経済30年史 バブルからアベノミクスまで』 第8～9章
 第7回：『これからの日本の人口と社会』 第1講～第2講
 第8回：『これからの日本の人口と社会』 第3講～第4講
 第9回：『これからの日本の人口と社会』 第5講～第6講
 第10回：『これからの日本の人口と社会』 第7講～第8講
 第11回：『これからの日本の人口と社会』 第9講～第10講
 第12回：発表チーム分けとグループワーク(1)
 第13回：グループワーク(2)
 第14回：グループワーク(3)発表順決定
 第15回：グループワーク(4)成果発表会

Text one: Nippon-keizai 30-nen-shi baburu kara abenomikusu made, [30 years of Japanese economy: from bubble to Abenomics], (Tokyo: Iwanami Shoten, 2019), Yukio Yanbe .

Text tow: Korekara no nihon'nojinkō to shakai, [Demography and society: looking for the future in japan], (Tokyo: University of Tokyo Press, 2019), Sawako Shirahase etc.

- 1st Orientation and Introduction
 2nd : Chapter 1 and Chapter 2
 3rd : Text one Chapter 3 and Chapter 4
 4th : Text one Chapter 5
 5th : Text one Chapter 6 and Chapter 7
 6th : Text one Chapter 8 and Chapter 9
 7th : Text two Chapter 1 and Chapter 2
 8th : Text two Chapter 3 and Chapter 4
 9th : Text two Chapter 5 and Chapter 6
 10th : Text two Chapter 7 and Chapter 8
 11th : Text two Chapter 9 and Chapter 10
 12th : Presentation team division and Group work 1st
 13th : Group work 2nd
 14th : Group work 3rd and decide order for final presentation
 15th : Group work 4th and Presentation.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常成績 (50%) + 報告・クラスパフォーマンス (50%)
遅刻や無断欠席は厳禁である。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済 30 年史 バブルからア ベノミクスまで	山家悠紀夫 著	岩波書店	2019	978- 4004317999	教科書
これからの日本の人口と社会	白波瀬 佐和子 編	東京大学出版会	2019	978- 4130530279	教科書

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY0MTMzMjMz?cjc=dx3gvfs>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習が中心であり、報告レポートの作成が必要である。教科書を読み、グループで相談して報告と討論の準備をすることが必要である

10. その他/In addition :

教員連絡先 :

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email : zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー : 授業後約 1 時間 (研究室にて可)

プレゼミ/Pre-Seminar

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN/NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 川北キャンパスC408

対象学年/Eligible Participants : 2,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM205J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Today's competition is no longer between firms but between supply chains. Thus, understanding supply chain management is vital to help students deeply understand how firms are operating and interacting with their supply chain partners to build competitiveness. This knowledge will help students quickly learn the operating system when they work for a company or when they want to make a start-up.
This course introduces the foundational knowledge of Supply Chain Management and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: g244snw

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course, students are expected to

- Understand the fundamentals of supply chain management
- Understand today's global supply chains, plus trends like reshoring and near-shoring, and their issues
- Understand the use of information technology in supply chain optimization
- Develop skills: interpersonal skills in a teamwork, effective verbal and writing communication in English, critical thinking skills

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Supply chain strategy
3. Planning the supply chain
4. Sourcing, purchasing, and procurement
5. Manufacturing planning and control
6. Just-in-time & Inventory management
7. Logistics and transportation
8. Midterm presentations
9. Managing product returns and reverse supply chain
10. Managing supply chain performance
11. Supply chain software
12. Supply chain analytics
13. Optimizing your supply chain
14. Supply chain resilience and sustainability
15. Final presentations

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Attendance & Participation 40%; Group presentations 30%; Individual assignment 30%. No written examinations

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Supply Chain Management For Dummies Stanton, D. John Wiley & Sons 2023 1394154569 Textbook

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Lecture slides are available on the Google Classroom (Class code:g244snw). Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

10. その他/In addition :

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: g244snw

How to describe the class environment? Easy English, friendly, and interactive

What to pay attention to:

- Registration should be done bef

会計原理/Accounting Principle

担当教員/Instructor : 亀岡 恵理子/ERIKO KAMEOKA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 1 講時 経済学部第1講義室 後期 金曜日 2 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC210J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

財務会計は、企業が投資家や債権者といった外部の利害関係者に向けて企業の経営成績と財政状態に関する情報を提供するための会計である。その会計情報は、利害関係者が自らの経済的意思決定を行うために用いるものであり、経済社会において重要な役割を果たしている。

Financial accounting is a type of accounting that provides information about a company's financial performance and financial position to external stakeholders such as investors and creditors. This accounting information is used by stakeholders to make their own financial decisions and plays an important role in the economy.

この授業は財務会計に関する幅広い知識を習得することを目的とする。具体的には、制度会計、会計理論、会計基準、基礎から応用までの個別論点をカバーする。

This course aims to provide a comprehensive understanding of financial accounting. It covers various topics, including institutional accounting, accounting theory, accounting standards, and fundamental and advanced issues.

講義では、ある企業の財務諸表を用いて、理解した内容が実際の会計情報にどのように反映されているのか、および会計情報がいかに鮮明に理解しうるのかについても取り上げる。

The course will use a company's financial statements to demonstrate the practical application of accounting knowledge and illustrate how accounting information can be vividly understood.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下を学習の到達目標とする。

- ・財務会計の仕組みがどのように企業活動の実態を会計情報（財務諸表）に描くのかを理解すること
- ・日本の会計制度の成り立ちとその進化を理解すること
- ・現行の財務諸表に含まれる幅広い会計論点を理解すること

The learning goals are as follows:

- ・Understand how the financial accounting system reflects the substance of business activities into accounting information (financial statements).
- ・Understand the institutional origins and development of the Japanese accounting system.
- ・Understand the broad range of accounting issues in current financial statements.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

授業内容はおおよそ以下のように進められる（暫定）。

The course curriculum will (tentatively) proceed as follows.

総論/Fundamental topics

- ・日本の企業会計制度/Japanese accounting system
- ・財務会計の機能と制度/Functions and systems of financial accounting
- ・利益計算の仕組み/Bookkeeping principles
- ・会計理論と会計基準/Accounting theory and accounting standards
- ・利益測定と資産評価の基礎概念/Primary concepts of earnings measurement and asset valuation

個別論点/Specific topics

- ・現金預金と有価証券/Cash and Securities
- ・売上高と売上債権/Sales and Accounts receivable
- ・棚卸資産と売上原価/
- ・有形固定資産と減価償却/Property, plant, and equipment, and Depreciation
- ・無形固定資産と繰延資産/Intangible assets and Deferred assets
- ・負債/Liabilities
- ・株主資本と純資産/Equity and net assets

発展/Advanced topics

- ・キャッシュ・フロー計算書/Cash Flow Statement
- ・連結財務諸表/Consolidated Financial Statements
- ・会計基準の国際化/Globalization of Accounting Standards

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

小課題（30%）と理解度確認セッション（70%）により評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財務会計講義

桜井久勝

中央経済社

2024

教科書

財務会計・入門：企業活動を描き出す会計情報とその活用法	桜井久勝，須田一幸	有斐閣アルマ	2024		教科書
起業ストーリーで学ぶ会計	川島健司	中央経済社	2021	4502398314	参考書

8. 関連URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

教科書や講義資料を使って予習・復習する。

10. その他/In addition：

教科書、参考書ともに、第1回目の講義では使用しません。初回講義で説明しますので、それを聞いてから購入してもらったので結構です。

講義期間中、可能であれば、外部講師を招いた講義回を設ける予定です（仮）。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第 2 4 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第 2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第24演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第24演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4講時 経済学部第22演習室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第22演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第2 2 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 経済学部第13演習室. 前期 水曜日 5講時 経済学部第13演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4講時 経済学部第13演習室. 後期 水曜日 5講時 経済学部第13演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 第3小講義室. 前期 水曜日 5講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4講時 経済学部第10演習室. 前期 火曜日 5講時 経済学部第10演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4講時 経済学部第10演習室. 後期 火曜日 5講時 経済学部第10演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4講時 第2小講義室. 前期 水曜日 5講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）A/Seminar for Business Management (II)A

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済経営数学入門A/Introduction to Mathematics for Economics and Business A

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 前期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM202J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

クラスコード: j44zymr

経済学、経営学で用いられる数学について講義を行う。特に、微積分、線形代数についての講義を行う。前期に実施される講義、経済経営数学入門A では最低限の線形代数について説明を行い、その後、微積分の基礎について講義を行う。

This course will cover the mathematics used in economics and management, with a focus on calculus and linear algebra.

We will cover linear algebra for beginners. Advanced topics in linear algebra will be covered in Introduction to Economic and Management Mathematics B. In the second part of the course, we will cover the basics of calculus.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

まず、行列の計算ができるようになることを目標とする。詳しい線形代数の中身については後期の経済経営数学入門Bで講義を行うので本講義はそれの準備とする。次に、基礎的な微積分の講義を行う。内容は、偏微分については定義について述べるにとどめ、ほとんどの内容について常微分に限定する。

The primary goal of this course is to learn the fundamental operation of matrices. A more detailed treatment of linear algebra will be covered in the sequel course, Introduction to Economic and Management Mathematics B.

Next, we will cover the basics of calculus. Most of the content will be limited to the (ordinary) differential.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. ベクトルと内積、行列の初歩
2. 行列の和と積
3. 転置行列と逆行列
4. 関数の連続性
5. 関数の微分
6. 合成関数の微分
7. 初等関数の微分
8. 中間試験
9. 偏微分の定義
10. 高次導関数
11. 平均値の定理
12. テイラー展開
13. 関数の極値
14. 積分の入門
15. 期末試験

1. Vectors, Inner Products, and Elementary Matrices
2. Addition and Multiplication for Matrices
3. Transpose and Inverse Matrices
4. Continuity of Functions
5. Differentiation of Functions
6. Differentiation of Composite Functions
7. Differentiation of Elementary Functions
8. Midterm Exam
9. Definition of Partial Differentiation
10. Higher Order Derivatives
11. Mean Value Theorem
12. Taylor's Expansion
13. Extreme Values of Functions
14. Introduction to Integration
15. Final Exam

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

中間試験 30%
理解度確認セッション 70%
中間試験は Google Classroom を利用。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済学をまなぶための線形代数	元山 斉 田中康平	実教出版	2023	978-4407352528	教科書
経済学をまなぶための微分積分	元山 斉 田中康平	実教出版	2022	978-4407352511	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義前に教科書を読んでおくこと。

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 金曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 月曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 火曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第3 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第2講義室 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：尾関 規正/NORIMASA OZEKI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 4 講時 経済学部第22演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第22演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor: KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 4 講時 経済学部第22演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第22演習室

対象学年/Eligible Participants: 4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition:

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第 1 3 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 1 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第13 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第13 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学部第 2 1 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第 2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 経済学部第 2 2 演習室. 前期 水曜日 5 講時 経済学部第 2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：李 銀星/YINXING LI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 経済学部第2 2 演習室. 後期 水曜日 5 講時 経済学部第2 2 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 前期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時 経済学研究科 401 演習室. 後期 月曜日 5 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第8 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時. 前期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時. 後期 水曜日 5 講時

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 第3小講義室. 前期 水曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 第3小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 火曜日 4 講時 経済学部第10 演習室. 前期 火曜日 5 講時 経済学部第10 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 4 講時 経済学部第10 演習室. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第10 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 金曜日 4 講時. 前期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：藤原 綾乃/AYANO FUJIWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 4 講時. 後期 金曜日 5 講時 経済学部第3 演習室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management (II)B

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 前期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経営学演習（Ⅱ）B/Seminar for Business Management（Ⅱ）B

担当教員/Instructor：西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 4 講時 第 2 小講義室. 後期 水曜日 5 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants：4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EBA-MAN430J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

演習は、専門的なテーマについて少人数でかつ教員と学生との間の双方向のコミュニケーションを通じて、学生の積極的な知的探求能力を向上させようとする科目です。

Seminar is the subject that aims to improve students' proactive intellectual exploration skills on specialized topics through small-scale and interactive communication between professors and students.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

演習に参加するすべての学生に要求されることは

- ・ 演習のテキストを精読する。
- ・ テーマについて熟慮する。
- ・ テーマについて活発に議論する。
- ・ 演習論文の完成に最善を尽くす。

Every student is required to

- ・ read the text carefully;
- ・ think about the themes seriously;
- ・ discusses the themes actively;
- ・ do your best to complete the thesis.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の専門領域によります。『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

It depends on the supervisor's major. See the handbook (TEBIKI) for seminar.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

6. 成績評価方法/Evaluation method：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

9. 授業時間外学修/Preparation and Review：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

10. その他/In addition：

『経済学部演習履修の手引き』を参照して下さい。

See the handbook (TEBIKI) for seminar.

経済経営数学入門B/Introduction to Mathematics for Economics and Business B

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 1・2,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM203J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

クラスコード urqyyay

経済学、経営学で用いられる数学について講義を行う。特に、線形代数、2変数(または高次の)関数、積分についての講義を行う。

This course will cover the mathematics used in economics and management, with a focus on calculus and linear algebra.

We will cover linear algebra, and calculus in the second (or higher) dimensional space and integration.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経済経営数学入門Aより詳細な内容の線形代数について講義を行う。特に固有値、固有ベクトルなどについても講義をする。後半は偏微分や積分について講義を行う。

This course will cover linear algebra in more detail than Introduction to Economic and Management Mathematics A. In particular, we will also cover topics such as eigenvalues and eigenvectors. The second half of the course will cover partial differentiation and integration.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 行列についての復習
2. 対称行列、直交行列、逆行列
3. 置換
4. 行列式
5. 連立方程式
6. 行列の階数
7. 固有値、固有ベクトル
8. 行列の対角化
9. 中間試験
10. 偏微分
11. 全微分
12. 条件付き極値
13. 定積分
14. 置換積分、部分積分
15. 期末試験

1. Review of Matrices
2. Symmetric, Orthogonal, and Inverse Matrices
3. Permutations
4. Determinants
5. Systems of Linear Equations
6. Rank of a Matrix
7. Eigenvalues and Eigenvectors
8. Diagonalization of Matrices
9. Midterm Exam
10. Partial Differentiation
11. Total Differentiation
12. Constrained Maxima and Minima
13. Definite Integrals
14. Substitution and Integration by Parts
15. Final Exam

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語(Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

中間試験 30%

理解度確認セッション 70%

中間試験は Google Classroom を利用。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済学をまなぶための線形代数	元山 斉 田中康平	実教出版	2023	978-4407352528	教科書
経済学をまなぶための微分積分	元山 斉 田中康平	実教出版	2022	978-4407352511	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義前に教科書を読んでおくこと。

10. その他/In addition :

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

中級マクロ経済学特殊講義/Intermediate Macroeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor : 松前 龍宜/TATSUYOSHI MATSUMAE

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 1 講時. 前期 金曜日 2 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0362J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

動学マクロ経済モデルの解法を習得し、標準的な経済成長理論と景気循環理論を学習する。経済成長と景気循環の背後にある経済学的メカニズムとそれに対する適切な経済政策について理解することを目的とする。

In this course, students will learn how to solve dynamic macroeconomic models and study standard economic growth and business cycle theories. The objective is to understand the mechanisms behind economic growth and business cycles and appropriate economic policies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

このコースを通して、以下の習得を目指す。

1. 経済全体のメカニズム、および、総生産、雇用、賃金、利子率がどのように決まるかが説明できる。
2. 基本的なモデル（経済成長、消費と貯蓄、景気循環など）を根底にある要因を描写できる。
3. 経済政策や、外的ショックの経済への効果を厳密に評価できる。

The aims of this course are to

1. Students will be able to describe the overall economic mechanism and how GDP, employment, wages, and interest rates are determined.
2. Students will be able to describe the factors underlying the basic models (economic growth, consumption and savings, business cycles, etc.).
3. Students will be able to rigorously evaluate economic policies and the effects of shocks on the economy.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容を取り扱う予定である。

- (1) マクロ経済学の潮流
- (2) 一般均衡モデルの解法
- (3) ソローモデル
- (4) 最適成長（ラムゼイ）モデル
- (5) 内生的経済成長モデル
- (6) 消費-貯蓄モデル
- (7) 動学的一般均衡モデル
- (8) 景気循環(RBC) モデル
- (9) 貨幣経済(New Keynesian) モデル
- (10) 世代重複(OLG) モデル

※時間があれば、その他の重要なトピックを扱う予定である。

The following topics will be covered

- (1) Current trends in macroeconomics
- (2) General equilibrium model solutions
- (3) Solow model
- (4) Optimal growth (Ramsey) model
- (5) Endogenous growth model
- (6) Consumption-Savings model
- (7) Dynamic general equilibrium model
- (8) Business cycle (RBC) model
- (9) New Keynesian model
- (10) Overlapping generations (OLG) model

Other important topics will be covered if time permits.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。受講者が提出する課題は日本語か英語とする。試験は日本語で出題し、解答は日本語か英語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

試験 (60%) と課題 (40%)。試験は、学期中と理解度確認期間の 2 回実施する。課題は、ほぼ全てのトピックの最後に問題を課し、提出を求める。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Advanced Macroeconomics	David Romer	McGraw Hill	2012	9780073511375	参考書
The ABCs of RBCs: an	George McCandless	Harvard University	2008	9780674028142	参考書

introduction to dynamic macroeconomic models Monetary Theory and Policy	Carl Walsh	MIT Press	2017	9780262035811	参考書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom にスライドを事前にアップする予定である。

【Google classroom コード: kbsayyy 】

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

課題を通して、各トピックの本質を理解してもらう。

10. その他/In addition :

経済学史/Economic Thought

担当教員/Instructor : 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時 経済学部第3講義室. 後期 金曜日 1 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0310J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この講義では、以下のような到達目標を踏まえ、これまでの（経済そのものではなく）経済学の歴史を概観します。

This course intends that the participants understand the history, not of Economy, but of the Economic sciences (Oeconomicus, Political Economy, Economics, and so on) in order to achieve the objectives below.

本講義に関する詳細は、専用ホームページ

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~odanaka/gakushi24/index.html>

を参照されたい。

The detail of this class is shown in the following homepage (in Japanese):

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~odanaka/gakushi24/index.html>

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・経済学は皆さんが日常生活を生きる力となる知識であるということを理解したうえで、様々な経済理論の基本的な骨格を把握すること。
- ・様々な経済理論が生まれたときの時代的な背景を理解して、先人の思考のあり方を追体験すること。
- ・各経済理論の学問的な系譜を追いかけることによって、知識の体系としての経済学の総体についての見取り図を自分なりに作りあげること。

1. To understand the fundamental structure of economic sciences, from the viewpoint that they constitute the knowledge which could make your everyday life better..
2. To re-experience the ways of thinking of economists, positioning them in the historical backgrounds where they were born.
3. To make a map of economic sciences as a system of knowledge by following the academic genealogy of each economic science.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：経済学史を学ぶ意義
- 第3回：アリストテレス
- 第4回：古典派経済学
- 第5回：厚生経済学
- 第6回：復習と確認
- 第7回：スミス
- 第8回：再生産の理論
- 第9回：価値の理論
- 第10回：モラル・エコノミー論
- 第11回：生存保証
- 第12回：福祉国家の思想
- 第13回：復習と確認
- 第14回：理解度確認1
- 第15回：デュビュイ
- 第16回：余剰分析と公共経済学の発展
- 第17回：政府の役割
- 第18回：ジェヴォンズ
- 第19回：ワルラスとメンガー
- 第20回：パレート
- 第21回：復習と確認
- 第22回：ヴェブレンとシュンペーター
- 第23回：企業の経済学
- 第24回：経営学の歴史
- 第25回：ケインズ
- 第26回：「景気政策」という思想
- 第27回：新しいマクロ経済学
- 第28回：復習と確認
- 第29回：理解度確認2
- 第30回：リブライ or 予備日

This is a lecture-centered course from Aristotle to the new classical macro economics.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業中に2回の理解度確認をおこない、その成績をくみあわせて評価する予定ですが、詳細については現在検討中です。

Evaluation by two exams. maybe.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ライブ・経済学の歴史

小田中直樹

勁草書房

2003

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

教科書に完全に準拠した授業をするので、該当箇所を読んできたことを前提に授業を進めます。これが予習になります。また、授業内容と教科書をつきあわせて検討することが復習となります。

As this course is based on the textbook, participants are required to read the assigned part before the course and to cross-check the textbook and the content of the

10. その他/In addition :

・なにか質問などあれば、遠慮なく小田中（022-795-6280、odanaka@tohoku.ac.jp）までどうぞ。ちなみにオフィスアワーは水曜日の昼休みです。

If you have a question, do not hesitate to contact me by mail (odanaka@tohoku.ac.jp), phone (022-795-6280), or by coming to my office on the office hour (Wednesday 12:00)

中級ミクロ経済学特殊講義/Intermediate Microeconomics(Special Lecture)

担当教員/Instructor：泉田 成美/SHIGEMI IZUMIDA

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 1 講時. 前期 木曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0360J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

大学院修士課程 1 年生レベルのミクロ経済学の講義を行います。ミクロ経済学は、経済分析の基礎となる科目であり、近代経済学の研究をするにあたって必要不可欠な分析手法を提供しています。講義と演習問題を通じて、ミクロ経済学の中級レベルの分析手法を身につけることを目的とします。

In this course, students learn about the intermediate level microeconomics. Positive participation in classes is expected

2. 学修の到達目標/Goal of study：

大学院での研究に必要なミクロ経済学の基礎的な知識と分析能力を身につける。

Students will understand the knowledge and analytical method of intermediate level microeconomics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

担当教員の健康上の理由により対面授業を行うことができないため、オンライン授業を行います。

オンライン授業の方法として、Google Classroom を使って、(1) 録画した講義を配信するオン・デマンド方式と、(2) 演習問題を配布し、解答を提出させる資料配布方式を併用することを予定しています。

Google Classroom のクラスコードは、zrsuzam です。

講義と並行して演習問題（宿題）の解説を行います。

以下の内容の講義を予定していますが、参加者の興味・関心や反応、教員の健康状態等によって変更することもあります。

- 第 1 回 イントロダクション 経済学と最適化問題
- 第 2 回 演習問題解説（その 1）
- 第 3 回 静学的最適化問題① 制約のない最大化問題
- 第 4 回 演習問題解説（その 2）
- 第 5 回 静学的最適化問題② 等号制約付き最大化問題とラグランジュの未定乗数法
- 第 6 回 演習問題解説（その 3）
- 第 7 回 静学的最適化問題③ 不等号制約付き最大化問題とキューン・タッカー法
- 第 8 回 演習問題解説（その 4）
- 第 9 回 生産者行動理論① 生産技術と生産関数
- 第 10 回 演習問題解説（その 5）
- 第 11 回 生産者行動理論② 費用最小化問題と費用関数
- 第 12 回 演習問題解説（その 6）
- 第 13 回 生産者行動理論③ 規模の経済・不経済
- 第 14 回 演習問題解説（その 7）
- 第 15 回 生産者行動理論④ 複数財生産での費用関係
- 第 16 回 演習問題解説（その 8）
- 第 17 回 生産者行動理論⑤ 費用関数の推定、規模の経済・範囲の経済の検証
- 第 18 回 演習問題解説（その 9）
- 第 19 回 消費者行動理論① 予算制約下の効用最大化問題と需要関数
- 第 20 回 演習問題解説（その 10）
- 第 21 回 消費者行動理論② 間接効用関数と支出関数
- 第 22 回 演習問題解説（その 11）
- 第 23 回 消費者行動理論③ スルツキー方程式
- 第 24 回 演習問題解説（その 12）
- 第 25 回 消費者行動理論④ 余剰分析、序数的効用と基数的効用
- 第 26 回 演習問題解説（その 13）
- 第 27 回 不完全競争の経済分析① 独占企業の行動
- 第 28 回 演習問題解説（その 14）
- 第 29 回 不完全競争の経済分析② 寡占企業の行動（ベルトラン競争とクールノー競争）
- 第 30 回 まとめ

The contents and schedule are as shown below:

- #1 Introduction: Economics and Optimization problem
- #2 Explaining homework ①
- #3 Static optimization problem ①: Unconstrained optimization problem
- #4 Explaining homework ②
- #5 Static optimization problem ②: Lagrangian method
- #6 Explaining homework ③
- #7 Static optimization problem ③: Kuhn-Tucker method

#8 Explaining homework ④
#9 Producers behavior ①: Technology and Production Function
#10 Explaining homework ⑤
#11 Producers behavior ②: Cost minimization and Cost Function
#12 Explaining homework ⑥
#13 Producers behavior ③: Economies of Scale and Diseconomies of Scale
#14 Explaining homework ⑦
#15 Producers behavior ④: Cost Relationships with Multiproduct
#16 Explaining homework ⑧
#17 Producers behavior ⑤: Estimation of Cost Function
#18 Explaining homework ⑨
#19 Consumers behavior ①: Utility maximization and Demand Function
#20 Explaining homework ⑩
#21 Consumers behavior ②: Indirect Utility Function and Expenditure Function
#22 Explaining homework ⑪
#23 Consumers behavior ③: Slutsky Equation
#24 Explaining homework ⑫
#25 Consumers behavior ④: Consumer's Surplus, Cardinal Utility and Ordinal Utility
#26 Explaining homework ⑬
#27 Imperfect Competition ①: Monopoly
#28 Explaining homework ⑭
#29 Imperfect Competition ②: Oligopoly
#30 Conclusion

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションの成績 (50%) と宿題の成績 (50%) により決定します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

講義資料は授業中に配布します

参考書は授業中に指示します

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

十分な予習復習が必要です。

Students are required to prepare and review for each class.

10. その他/In addition :

履修条件；学部のみクロ経済分析・経済経営数学程度の知識を持っていること。また、問題演習を重視する授業形式の必要性から、参加者は30名以内に制限します。そのため、受講希望者は第1回目の講義を必ず視聴し、期日までに問題演習（宿題）の解答を提出してください。2回目からの参加は原則として認めません。

他の科目との関連について；ゲーム理論とマイクロ経済学のより発展的な内容は後期開講の「上級マイクロ経済学」にて取り扱う予定ですので、興味のある方は引き続き受講してください。

オフィス・アワー；金曜日 12:15~13

財政学/Public Finance

担当教員/Instructor: 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 2講時 経済学部第2講義室 後期 金曜日 3講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0312J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業では、公共部門である政府の資金調達（財政学）、支出の効果（公共経済学）の基礎的レベルを講義する。ここでは、経済理論的なアプローチに加えて、実証分析の手法と成果にも意が払われます。

In this class, I will teach the basic levels of public finance (revenue of public sector, government) and effects of expenditure (public economics). I will focus on empirical analysis methods and results, in addition to economic theory.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

公共部門の経済活動の基礎的内容を理解し、「根拠に基づく公共政策」を議論する基礎的知識を身につける。国家公務員、地方公務員、公共部門の職員等にとって有益な知識を身につける。

To understand the basic economic activity of public sector and acquire basic knowledge to discuss "evidence-based public policy."

To acquire useful knowledge for national government officials, local government employees, public sector staff, etc.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

※授業の進度によっては、以下の内容に一部異動が生じる場合がある。

unit0 財政学とは

第1章 財政学の基礎

unit1 財政の役割/unit2 財政の仕組み/unit3 経済分析の基本ツール

第2章 市場の失敗と政府の役割

unit4 市場と効率性/unit5 外部性/unit6 公共財/unit7 社会厚生と再分配政策/unit8 効率性と再分配政策

第3章 政府介入の意義と政府の失敗

unit9 景気安定化機能/unit10 公共投資と社会資本/unit11 公営企業と規制産業/unit12 政府の失敗

第4章 地方財政と政府間財政関係

unit13 地方財政制度の概要/unit14 政府間財政移転と地方債の実践/unit15 地方分権の経済分析/

unit16 政府間財政移転の経済分析

第5章 租税制度とその効果

unit17 租税の基礎理論/unit18 消費に対する課税/unit19 所得に対する課税/unit20 法人に対する課税/

unit21 資産に対する課税

第6章 政府支出と社会保障

unit22 公的年金/unit23 医療・介護/unit24 子育て・教育/unit25 生活保護と公的扶助

第7章 財政赤字の負担

unit26 財政収支/unit27 持続可能性と財政再建/unit28 中立命題

特別講義: 財政に関わりの深い行政機関の実務者による講話も予定している。

unit0 What is the public finance?

Chapter 1 Basics of Public finance

Unit1 The Role of Public Finance / unit2 The Mechanism of Public Finance / unit3 Basic Tools for Economic Analysis

Chapter 2 Market failure and the role of government

Unit4 Market and efficiency / unit5 Externality / unit6 public goods / unit7 social welfare and redistribution policy / unit8 Efficiency and redistribution policy

Chapter 3 Significance of Government Intervention and Government Failure

Unit9 Economic stabilization function / unit10 public investment and public capital / unit11 public enterprises and regulated industries / unit12 Government failure

Chapter 4 Local and Intergovernmental Financial Relations

Unit13 Overview of local fiscal system / unit14 Intergovernmental fiscal transfer and local bond practice /

Unit15 Economic analysis of decentralization / Unit16 Economic Analysis of Intergovernmental Fiscal Transfer

Chapter 5: Tax system and its effects

Unit17 Basic theory of taxation / unit18 Taxation on consumption / unit19 Taxation on income / unit20 Taxation on corporations / Unit 21 Tax on assets

Chapter 6 Government Expenditure and Social Security

Unit22 Public Pension / unit23 medical care, nursing / unit24 childcare, education / unit25 Welfare and public assistance

Chapter 7: Burden of budget deficits

Unit26 Financial Balance / unit27 Sustainability and Fiscal Reconstruction / unit28 Ricardian equivalence theorem

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

教室による理解度確認セッション、持ち込み自由の100点法。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財政学をつかむ(改訂版 吉田 浩他	有斐閣	2024	978-	教科書
2024/3/18)			4641177338	

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY0NDI3MTUw?cjc=v3y31b7>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業中に配布、指示される練習定着問題をよく復習する。

10. その他/In addition :

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

経済学史特殊講義/History of Political Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 古谷 豊/YUTAKA FURUYA

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 3 講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0368E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom Code: 3nhwcp6

Introduction to Economics:

If you are interested in the story behind Micro and Macro Economics you are learning, or if you have faced challenges in coming to grips with some of the conceptual foundations of modern Economic theory, you may find this course beneficial. Past students have told me that the course improved their understanding of current economic theory by tracing its historical evolution. They have shared that the course served as a complement and guide to their Micro and Macro Economics studies.

The discipline of Economics has a complex history marked by contradictions. On one hand, it is a history of disagreement and changes, but on the other, it is a persistent effort to address crucial questions facing society. This interplay of discontinuity and continuity has shaped Economics into the theory we study today. By tracing the evolution of the science, we can gain a deeper understanding of its essence and how it has developed into its current form.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

Upon completion of this course, you will be able to:

- develop an in-depth understanding of the context of contemporary economic theory
- acquire knowledge of the various schools of economic thought
- understand why economics has changed over time

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

This course will be held in-person. We will use Google Classroom for communication and assignments.

1. Schedule of the course:

Week 01 April 9 (course introduction)

Week 02 April 16 Thomas Mun.

Week 03 April 23 Adam Smith.

Week 04 April 30 David Ricardo.

Week 05 May 7 Malthus and Sismondi.

Week 06 May 14 Friedrich List.

Week 07 May 21 (midterm exam followed by a brief explanation session)

Week 08 May 28 Karl Marx.

Week 09 June 4 Léon Walras.

Week 10 June 11 Alfred Marshall.

Week 11 June 18 J. M. Keynes.

Week 12 June 25 Hicks and Samuelson.

Week 13 July 2 Milton Friedman.

Week 14 July 9 New Neoclassical Synthesis.

Week 15 July 16 (final exam followed by a brief explanation session)

2. Weekly routine:

- Prior to each class session, you will review the designated readings and share your insights with others via Google Classroom.
- The class will commence with quizzes based on the assigned readings;
- followed by a lecture from me on the topic for the week.
- The final segment of the class, lasting ten to fifteen minutes, will be dedicated to class discussion.

3. Readings:

The assigned readings for each class typically range from 6,000 to 7,000 words, with slight variations from week to week. You are not expected to delve deeply into each reading. Instead, a quick read-through should be sufficient to complement your understanding of the weekly lectures.

After your brief read-through, please share your key takeaway or insight in a concise post on Google Classroom, consisting of one or two sentences.

4. Reading Quizzes:

There will be three to five quizzes of moderate ease. The format of the quizzes will be fill-in-the-blank, multiple choice, true/false, etc.

Please arrive on time for the quizzes, as no make-up quizzes will be given.

5. Class discussion:

A moderator for each week will be sought in advance. The role of the moderator will be to facilitate the discussion and encourage a productive exchange of ideas regarding the topic of the day.

In courses such as the history of economic thought, it is inevitable that certain topics may arise that some participants may find uncomfortable. As we engage in class discussions, I kindly ask you all to acknowledge that diverse perspectives and opinions may be present. Please maintain a considerate demeanor towards those with whom you may have differing viewpoints.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

30% Active class participation

20% Reading quizzes

20% Midterm exam

30% Final exam

Make sure not to miss the scheduled exams. The only acceptable justification for missing the midterm or final exams is a verified medical emergency, supported by a p

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Leaf through the designated readings and share your insights with others via Google Classroom before each class.

10. その他/In addition :

Please make sure to attend the first class, which will take place from 13:00 to 14:30 on April 9th, in Lecture Hall 3.

Notes on further reading:

- Heilbroner, R. (2000). The Worldly Philosophers: The Lives, Times And Ideas Of The Great Economic Think

日本経済史/History of Japanese Economy

担当教員/Instructor: 酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 2 講時 経済学部第 1 講義室 前期 水曜日 1 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0224J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

かつて途上国であった日本は、19 世紀以降、先進国へのキャッチアップを始め、20 世紀後半には大きな経済成長を達成しました。本授業は、この間の日本経済の軌跡（長期的変化）について、国際的な比較も踏まえながら、いくつかの特徴的な主題を取り上げて講義します。講義を通じて、日本経済の歴史を、経済成長における一般性（国際的な共通性）と特殊性（国や地域ごとの特徴）の両面から理解していくことを目指します。

Once a developing country, Japan began to catch up with the developed countries after the 19th century and achieved significant economic growth in the latter half of the 20th century. This class will lecture on the history of the Japanese economy during this period, taking into account international comparisons and several characteristic topics. Through the lecture, we aim to understand the history of the Japanese economy in terms of both generalities (international commonalities) and particularities (country- and region-specific characteristics) in economic growth.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本授業において、受講生に求められる目標は次の通りです。

- (1) 19～20 世紀の日本経済の変化と構造を法制度・社会慣習・文化背景などを含めた多面的な要因から総合的に理解すること
- (2) 講師の説明や配布された史資料の意味を正確に理解・読解すること
- (3) 自らの思考を第三者に対して現代の日本語で平易に説明すること

Students are expected to achieve the following:

- (1) To comprehensively understand the changes and structure of the Japanese economy in the 19th and 20th centuries from a multiple perspective, including the legal system, social customs, and cultural background.
- (2) To accurately understand and read the meaning of the lecturer's explanations and historical materials.
- (3) To explain one's own thinking to the other in plain, modern Japanese.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

各回の授業は、スライドなどを提示し、教員からの説明を中心に進めます。その内容と予定は以下の通りです（なお、授業内容と進捗に変更が生じる場合は、授業内および Google Classroom を通じてお知らせします）。

1. 経済成長から見る日本と世界 (No. 1～3)
2. 前工業化時代の日本 (No. 4～8)
3. 移行期の日本経済 (No. 9～12)
4. 産業革命と二重構造 (No. 12～16)
5. 戦間期の日本経済 (No. 16～22)
6. 日本経済の連続と断絶 (No. 23～26)
7. 高度経済成長 (No. 27～30)

ただし、講義に関する歴史的な文献（史料）あるいはグラフ・数表などを受講者自身が読み解き、内容の解説や考察をして、その結果を提出してもらう機会を複数回設けます。なお、この歴史的な文献には、明治大正時代の言葉で記された文字資料もあるので、その点は留意してください。

This class is a non-interactive lecture in which the teacher explains the content of PP slides. (If there are any changes in the content or progress of the class, notification will be made in class and via Google Classroom.)

Course schedule:

1. Japan and the World from the Perspective of Economic Growth (No.1-3)
2. Japan in the pre-industrial era (No.4-8)
3. Japan's Economy in Transition (No.9-12)
4. The Industrial Revolution and the Dual Structure (No.12-16)
5. The Japanese Economy in the Interwar Period (No.16-22)
6. Continuity and Discontinuity in the Japanese Economy (No.23-26)
7. High economic growth (No.27-30)

However, students are required to read and interpret historical documents, graphs, and tables related to the lecture, submit the assignments several time. Please note that some of these historical documents are written in the language of the Meiji and Taisho periods.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業後もしくは中に行う課題の得点、さらに期末レポートの出来栄により評価します。課題は複数回実施する予定です。

Evaluation will be based on the score of assignments and the final report. Assignments will be given multiple times.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済史—近世から現代まで	沢井実・谷本雅之	有斐閣	2016	978-4-641-16488-8	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

時間外に課題に取り組む機会が複数回ある。また、各授業の関連性について理解を深めるために授業内容の復習を強く勧める。

Some ideas discussed in one session may be pertinent to the themes of the following sessions. Students are encouraged to do their revision after class.

10. その他/In addition :

本講義では、グーグルクラスルームも使用します。クラスコードは、krhmqry
履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

金融論/Money and Banking

担当教員/Instructor : 久保田 荘/SO KUBOTA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 3 講時. 後期 木曜日 2 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0313J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義では、現在の金融市場に関する基礎的な制度や、家計・企業・金融機関の行動について解説します。特に、皆さんが東北大を卒業してこの厳しい社会を生き抜いていくに当たって、必要な金融知識を身につけることを目標とします。講義の特徴として、現実の金融データを扱う演習を実施します。代わりに理論的分析は弱くなりますので、こちらに興味がある方は来年度浅野先生の講義をお勧めします。

This lecture provides basic knowledge of the current financial market and skills for analyzing the behavior of households, firms, and financial institutions. You will be financially literate to survive in this tough society after graduating from Tohoku University. I will put much emphasis on the programming exercise using real-world financial data. For students interested more in theoretical analysis, I recommend next year's lecture by Professor Asano.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

親戚や友人に「ねえ、経済学部で勉強してるんでしょ？株とか教えてよ」と聞かれたときに、それっぽいことが言えるようになること。統計ソフトウェア「R」を使って、実際の金融データを加工してグラフを描けるようになること。

Your relatives and friends may ask you like, "Hey, you are an economics major, right? Tell me about stocks and finance." One goal is to be able to say something to such a question. The next objective is to acquire data analysis skills to process real-world financial data and draw diagrams using the statistical software R.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

初年度のため、講義の連絡や資料配付方法は未定です。また、講義スケジュールはとりあえず以下の通りですが、Rの利用など実験的な取り組みとなりますので、計画変更が多分あります。受講登録前に以下のサイトを見てください。

<https://sites.google.com/site/gkubotaso/lecture>

Since this is my first lecture in Tohoku U, I'm unsure how to communicate with you guys. Also, this lecture is experimental, especially in R exercises. I will likely change the schedule, so please take a look at the website below before you register for this lecture.

<https://sites.google.com/site/gkubotaso/lecture>

1. イントロダクション、金融リテラシー調査
2. 金融市場の基礎、Federal Reserve Economic Data (FRED)の利用
3. 複利計算、R入門
4. 収益率と割引現在価値
5. リスクプレミアムとRによる計算
6. 家計貯蓄のモデル、Rで制約付き最適化問題
7. 株式市場
8. 株価データの利用、tidyverse入門
9. Rによる時価総額とリターンの計算
10. 分散投資、Rで効率的フロンティア描画
11. 家計と金融資産
12. 家計個票統計(Survey of Consumer Finance, SCF)の利用とRによる可視化
13. 企業の資金調達と財務諸表
14. 企業財務データの利用とRによる可視化
15. 情報の非対称性と金融市場の不完全性
16. 銀行制度
17. 銀行の信用創造と通貨指標、FREDによるマクロ指標の可視化
18. 保険と年金、RによるSCFの可視化
19. 金融機関
20. 金融危機の理論モデルと金融規制
21. 債券市場
22. 金利の期間構造、Rによるフォワードレート計算
23. デリバティブ
24. 日銀エコノミストの特別講義：中央銀行制度と金融政策
25. フィリップス曲線、テイラールールと、動的AD-ASモデル
26. Rによる動的AD-ASモデルと金融政策のシミュレーション
27. 非伝統的金融政策
28. CAPMの理論（試験対象外）
29. RによるCAPMの実証（試験対象外）
30. 理解度確認セッション

1. introduction, financial literacy survey
2. basics of financial markets, Federal Reserve Economic Data (FRED)
3. compound interest calculations, introduction to R
4. rate of return and discounted present value
5. risk premium and its calculation using R
6. household savings model, constrained optimization using R
7. stock market
8. stock price data, introduction to tidyverse
9. R exercise on market capitalization and returns of stocks
10. portfolio diversification, efficient frontier drawing in R
11. households and financial assets
12. household survey (Survey of Consumer Finance, SCF) and visualization using R
13. corporate finance and financial statements
14. firms' financial figures and visualization using R
15. asymmetric information and financial market imperfection
16. banking system
17. bank credit creation and monetary indicators, visualization of macro stat using FRED
18. insurance and pension, visualization of SCF using R
19. financial institutions
20. theoretical model of financial crisis and financial regulation
21. bond market
22. term structure of interest rates, R exercise on forward rate calculation
23. derivatives
24. special lecture by a BOJ economist: central banking system and monetary policy
25. Phillips Curve, Taylor Rule and Dynamic AD-AS Model
26. dynamic AD-AS model and monetary policy simulation using R
27. unconventional monetary policy
28. CAPM, theory (optional)
29. CAPM, empirical analysis using R (optional)
30. review session

他に、講義期間中に架空の株式市場を開きますので、学習がてら実際に運用してみてください。運用成績に応じて、ボーナス点を加えます。

I will open a fictitious stock market during the lecture. You can try stock investment using the skills learned in this lecture. I will give extra points based on your performance.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Rを使った演習、理解度確認セッション、投資成績ボーナス

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

入門テキスト 金融の基礎(第2版)	藤木裕	東洋経済新報社	2022	9784492654934	参考書
実証会計・ファイナンス: Rによる財務・株式データの分析	笠原晃恭・村宮克彦	新世社	2022	4883843491	参考書
金融	内田浩史	有斐閣	2016	4641164932	参考書

8. 関連URL/URL :

<https://sites.google.com/site/gkubotaso/lecture>
<https://str.toyokeizai.net/books/9784492654934/>
<https://www2.econ.osaka-u.ac.jp/~eaafinr/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

投資ゲームをやってみる。

10. その他/In addition :

統計学入門とミクロ経済分析とマクロ経済分析を履修済みであることが望ましい。プログラミング経験は必要ない。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

計量分析/Econometrics

担当教員/Instructor : 松田 安昌/YASUMASA MATSUDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 2 講時 経済学部第 2 講義室. 前期 金曜日 2 講時 経済学部第 2 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM212J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google classroomcode:

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY0ODU4NDM4?cjc=mzfijqk>

随時投稿するので、最新情報はこちらを参照してください。

本講義「計量分析」は経済学部データサイエンス科目群の一つです。データサイエンスを学びたい方は次の年限で履修してください。

1. 統計学入門（1 年次前期）
2. 計量分析（2 年次前期）
3. 数理統計（2 年次後期）
4. データサイエンス（2 年次後期）

特に、学部大学院一貫教育プログラム「データ科学」を希望する方は履修してください。

現代的な機械学習を学ぶための基本となる「回帰分析」からスタートし、「分類問題」、「ニューラルネットワークモデル」を扱います。データサイエンスでは、データ分析プログラミングが必須です。本講義では、コーディングが初めてという方を想定して入門から講義します。プログラミング未経験者も安心して Python コーディングに挑戦してください。

なお、教科書として「経済経営のデータサイエンス」（共立出版）を指定します。上記データサイエンス科目すべての参考図書として有効に使えます。

We will introduce basics to learn modern data science, ie. regression analysis, classification methods and deep learning. In order to learn data science, model fitting to actual data by programming is necessary. We suppose class members has no programming experiences and will guide intensive introductions pf Python coding. We do hope you challenge Python coding for big data with modern data science tools.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

現代的な機械学習の基本を学び、Python プログラミングによってデータ分析を実行できるようになること。特に、ニューラルネットワークモデルでは Pytorch によるコーディングで、画像、自然言語に自身で応用分析することを目指します。

to learn basics of modern data science and as a result to analyze big data by fitting machine learning methods in Python coding.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. 平均、分散の復習

2. 回帰分析（回帰）

- 2.1 線形回帰モデル
- 2.2 ポアソン回帰モデル
- 2.3 過適合と 正則化

3. 回帰分析（分類）

- 3.1 ロジットモデル
- 3.2 プロビットモデル
- 3.3 決定木

4. 深層学習

- 4.1 ニューラルネットワークモデル
- 4.2 畳み込みニューラルネット（画像認識）
- 4.3 Word2vec（自然言語処理）

1. review of introductory statistics

2. regression

- 2.1 linear regression model
- 2.2 Poisson regression model
- 2.3 overfitting and regularization

3. classification

- 3.1 logit model
- 3.2 probit model
- 3.3 decision tree

4. deep learning

- 4.1 neural network model
- 4.2 applications to image recognition by convolutional neural network (CNN)

4.3 application to natural language processing by word2vec

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

5月初旬(回帰分析)、6月初旬(分類モデル)、7月初旬(ニューラルネット)について課題を出します。課題レポートの成績によって評価します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済経営のデータサイエンス	石垣、植松、千木良、共立出版	2022	4320125193	書籍
	照井、松田、李			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎週宿題を出すので、必ず解いてから翌週の講義に臨むこと

10. その他/In addition :

「統計学入門」を履修していることが望ましい。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

国際経済/International Economics

担当教員/Instructor : 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 2 講時. 前期 金曜日 3 講時 経済学部第2 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0314J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

国際経済学は国際貿易論と国際金融論から成り立っています。これらの基礎的な経済理論を学ぶことにより国際経済をバランスよく理解することが授業の目的です。例えば、戦後世界の多くの国々では財サービスだけでなく、人や金の移動の自由化が促進されてきました。なぜでしょう？経済理論が分かれば、近年脚光を浴びた TPP、移民、欧州経済（EU やユーロ圏）などの問題をより深く理解できるはずです。

To understand better international economic issues, students will be presented with economic theories and historical facts.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

メディアで取り上げられている国際経済に関する内容を、経済理論をもとに理解できるようになることが学習の目標。入門レベルの経済理論の知識を開放経済に発展させ、日本を取り巻く世界経済や今後の展望を自分で考えることができるようになる。

After taking this class, students are expected to understand current global issues using economic theories.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

開放経済を理解するために必要な基礎理論を講義形式で学ぶ。下記のような授業内容を予定しているが、理解度に応じ随時変更する。

We cover the standard theories on international finance and trade as well as immigration.

1. イントロ（国際貿易） Introduction
2. 貿易と効用 Trade and utility
3. 絶対優位 Absolute advantage
4. 比較優位 Comparative advantage
5. リカードモデル Ricardo model
6. メリッツモデル Melitz model
7. 貿易政策の理論 Trade policy
8. 経済統合 I Economic integration
9. 経済統合 II Economic integration
10. まとめ（国際貿易） Summary
11. 移民の経済学 Immigration
12. イントロ（国際金融） Introduction
13. 購買力平価 PPP
14. マネタリーモデル Monetary model
15. 金利平価モデル Interest parity conditions
16. リスクプレミアム Risk premia
17. 期待（情報）と為替レート Expectations and exchange rates
18. ポートフォリオバランスモデル Portfolio balance model
19. マンデル・フレミングモデル Mundell-Flemming model
20. 外国為替市場への介入 Forex intervention
21. 固定相場制の経済理論 Fixed exchange rate regime
22. 通貨危機 I Financial crises
23. 通貨危機 II Financial crises
24. 金融統合 Financial market integration
25. まとめ（国際金融） Summary

授業方法： 対面

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語（理解度確認セッション含） Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション（中間、期末試験により決定する予定。これらの一つでも受験した学生は成績評価の対象となります。）

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

はじめて学ぶ国際金融論 永易淳 他 有斐閣 2015

国際経済学をつかむ
国際経済学

石川城太 他
若杉隆平

有斐閣
岩波書店

2013
2018

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :
予習復習および宿題

10. その他/In addition :

- 1) 履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。
- 2) 初回の講義で講義内容や成績の決定方法について説明するので必ず出席すること。
- 2) 変更事項や講義ノートは ISTU を参考にしてください。
- 3) 経済学入門 B、ミクロ経済分析、マクロ経済分析の履修者を対象としています。

経営学原理特殊講義/Management (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 2講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN368J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経営学における理論構築のパースペクティブについてテキスト読解を通じて学ぶ。近年のブランディング論において展開された、対象者の生活コンテクストの間主観的な理解に根差した解釈主義的アプローチについて、客観的な法則定立をめざす実証主義的アプローチと比較しつつ、検討する。

This lecture will let you learn the perspectives how to construct any management theory through exploring academic text books. We would like to compare positivism approach for establishing objective laws with behaviorism approach for understanding inter-subjective motivations in relevant actors.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

経営学の理論構築における方法論的立場について理解を深める。またこの学習を通じて、自らが研究上、依拠する方法論的前提について自覚的になれるような研究センスを養う。

This class will provide you with profound insights into the methodology of constructing management theories and inspire the research senses through which you can acknowledge your own methodological assumptions.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

下記の指定テキストを各章ごとに批判的に読み進める。受講生は各章のトピックスについて課題提起のコメント・ペーパーを毎回作成し、提出する。発表者については随時、指名する。

- (1) ブランディングにおける実証主義的アプローチ
- (2) ブランディングにおける解釈主義的アプローチ
- (3) ブランディングの事例研究 (阪急、カゴメ、無印良品、エーザイ等)

基本的に教室開講 (対面授業) としますが、希望者がいればオンライン (zoom) も併用します。

Google Classroom を通じて資料配布等を行います。

大学院特論のクラスと合同になります。下記招待リンクをクリックして、クラス登録してください。

招待リンク: <https://classroom.google.com/c/NjYxNjc2NDEyZyYx?cjc=mrwknud>

This lecture include the following contents: what is the thinking methodology of management study, the comparison between description of variables-system and one of actions-system in research of business strategy and case studies as modeling the unintended effect of the chains of actions.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

ペーパー及び最終課題の提出状況や分析レベル、討議に対する貢献度などに応じて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

進化するブランド・オートポ イエーシスと中動態の世界	石井淳蔵	中央経済社	2022	9784502431418	教科書
マーケティング・リフレーミン グ	栗木契ほか編	有斐閣	2012		参考書
企業と市場と観察者	水越康介	有斐閣	2011		参考書
マーケティング思考の可能性	石井淳蔵	岩波書店	2012		参考書
ビジネス・インサイトー創造の 知とは何か	石井淳蔵	岩波新書	2009		参考書

8. 関連URL/URL:

参考事例) リクルート Works 連載シリーズ「成功の本質」(監修/野中郁次郎)

<https://www.works-i.com/works/series/seikou.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

テキストの各章につきコメント・ペーパーの作成を通じて予習してもらいたい。また討議で得た他の受講生からのフィードバ

ックを振り返ることで事後の復習に役立ててもらいたい。

10. その他/In addition :

本講義のテーマへの関心が多少ともあり、邦語文献読解の能力をある程度有し、また他者とのディスカッションを厭わないことが履修の前提条件である。学部研究生の聴講は認めない。

【連絡先】 <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~takaura/>

【オフィスアワー】 木曜 3 講時（経済学研究科棟 6 階 601）

経済史・経営史/Economic and Business History

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：後期 月曜日 3 講時 経済学部第 2 講義室 後期 木曜日 1 講時 経済学部第 2 講義室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM214J, 単位数/Credit(s)：4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

目的：今年度は、経済史を中心に学びます。世界経済の成り立ちや重要な仕組みについて、歴史を題材として学びます。可能なところでは、経済学の考え方を適用して、経済学的な社会の解釈の練習となることも目指します。それらに加えて、グローバル経営史の入門的内容についても学びます。

In this year the focus of the class is on economic history. The purpose of the class is to study the development of global economy and its mechanisms through historical cases. When it is possible, we try to apply economics ideas to the historical cases as exercises for interpreting them. In addition to these, the class also covers introductory content on global business history.

概要：外国経済史、世界経済史の、基本的な諸事実と、基本的な諸解釈の提示を行います。また、グローバル経営史の入門的内容についても提示します。

To explain basic facts and basic interpretations on foreign economic histories and world economic history. It also presents an introductory content of global business history.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

到達目標：外国経済史、世界経済史の、基本的な諸事実と、基本的な諸解釈を知る。それらを、現代の世界経済の成り立ちの理解に結びつけることができるようになる。また、経済史の知識を踏まえて、多国籍企業の歴史の入門的内容に入っていくことができる。

To understand basic facts and basic interpretations on foreign economic histories and world economic history. And, to be able to connect such historical facts and interpretations with the development of current global economy. Also, based on knowledge of economic history, you can enter into introductory content on the history of multinational corporations.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

この授業は、グーグル・クラスルームを使用します。

クラスコードは、u3lc6po です。

This class uses Google Classroom.

The class code is u3lc6po.

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

Registration in Google Classroom is not linked to 'Course Registration' in the Academic Affairs Information System, so you must do both.

以下の順番に沿って、解説を行います。講義の各回と各参考書の対応関係については、第 1 回の講義および、その後の講義でも適宜、明示します。

The lecturer explains the contents under the schedule as follows. The correspondence between each lecture and reference books will be specified in the first and subsequent lectures.

講義資料はグーグルクラスルームからダウンロードしていただけるようにします。詳細は、第 1 回の講義で説明します。

参考書は追加される可能性があります。追加の際は、講義中に速やかにお伝えします。

講義スケジュールは、カレンダーや、講義の進捗度によって変更される場合があります。そのような場合は、速やかにお伝えします。

Course materials will be made available from the Google Classroom. Details will be given in the first class. Reference books may be added. Any additions will be communicated promptly in the class and Google Classroom. The class schedule is subject to change according to the calendar and the progress of the class. In such cases, the lecturer will inform you as soon as possible.

1 イントロダクション

第 1 部 経済史基本編

2 経済問題とは何か (1)

3 経済問題とは何か (2)

4 市場経済以前 (1)

5 市場経済以前 (2)

6 市場経済の登場 (1)

- 7 市場経済の登場 (2)
- 8 産業革命 (1)
- 9 産業革命 (2)
- 10 第二次産業革命 (1)
- 11 第二次産業革命 (2)
- 12 大恐慌 (1)
- 13 大恐慌 (2)
- 14 高度成長 (1)
- 15 高度成長 (2)
- 16 低成長 (1)
- 17 低成長 (2)
- 18 グローバル化
- 19 情報化

第2部 経済史発展編

- 20 マルサスの罠 (1)
- 21 マルサスの罠 (2)
- 22 世界システムの形成 (1)
- 23 世界システムの形成 (2)
- 24 世界システムの形成 (3)

第3部 グローバル経営史入門編

- 25 多国籍企業に関する諸概念
- 26 多国籍企業とグローバル化
- 27 多国籍企業の参入形態
- 28 多国籍企業の経営

第4部 まとめ

- 29 理解度確認セッション
- 30 解説

シラバス作成 (2024 年 2 月) の後の私の知識の増加にともなって、授業内容と進度に多少の変更が生じる可能性があります。そういった際は、クラスルームと教務掲示板を通してすみやかに受講者にお知らせします。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

複数回のレポートの評価の合計によって成績を評価します。レポートの回数は、3 回から 5 回の予定です。詳細は、講義の進行に合わせて指示します。

Grading is based on the sum of the ratings of several reports. The number of reports will be three, four or five. Details will be given as the course progresses.

レポートに関して、『日本経済新聞』の

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経済社会の形成 原著第 12 版	ロバート・ハイルブローナー・ウィリアム・ミルバーク	丸善出版	2014 年	978-4621066218	参考書
一般経済史	河崎信樹・奥和義編	ミネルヴァ書房	2018 年	978-4623082162	参考書
ライブ・経済史入門	小田中直樹	勁草書房	2017 年	978-4326550784	参考書
10 万年の世界経済史 上	グレゴリー・クラーク	日経 BP 社	2009 年	978-4822247416	参考書
マンキュー マクロ経済学 I 入門編 第 5 版	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社	2024 年	978-4492315583	参考書
マンキュー マクロ経済学 II 応用編 第 5 版	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社	2024 年	978-4492315590	参考書
ビッグヒストリー われわれはどこから来て、どこへ行くのか	デイヴィッド・クリスチャンほか	明石書店	2016 年	978-4750344218	参考書
14 歳から知る食べ物と人類の 1 万年史	インフォビジュアル研究所	太田出版	2021 年	978-4778317386	参考書
世界史のなかの産業革命	ロバート・アレン	名古屋大学出版会	2017 年	978-4815808945	参考書
国際経営講義	ジェフリー・ジョーンズ	有斐閣	2007 年	978-4641162815	参考書

8. 関連URL/URL :

この授業は、グーグル・クラスルームを使用します。
クラスコードは、 u3lc6po です。

This class uses Google Classroom.
The class code is u3lc6po.

グーグル・クラスルームへの登録と学務情報システムへの「履修登録」は連動していませんので、必ずそれぞれを行うこと。

Registration in Google Classroom is not linked to 'Course Registration' in the A

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：各回の参考書の該当部分を事前に読む。
復習：講義資料と自分のノートの見直し。レポートの作成。

Preparation: read the relevant sections of the reference books for each session in advance.

Review: review of lecture material and own notes. Report writing.

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

履修の条件：レポートに関して、『日本経済新聞』の閲覧を前提にする場合があります。最低限、レポート作成時だけでもよいので、『日本経済新聞』を閲覧できること。大学の附属図書館で紙版を閲覧することもできます。

その他：ごく一部の学生に対してとなるとはありますが、念のため、不合格の成績の変更要求に応じることはないことを明記しておきます。単位取得のためには、必要な回数のレポートをそれぞれの期限までに必ず提出して下さい。

経営政策/Business Policy

担当教員/Instructor : 秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時. 後期 金曜日 3 講時 経済学部第3 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN313J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この授業は、経営戦略論の基礎的な理論を学習することを目的とします。授業の前半、中盤においては、テキストをもとに授業を進めます。ただし、授業の後半では、発展的なトピックを学習していきます。この講義を通じて、企業の経営戦略について理論的な解釈ができるようになったり、自ら経営戦略を理論に基づいて考えることができるようになることを期待します。

This course aims to help students understand the basic theories of strategic management. The content is based on the textbook. However, students will learn the advanced topics towards the end of this class.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

1. 経営戦略論の基礎的な理論を理解する。

Students will be able to understand the basic theories of strategic management.

2. 経営戦略論の基礎的な理論をもとに、事例を解釈することができる。

Students will be able to interpret business cases based on the basic theories of strategic management.

3. 経営戦略論の基礎的な理論をもとに、企業の戦略を検討ことができる。

Students will be able to formulate the business strategies based on the basic theories of strategic management.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

この授業は対面形式で実施をしていきますが、一部、リアルタイムもしくはオンデマンド方式での遠隔講義を実施する可能性があります。

The format of this class is face-to-face. However, some of the classes may be conducted in real-time or video streaming style.

第1回 イン트로ダクション

第2回 経営戦略とは何か?

第3回 企業の内部要因・外部要因

第4回 産業構造分析①

第5回 産業構造分析②

第6回 リソースベースドビュー① 理論的な基盤

第7回 リソースベースドビュー② 動態的な能力

第8回 事業戦略

第9回 差別化戦略

第10回 差別化戦略のケース及び小テスト(第1回-第9回)*解説も実施

第11回 コストリーダーシップ戦略① 規模の経済と範囲の経済

第12回 コストリーダーシップ戦略② 経験曲線効果

第13回 競争地位別戦略

第14回 製品ライフサイクル別戦略

第15回 経営戦略とイノベーション① イノベーションの基礎

第16回 経営戦略とイノベーション② イノベーションへの対応

第17回 多角化戦略

第18回 製品ポートフォリオマネジメント

第19回 垂直統合戦略

第20回 多角化戦略ケース及び小テスト(第10回-19回)*解説も実施

第21回 企業間の競争と協調

第22回 経営戦略と組織① 基礎

第23回 経営戦略と組織② 応用

第24回 経営戦略と情報技術

第25回 経営戦略とコーポレートガバナンス

第26回 経営戦略とものづくり

第27回 経営戦略と製品デザイン

第28回 経営戦略とグローバル化

第29回 小テスト(第20回-第28回)*解説も実施

第30回 講義のまとめ及び経営戦略に関する発展的なトピック

資料の配布や授業の連絡については、google class roomを用います。

This class uses Google Classroom to distribute materials for the class and communicate with the class.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method :

1. 講義内容へのコメント 30%
2. 小テスト 70%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

経営戦略入門	網倉久永・新宅純二郎	日本経済新聞社	2011	978-453213-403-7	教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- 予習・・・テキストもしくは事前に指示された内容を確認してください。
- 復習・・・小テストに備えて授業の内容を確認してください。

10. その他/In addition :

小テストやコメントについては授業内に google classroom を介して実施する予定ですので、講義には情報通信機器を持ってこれるように準備をしてください。

オフィスアワー、教員の連絡先は講義開始時に指示します。

This class offers detailed information on office hours and email addresses at the start of the class.

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

金融論特殊講義/Money and Banking(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 浅野 康司/KOJI ASANO

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第2 1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0371E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is designed to introduce students to theories of corporate finance, financial intermediation, and financial markets, with an emphasis on the impact of financial frictions on macroeconomic outcomes.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

Students will understand a theoretical treatment of major topics in corporate finance, financial intermediation, and financial markets.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This is an outline of the topics I will cover in the course.

- 1 Course introduction
- 2 Borrowing constraints and the net worth channel
- 3 Financial accelerator
- 4 Capital structure: Incentives and information
- 5 Financial contracting
- 6 Financial intermediation and the credit crunch
- 7 Corporate liquidity management, aggregate liquidity shortages, and liquidity premium
- 8 Consumer liquidity demand, maturity mismatch, and bank runs
- 9 The information view of debt and financial crises
- 10 Fire sales, deleveraging, and the asset market feedback
- 11 Endogenous margins and the leverage cycle
- 12 Bubbles
- 13 Monetary policy and aggregate demand channel
- 14 Liquidity traps
- 15 Course summary

Information on the course will be provided via Google Classroom: the class code is lvn5g73.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Take-home exam

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

The Theory of Corporate Finance	Tirole, J.	Princeton University Press	2006
Microeconomics of Banking	Freixas, X. and Rochet, J.-C.	The MIT Press	2008
Contract Theory	Bolton, P. and Dewatripont, M.	The MIT Press	2005

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are expected to read in advance the paper we are going to discuss in class.

10. その他/In addition :

Prerequisites: Intermediate Microeconomics and Intermediate Macroeconomics

環境経済学特殊講義/Environmental Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 3 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0375E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course applies standard microeconomic theory and concepts to understand the role of environmental policy. The students should have completed Calculus and microeconomics courses of advanced undergrad level before taking this class.

Google Classroom Class Code : nxxo5ut

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of the course, students should be able to understand the basic knowledge of environmental economics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

(Class 1) External cost (negative externality) and the market failure : Case of pollution

(Class 2) The optimal environmental policy in the case of pollution under the competitive market.

(Class 3) External benefit and the market failure : case of afforestation

(Class 4) The optimal environmental policy in the case of external benefit under the competitive market

(Class 5) The optimal environmental policy in the monopolistic market.

(Class 6-7) Incentive of adoption of environmental friendly technology (or investment) and environmental policy

(Class 8-9) Choice of environmental policy instruments under uncertainty: environmental tax or command and control

(Class 10-11) Emission trading scheme

(Class 12-13) Information provision and choice of quality by producers

(Class 14-15) Economic analysis of liability law toward the (environmental) accident: how do the injurers and the victims be responsible for the damage respectively? What is the optimal liability rule to induce them to choose the optimal accident avoidance behavior?

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Based on the final examination (70%) and quizzes (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

The students are expected to read materials distributed in the class beforehand.

10. その他/In addition :

(i) This course will be taught in English. The materials for the lectures are distributed in the class. The students must have basic knowledge of microeconomics. If they have not studied microeconomics, read the attached file to prepare for this course be

マーケティング・リサーチ特殊講義/Marketing Research(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 石垣 司/TSUKASA ISHIGAKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 3 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0379J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

【授業の目的】

高度なマーケティング・リサーチに必要なデータ分析法を理解し、プログラミングを用いた実践能力を習得する

【授業の概要】

マーケティング活動のために必要とされる消費者行動の理解、購買行動の予測、市場内でのポジショニングなどでは、各種データを用いた定量的な分析がもはや定石となっている。本特論では、マーケティング・リサーチで用いられる基本的なデータ分析手法の利用法と数理的性質を理解し、Rを用いたデータ分析を実践するための基礎力を身に付ける。具体的には、多変量解析、共分散構造分析、離散選択モデルなどを取り扱う予定である。

※なお、重回帰分析については中級計量経済学において詳しい講義が行われるため、本講義では取り扱わない。

In this course, students will understand some typical data analysis methods for marketing research and develop data analysis skills using programming language.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・マーケティング・リサーチにおけるデータ分析の利用法を理解する。
- ・マーケティング・リサーチで用いられる基本的な分析手法の数理的性質を理解する。
- ・各手法を用いたデータ分析を実践できる。

The purpose of this course is to help students explain some typical data analysis methods for marketing research, and understand mathematical property of it.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

対面授業で行う。

Google classroom のクラスコード
「wdmgw3k」

【授業の内容・方法】資料配布形式を中心とする。

【進度予定】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 マーケティングにおけるデータ活用
- 第3回 多変量解析・機械学習 1
- 第4回 多変量解析・機械学習 2
- 第5回 統計的モデリング 1
- 第6回 統計的モデリング 2
- 第7回 共分散構造分析 1
- 第8回 共分散構造分析 2
- 第9回 共分散構造分析 3
- 第10回 ブランド選択モデル 1
- 第11回 ブランド選択モデル 2
- 第12回 ブランド選択モデル 3
- 第13回 消費者異質性のモデリング 1
- 第14回 消費者異質性のモデリング 2
- 第15回 フォローアップ授業

This is a lecture-centered course.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

ガイダンス時に伝える。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

復習に注力してもらいたい

10. その他/In addition :

【履修の条件】 大学院レベルの微積分学と線形代数と統計学の知識

【連絡先】 `isgk@tohoku.ac.jp`

【オフィスアワー】 随時。ただし、上記アドレスへ連絡し予約を取ること

経営史特殊講義/Business History(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 結城 武延/TAKENOBU YUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 4 講時 経済学研究科 4 0 2 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN362J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経営史とは、企業がその時代に直面した経営上の問題をどのように解決したのか、また企業行動にどのような背景があり、それはいかなる成果に帰結したのかを解明する学問である。本講義では、現代日本の多くの産業でも重要な位置を占めている企業グループの原型であった財閥の形成・発展・解体過程について具体例を用いて議論する。

Business history is the study of how companies solved the business problems they faced in their time, the background to their actions, and the results they achieved. In this lecture, we will use specific examples to discuss the formation, development, and dismantling process of Zaibatsu, which were the prototype of corporate groups that also occupy an important position in many modern Japanese industries.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- (1) 歴史の中で企業の果たす意義と可能性を考える。
- (2) 経営環境や歴史的条件などの制約の中で、経営者の意思や主体的な選択が、歴史にどのような影響を与えたのかを学ぶ。
- (3) 企業の経営戦略や組織構造が決定される要因や因果関係について理解する。

To understand the formation process of the stock company system by focusing on management's will and independent choice.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

第1回 : イントロダクション/Introduction

第2-6回 : 財閥の形成/The formation of the Zaibatsu

第7-10回 : 財閥の発展/The development of the Zaibatsu

第11-14回 : 財閥の変容/The transformation of the Zaibatsu

第15回 : まとめと理解度確認セッション/Conclusion and final examination

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション : 60%、平常点 : 40%

Test 60%, Class performance 40%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財閥の時代(角川ソフィア文庫) 武田晴人

KADOKAWA

2020

978-4044005627

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 : 理解度を深めるためにも事前学習が望まれる。

復習 : 前回までの知識を前提として授業をすすめるため、復習は必須である。

10. その他/In addition :

使用言語 : 講義は日本語で行い、レポートは日本語か英語とする。

履修の条件 : 特になし

参考書 : 購入する必要はありません。レジュメを配布します。

連絡先 : takenobu.yuki.cl@tohoku.ac.jp

教員 HP : <https://sites.google.com/site/takenobuyuki1981/home>

BCP レベル1の場合は、「対面授業」を原則とする。

BCP レベル 2 以上の場合は、「オンライン授業」を原則とする。
参加者は Google クラスルームを必ず参加登録すること。

非営利組織論特殊講義/Non-profit Organization(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 西出 優子/YUKO NISHIDE

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 2 講時 第 2 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN367E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course aims at acquiring basic knowledge and concepts on nonprofit organizations and their management striving to solve various social problems and to create social values, and social capital. Topics relating to the role, significance and management of nonprofit organizations are examined through lectures, case studies, student presentations and discussions.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

On successful completion of the course, students may expect to

- understand the basic concepts, role and development of nonprofit organizations
- understand management and leadership of nonprofit organizations
- comprehend the state and challenges facing nonprofit organizations
- think through how to solve such problems and make recommendations

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

The following topics relating to nonprofit organizations (and relevant NGOs, social enterprises and social capital) are examined through lectures, student presentations and discussions:

- Theory, significance, international and regional comparison
- Historical development, state and challenges
- Management (mission, HRM, funding, accountability)
- Cross-sector partnership (Nonprofits, Business, Government, University)
- Advocacy, public policy, social impacts
- Social capital, diversity and inclusion, sustainability and resilience

(Some topics are subject to change depending on the interest of students at the first class.)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Presentations(Individual and/or group) : 2 to 3 times (TBA: subject to the number of the registered students) (50%)
Participation in discussions and minutes paper at each class(50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

How to get a copy of the textbook, journal articles and/or reading list is announced at the first class.

Reference: Crutchfield, L.R. and Grant, H.M. (2012) Forces for Good: The Six Practices of High-Impact Nonprofits, Jossey-Bass.
Nishide, Y. (2009) Social Capital and Civil Society in Japan, Tohoku University Press.
Osborne, S.P. (2013) Voluntary and Not-fo

Articles in related journals: Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Voluntas, and Nonprofit Management and Leadership.

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Students are expected to read textbook/article and prepare for effective understanding, presentations, discussions and minute paper at each class.

10. その他/In addition :

For details and update information, register the Google Classroom: Class code: gnrwjdu
The class materials and information are to be communicated through the Google Classroom.

Office Hour: by prior appointment through an email to the instructor.

E-m

地域企業論特殊講義/Regional Enterprises(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 福嶋 路/MICHI FUKUSHIMA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 6 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN366E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

The purpose of the course is for students to understand the features of Japanese businesses, especially focusing on SMEs and Regional Enterprises (REs) and their surroundings. In addition, related theories and concepts are introduced showing examples.

This lecture will be given face-to-face, Friday 18:00-19:30. 小講3 (Small Lecture room, 3)
Any changes will be communicated as soon as possible.

Materials used in the lecture will be provided by the instructor.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are required as follows; (1)to understand the situations of REs and SMEs in Japan, (2)to understand basic management theories and concepts, (3)to compare the SMEs and REs in Japan and those in their own countries, (4)to think how to apply what they have learned to their own countries' SMEs and REs cases.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

The topic of each class is as follows (Note that the schedule and contents are subject to change.)

1	4/12	Orientation
2	4/19	Enterprises and regions::How are regional factors and enterprises' activities related?
3	4/26	Time-honored companies and business transformation in Japan
4	5/10	Discussion
5	5/17	Family businesses
6	5/24	Discussion
7	5/31	Knowledge creation by REs: How do Japanese companies make innovation happen?
8	6/7	Resource creation by REs: How does exhausted countryside revive their economy?
9	6/14	Discussion
10	6/21	Entrepreneurship in Japan: Why is entrepreneurial spirit weak in Japan?
11	6/28	Discussion
12	7/5	Innovation by SEMs and startups
13	7/12	Ecosystem Formation in Japan
14	7/19	Discussion
15		Report submission

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Students will be evaluated based on: (1) assignments (40%), (2) class participation (20%), and (3) Final report (40%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Routledge Handbook of Japanese Business Management	of Parissa Haghirián and	Routledge	2016	978-0-415-73418-9	reference

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

The participants must read the assigned case and prepare for the discussion.

10. その他/In addition :

- The students taking this class must register in Google Classroom. GoogleClassroom code is as follows;

EM0420

Class code : shto2s

- The students taking this class must also register the Google form as follows before the first class.

<https://for>

アジア経済論特殊講義/Asian Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor：日置 史郎/SHIRO HIOKI

曜日・講時/Day/Period：前期 月曜日 2講時 経済学部第23演習室

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0384J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

いくつかの論点に焦点をあてて、現代中国の経済発展プロセスを概観する。

The Object of this class is to provide an overview of modern Chinese economy, focusing on several topics. Basic analytical tools related to the topics are also introduced.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

導入された分析ツールを参照にして、中国の経済発展プロセスがどのような点において特徴があるのかを理解する。

The goal of this course is to know what the development experiences of China are relatively well understood and vice versa when applying those basic analytical tools to China.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容：以下の諸問題に焦点をあてて考察する。①経済成長の軌跡、②経済発展の転換点、③外向型発展、④貧困と不平等、⑤人口、⑥学習、⑦制度。教科書と補助資料に基づいた講義形式。

1. Contents of the class: While explaining the related analytical tools, I will focus on the following topics of the modern Chinese economy. (1) Trajectory of economic growth, (2) Turning points of economic development, (3) Outward development, (4) Poverty and inequality, (5) Demographic factors, (6) Learning and economic development, (7) Political institutions. The lecture is based on the textbooks and supplementary materials.

進度予定

- (1) クラスオリエンテーション
- (2) 経済成長の軌跡Ⅰ 工業化
- (3) 経済成長の軌跡Ⅱ 農業の成長
- (4) 転換点 ルイス転換点と現代中国
- (5) 都市化 労働力移動と都市化
- (6) 外向型発展Ⅰ 外国直接投資と中国の経済発展
- (7) 外向型発展Ⅱ 雁行形態論と中国
- (8) 貧困と不平等Ⅰ 所得格差
- (9) 貧困と不平等Ⅱ 貧困削減
- (10) 人口Ⅰ 人口成長の経済成長への影響
- (11) 人口Ⅱ 人的資本の蓄積
- (12) 技術進歩とラーニング 国際人材移動の役割
- (13) 制度と経済発展Ⅰ 腐敗
- (14) 制度と経済発展Ⅱ 固有な政治制度が経済に与える影響
- (15) 理解度確認セッション

2. Course schedule

- (1) Class orientation、
- (2) Growth trajectory I : Industrialization
- (3) Growth trajectory II : Sources of agricultural growth
- (4) Turning point of economic development : Lewis growth model
- (5) Labor migration and urbanization
- (6) Outward development I : FDI and China's experience
- (7) Outward development II : Akamatsu's flying-geese theory and China
- (8) Poverty and inequality I : Disparities in China
- (9) Poverty and inequality II : Poverty alleviation in China
- (10) Demography: Population growth and its effects on China's economic growth
- (11) Demography: Education and human capital accumulation in China
- (12) Learning and technological progress
- (13) Corruption
- (14) Characteristics of political institutions and their impacts on Chinese economy
- (15) Final examination

授業内容と進度予定は若干変更される可能性がある。

The contents and the schedule of this class may be slightly changed.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席と理解度確認セッションの評価による。具体的評価方法は初回オリエンテーションで説明する。

Evaluation will be based on class attendance and final examination. I will explain the detail of evaluation method in the class orientation.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

開発経済学と現代中国	中兼和津次	名古屋大学出版会	2012	978-4-8158-0710-8	教科書
Development Economics	Alain De Janvry and Elisabeth Sadoulet	Routledge	2021	978-0-367-45647-4	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

初回オリエンテーションにおいて指示する。 I will explain the requirement for preparation and review in the class orientation.

10. その他/In addition :

上級ミクロ経済学特殊講義/Advanced Microeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 矢ヶ崎 将之/MASAYUKI YAGASAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時. 後期 火曜日 5 講時 経済学部第1演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0361J, 単位数/Credit(s) : 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義では、現代の経済分析における標準的なツールとなっているゲーム理論を、主に数理的厳密性と経済学への応用に重視をおきながら解説する。In this course, game theory, which has become a standard tool in modern economic analysis, will be explained, with emphasis on mathematical rigor and its application to economics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ゲーム理論の数理的な枠組みと経済学への応用を理解すること。To understand the mathematical framework of game theory and its application to economics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1-2 ゲーム理論のイントロダクション、意思決定理論

3-4 戦略形ゲーム

5-6 支配戦略、ナッシュ均衡

7-8 経済学への応用：複占モデル

9-10 経済学への応用：共有地の悲劇

11-12 混合戦略

13-14 展開形ゲーム

15-16 バックワード・インダクション

17-18 経済学への応用：交渉モデル

19-20 サブゲーム完全均衡

21-22 繰り返しゲーム

23-24 オークション

25-26 シグナリングゲーム

27-28 ゲーム理論のトピックス 1

29-30 ゲーム理論のトピックス 2

1-2 Introduction, Decision theory

3-4 Strategic form games

5-6 Dominant strategies, Nash equilibria

7-8 Duopoly model

9-10 Tragedy of commons

11-12 Mixed strategies

13-14 Extensive form games

15-16 Backward induction

17-18 Bargaining model

19-20 Subgame perfect equilibria

21-22 Repeated games

23-24 Auction

25-26 Signaling games

27-28 Topics on game theory 1

29-30 Topics on game theory 2

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点（小テスト、宿題、報告等）と定期テストの成績によって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

受講生は事前に予習する必要はないが、授業中の板書内容をよく復習すること。Students do not need to prepare in advance, but should review the notes carefully.

10. その他/In addition :

上級マクロ経済学特殊講義/Advanced Macroeconomics(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 鈴木 通雄/MICHIO SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3講時 経済学研究科401演習室. 後期 木曜日 2講時 経済学研究科401演習室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0363J, 単位数/Credit(s): 4

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義は、中級マクロ経済学に引き続き、大学院レベルのマクロ経済学を解説する。具体的には、家計消費、失業の各理論、そして家計間の所得・消費・資産格差の関係を議論できる不完備市場の一般均衡モデル (Bewley-Aiyagari-Huggett Model) を解説する。さらに、マクロ経済学のモデルを用いて、金融財政政策についても議論する。演習と宿題では、数値計算によるモデル分析を行ってもらう予定である。

This course is a continuation of Intermediate Macroeconomics and will cover graduate-level macroeconomics. Specifically, the course will explain the theories of household consumption and unemployment, and the general equilibrium model with incomplete markets (Bewley-Aiyagari-Huggett model) that can discuss the relationship between income, consumption, and asset inequality among households. Furthermore, the macroeconomic model will be used to discuss monetary and fiscal policy. For exercises and homework, students will be asked to analyze the model numerically.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- (1) 経済モデルを理解し、直感的な説明ができるようになる。
- (2) 基礎的な数値解析の手法を習得する。

Students are expected to

- (1) Understand economic models and be able to explain them intuitively
- (2) Acquire basic numerical analysis methods

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

以下の内容をカバーする予定である。

- (1) 動的計画法
- (2) 家計消費の理論 (完備市場モデル、恒常所得仮説、予備的貯蓄、流動性制約)
- (3) 不完備市場の一般均衡モデル (Bewley-Aiyagari-Huggett モデル)
- (4) 世代重複モデル (Huggett (1996) など)
- (5) 失業の理論 (効率性賃金、サーチ・マッチングモデル)
- (6) 企業の異質性を考慮したモデル
- (6) 最近の研究動向

講義と並行して、数値計算の実習を行う予定である。

This course will cover the following topics.

- (1) Dynamic programming
- (2) Consumption and savings
- (3) General equilibrium models with incomplete markets
- (4) Overlapping generations model
- (5) Unemployment
- (6) Heterogeneous firm models
- (7) Recent research developments

In parallel with the lectures, students will practice numerical methods.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッション (60%) と課題提出 (40%) により評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

Advanced Macroeconomics, 4th ed.	David Romer	McGraw-Hill Education	2011	978-0073511375	参考書
Recursive Macroeconomic Theory, 3rd ed.	Lars Ljungqvist, Thomas J. Sargent	The MIT Press	2012	978-0262018746	参考書
Recursive Methods in Economic	Nancy L. Stokey,	Harvard	1989	978-	参考書

8. 関連URL/URL :

Google classroom のコースページ参照 (Class code:lpfhiws)
See the course page in Google classroom. (Class code:lpfhiws)

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

宿題を課す予定である。

10. その他/In addition :

中級マクロ経済学を受講済みであることが望ましい。
講義は担当教官の講義スライドを使って行われるが、参考書は内容の理解に有用である。

中級計量経済学特殊講義 I /Intermediate Econometrics (Special Lectures) I

担当教員/Instructor : DAI RUNYU/DAI RUNYU

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 2 講時 第 3 小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0364E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

このコースは基礎計量経済学に焦点を当て、高度な計量経済学のコースへの準備となります。初回の数回の授業では、基礎計量経済モデルを学習するための基礎的な確率論と統計学を扱います。その後の授業では、断面データに重点を置きながら、基礎的な回帰モデルの推定と推論を含む内容が予定されています。簡単な R プログラムが使用および指導されます。This course focus on elementary econometrics and is the preparation of subsequent advanced econometrics courses. The first few classes will cover the elementary probability and statistics theory for studying elementary econometric models. The rest of classes will include estimation and inference of elementary regression models, with an emphasis on cross-sectional data. Simple R programs will be used and taught.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

受講生には、確率、統計、そして初歩的な断面回帰モデルに関して深い理解が求められます。このコースで学んだ知識をしっかりとマスターすることは、他の経済学科目の学習や、ある実証的な研究論文を読み解く際にも大いに役立ちます。The students are expected to have a deep understanding of probability, statistics and elementary cross-sectional regression models. Good command of knowledge covered in this course will also facilitate studying other economic courses and reading some empirical research.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

このコースの内容は、以下の 2 冊の教科書に基づいています :

1. Introductory Econometrics: A Modern Approach (7TH) by Wooldridge Jeffrey.
2. Probability & Statistics for Economists by Bruce E. Hansen.

コンテンツ :

1. 基礎確率論と確率変数
2. パラメトリック分布
3. サンプリングと推定
4. 仮説検定
5. 単純線形回帰モデル
6. 複数線形回帰モデル

The course contents are based on following 2 textbooks:

1. Introductory Econometrics: A Modern Approach (7TH) by Wooldridge Jeffrey.
2. Probability & Statistics for Economists by Bruce E. Hansen.

1. Basic Probability Theory and Random Variables.
2. Parametric Distributions.
3. Sampling and Estimation.
4. Hypothesis Testings.
5. Simple Linear Regression model.
6. Multiple Linear Regression model.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

課題 4~5 回分 (全体の 40%)、理解度確認セッション (全体の 60%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Introductory Econometrics: A Wooldridge Jeffrey
Modern Approach (7TH)
Probability & Statistics for Bruce E. Hansen
Economists

教科書

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

Google classroom code: 5v4rnrx

中級計量経済学特殊講義Ⅱ/Intermediate Econometrics (Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor : KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0365E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is a one-semester introduction to econometrics. The course will cover fundamental knowledge of linear regression in economic data analysis. Necessary probability and statistic concepts will be taught and reviewed. Empirical applications, rather than theoretical proofs, will be emphasized. Empirical examples will be demonstrated in class. The R program will be taught and used throughout the course.

Textbook

Wooldridge, J. M. (2020). Introductory econometrics: A modern approach, 7th ed., Cengage.
(E-Book available from the university library website)

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a deep understanding of modern econometric methods in economic data analysis. Also, the course is designed as a prerequisite for advanced econometrics courses. The students will be able to apply basic econometric tools in empirical research (cross-sectional data) after the course.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

1. Economic data structure (Wooldridge Chapter 1 and Appendix B & C)

Basic probability & statistics for econometrics

Conditional expectation (conditional mean)

Causality & Ceteris Paribus

2. Linear regression model estimation (Wooldridge Chapter 2 & 3)

Simple & multiple regression

Gauss-Markov Assumptions

Unbiasedness, Efficiency, BLUE

3. Multiple regression inference (Wooldridge Chapter 4)

Classical linear model (CLM) Assumptions

t and F tests

4. Large sample regression model (Wooldridge Chapter 5) and Consistency (Wooldridge Appendix C-3)

Asymptotic normality

Large sample inference

5. Multicollinearity (Wooldridge Chapter 3, 3-4a) and Heteroskedasticity (Wooldridge Chapter 8)

Robust standard error & inference

Diagnostic tests for Heteroskedasticity

Weighted Least Square (WLS) estimator

6. Endogeneity (Wooldridge Chapter 15)

Instrumental variable & 2SLS

Testing for endogeneity & overidentification

7. Miscellaneous topics (Wooldridge Chapter 6)

Beta Coefficients

Functional forms

Goodness-of-fit & selection of regressors

8 Regression with qualitative information (Wooldridge Chapter 7)

Dummy regressors

Linear probability model

9 Model specification, measurement error, and sample issues (Wooldridge Chapter 9)

Not all topics in each chapter will be covered. Please refer to the lecture notes distributed during the class.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (30%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (40%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Introductory Econometrics: A Wooldridge
modern approach 7e

Cengage Learning 2020

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: yl6gxi

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

政治経済学特殊講義/Political Economy (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 1 講時 経済学部第3演習室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0367E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to provide students with the basic theories of Marxian and other non-mainstream economics by using mathematical methods.

The course not only provides different explanation concerning the same phenomena (e.g. positiveness of prices) from the mainstream economics but also deals with the phenomena which are not explained in the orthodox textbooks.

Given the tendency that unequal distribution of income and wealth is growing all over the world, Marxian as well as other non-mainstream economics are recently revisited. Due to this course, it is expected that the different ways of thinking about capitalist economies from the mainstream are possible.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

This course has an ambitious goal of acquiring such knowledge and skills as follows:

- 1) basic properties of linear economic models
- 2) understanding of alternative ways in order to theorise capitalism by using the models
- 3) value, prices, and choice of technique, and the paradox of capital theory
- 4) economic growth based on a simple two-class economy

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

All information of this course will be announced through Google classroom. Thus, don't fail to register for Google classroom if you wish to take this course.

This course is divided into two parts, the first of which is charged by Prof. Mori and the second of which is by Prof. Kurose. The first part deals with the Classical-Marxian value and price; the contents are given as follows:

- 1) Input-Output Analysis
- 2) Labor theory of value
- 3) Price of production
- 4) Hawkins-Simon condition
- 5) Sraffian price theory
- 6) Perron-Frobenius theorem

On the basis of the first part, the second one deals with the choice of technique, income distribution, paradox of capital theory, and economic growth models, and argues the relevance of these models. The contents of the second part are given as follows:

- 1) Leontief production model with multiple alternative techniques
- 2) Capital paradox
- 3) Growth and distribution in a two-class economy

The lecture-notes and other material are uploaded to Google classroom, the code of which is given as follow:

dvcdnba

Announcement to those participants in IPLA and faculty exchange programs (EMEX) who are considering making course registration for Political Economy:

The course of Political Economy (PE) is designated as a regular part of the essential curriculum constituting the master degree's program of the Graduate School of Economics and Management. The course content is, therefore, designed based on the requirements which properly correspond to the graduates from B.A. program in economics. Considering diverse backgrounds of the exchange students applying for class registration for PE and after a deliberate consultation with Incoming Student Exchange Section (ISES), the instructors of PE decided to accept from IPLA and EMEX those applicants whose academic background they consider to be compatible with the course requirements up to the maximum number of five. If necessary, a screening will take place based on the requirement announced in the syllabus.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

English

6. 成績評価方法/Evaluation method:

The first part charged by Prof. Mori: Homework (70%)+Examination (30%)

The second part charged by Prof. Kurose: Homework (30%)+Examination. (70%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Radical Political Economy	Robin Hahnel	Routledge	2017	9781138050020
Equilibrium, Stability and Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1964	0198281455
Marx's Economics	Michio Morishima	Cambiridge University Press	1973	0521087473
Theory of Production	H. Kurz and N. Salvadori	Cambiridge University Press	1995	9780511625770
The Economics of Input-Output Analysis	Thijs ten Raa	Cambiridge University Press	2005	0521841798
Lectures on the Theory of Production	Luigi L. Pasinetti	Columbia University Press	1977	0231041004
Theory of Economic Growth	Michio Morishima	Clarendon Press	1969	0198281641
Capital Theory and Dynamics	Edwin Burmeister	Cambiridge University Press	1980	0521228891
Capital I～III	K, Marx	Foreign Languages Publishing House	1954-1959	
Production, Value and Income Distribution	Enrico Bellino	Routledge	2022	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Sufficient preparation and review are necessary.

10. その他/In addition :

Basic knowledge of linear algebra is prerequisite.

ツーリズムとインバウンドの経済学 I / Economics of Tourism and Inbound 1

担当教員/Instructor : 吉田 浩/HIROSHI YOSHIDA

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 3 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM228J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。2020年の東京五輪を踏まえ、政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でインバウンドにもとづく国際的な観光事業の展開が図られています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、広く学生を対象に観光産業への理解の促進を図る講義（座学）と演習（実習）をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係に就職を考えている人だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

”Inbound” refers to foreign tourists who is visiting Japan. In light of the 2020 Tokyo Olympics, the government (Japan Tourism Agency) and other local governments across the country are working to develop international tourism businesses based on inbound tourists.

・In order to develop human resources who can promote local tourism businesses in response to these social conditions, we have set up a set of lectures (in a classroom) and exercises (practical training) aimed at promoting understanding of the tourism industry for a wide range of students. We will provide the following education.

・Knowledge of inbound tourism is useful for business opportunities and regional development, not only for people considering employment in the tourism, transportation, and service industries, but also for those seeking employment in the finance, government, and manufacturing industries.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解して、観光を産業としてみる知見を習得します。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方インバウンドに役に立つアイディアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイディアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
- ・You can understand the contents of tourism economics and inbound tourism, and acquire the knowledge to view tourism as an industry.
- ・This year, we will expect young, fresh ideas unique to students to discuss and plan ideas that will be useful for inbound tourism in the Tohoku region.
- ・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and have them use them as hints for commercialization and policy planning.
- ・This is your chance to put your ideas and ideas into practice, so please be curious and enjoy the course.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

- 1 イントロダクション；インバウンドってなに？なぜ大事なの？
- 2 観光データの解説；観光の実態を経済統計でわかるには？
- 3 魅力的なツアーの作り方；自分だけの面白ツアーを作るには？
- 4 地域のプロモーション方法（1）
- 5 宮城県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 6 福島県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 7 山形県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 8 JR 東日本に学ぶ；鉄道産業から総合サービス産業へ
- 9 地域のプロモーション方法（2）
- 10-12 アイディア・ワーク（私の考える南東北ベストツアー企画はこれだ！）
- 13 企画予備プレゼン
- 14 プレゼン改善ワーク
- 15 前期最終プレゼン

- 1 Introduction; What is inbound? Why is it important?
- 2 Explanation of tourism data: How can we understand the actual state of tourism using economic statistics?
- 3 How to create an attractive tour; How to create your own interesting tour?
- 4 Regional professional promotion method (1)
- 5 What are the attractions of tourism in Miyagi Prefecture? Let an expert tell you.
- 6 What are the attractions of tourism in Fukushima Prefecture? Let an expert tell you.
- 7 What are the attractions of tourism in Yamagata Prefecture? Let an expert tell you.
- 8 Learn from the JR East; From the railway industry to the comprehensive service industry
- 9 Regional professional promotion method (2)
- 10-12 Idea Work (This is the best tour plan in Tohoku in my opinion!)
- 13 Preliminary planning presentation
- 14 Presentation improvement work
- 15 First term final presentation

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

インバウンド推進のためのオリジナルアイデアを企画化したり、授業中のワークに出席して最終レポートとして提出します。

教場筆記試験はありません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業中に指示。
必要な資料は配布。

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY1MzExMDQz?cjc=gaossfi>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

10. その他/In addition :

本講義で2単位を履修した後、2学期のツーリズムとインバウンドの経済学 II で別途2単位を取得できます。

本講義は、J R 東日本のご厚意で寄付講義としてで実施される予定です。

受講者が300人を超え、経済学部以外の同一学部から
5名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を
認めない場合があります。

戦略と組織特殊講義/Strategy and Organization(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 6 講時 第2小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN360J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本授業は、経営学の教員で担当する講義であり、それぞれの教員の研究分野に関する講義をオムニバス形式で提供する。今日、経営学の分野でどのような研究が行われているかを幅広く紹介するので、この講義を通じて受講者は、自らの研究の視野を広げてほしい。対象は修士学生であるが、学部生、博士課程、他分野の学生に対しても開かれている。

In this omnibus lecture series on strategy and organization, eight professors of different specialties deliver various themes. By introducing up-to-date academic development in each sub-field of business management, students would have a chance to broaden their perspectives when selecting and conducting their research projects. This course is designed initially for master course students, but we also welcome undergraduate students, students of the Ph.D. course, and other majors.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

経営学関連の研究について、広く知識を得ること。

レポート作成を通じて、それぞれの分野についての理解を深めつつ、研究論文の書き方を学ぶこと。

You should understand the wide range of concurrent research developments in a business management field by the end of this course. You are required to write and submit a report for eight different sub-themes, which would help to enhance your understanding and achievement.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業内容、日程については下記の通りであり、原則として対面講義で行う（一部オンライン講義も併用する）。

ただし変更の可能性もあるので、随時、授業内および Google Classroom(pdnj4ns) のアナウンスに注意を払うこと。

The contents and schedule of this class are as follows

It will be conducted through face-to-face lectures.

When there are any changes, we will announce you via the classroom.

Please pay close attention to the announcement in the Google classroom (class code: pdnj4ns) as well.

*その他、外部講師、講演会への参加を随時アナウンスをする。

10月7日	一小路	オリエンテーション
10月14日	秋池	イノベーションマネジメント
10月21日	秋池	イノベーションマネジメント
10月28日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11月11日	福嶋	地域企業・ベンチャー
11月18日	藤本	組織論
11月25日	藤本	組織論
12月2日	高浦	企業倫理入門
12月9日	高浦	CSR 入門
12月16日	一小路	マーケティング
12月23日	一小路	マーケティング
1月6日	西出	非営利組織入門
1月20日	西出	DEI・ウェルビーイング経営入門
1月27日	一小路	質疑応答

*授業日程については一部変更になる可能性がある。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語/英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

- ・各教員が課題を出し、成績評定をしたものを、単純平均し、得点とする。
- ・出席は必須。ただしどうしても出席できない場合は、その回の担当教員に事情を説明し、代替措置の有無について問い合わせをすること。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/u/1/c/NjYxNjc3NzY0MjAx>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- ・授業の資料は各担当教員から指示および提供され、事前課題が出されることがあるので、Google Classroom でのアナウンスの内容に従うこと。
- ・授業で紹介されたり、興味をもった分野の論文・書籍を読むこと。
- ・授業で課されたレポートや宿題は必ず提出すること。

10. その他/In addition :

- ・第一回目のオリエンテーションには必ず参加すること（やむを得ず欠席する場合には、窓口教員：一小路まで事前にメールで連絡すること）（takeyasu.ichikohji.c7@tohoku.ac.jp）。

ツーリズムとインバウンドの経済学Ⅱ/Economics of Tourism and Inbound 2

担当教員/Instructor: 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 4 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM229J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

- ・インバウンドとは、訪日外国人観光客のことです。政府（観光庁）をはじめ、全国の各自治体でインバウンドにもとづく国際的な観光事業の展開が図られています。
- ・このような社会情勢に対応して、地域の観光事業を推進できる人材を育成するため、広く学生を対象に観光産業への理解の促進を図る講義（座学）と演習（実習）をセットした教育を行います。
- ・観光、運輸、サービス関係に就職を考えている人だけでなく、金融、官公庁、製造業に就職する人も、インバウンドの知識はビジネスチャンスや地域振興に有用です。

"Inbound" refers to foreign tourists who is visiting Japan. In light of the 2020 Tokyo Olympics, the government (Japan Tourism Agency) and other local governments across the country are working to develop international tourism businesses based on inbound tourists.

In order to develop human resources who can promote local tourism businesses in response to these social conditions, we have set up a set of lectures (in a classroom) and exercises (practical training) aimed at promoting understanding of the tourism industry for a wide range of students. We will provide the following education.

- ・Kn

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・観光経済学、インバウンドの内容を理解して、観光を産業としてみる知見を習得します。
- ・本年度は、学生ならではの若くフレッシュな発想で、東北地方インバウンドに役に立つアイデアを話し合い、企画します。
- ・学期末に皆さんのユニークな企画を提案し、商品化や政策立案のヒントとして活用してもらう予定です。
- ・自分のアイデアや発想を形にするチャンスですので、好奇心を持って楽しんで受講してください。
- ・You can understand the contents of tourism economics and inbound tourism, and acquire the knowledge to view tourism as an industry.
- ・This year, we will expect young, fresh ideas unique to students to discuss and plan ideas that will be useful for inbound tourism in the Tohoku region.
- ・At the end of the semester, we plan to propose your unique projects and have them use them as hints for commercialization and policy planning.
- ・This is your chance to put your ideas and ideas into practice, so please be curious and enjoy the course.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- 1 イントロダクション；インバウンドってなに？なぜ大事なの？
- 2 観光マーケティング；データから顧客満足度をアップさせるには？
- 3 岩手県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 4 仙台空港にみるビジネス戦略；日本初の空港民営化のキーポイント
- 5 秋田県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 6 JR 東日本講義；観光産業人材に期待されること
- 7 青森県の観光の魅力は何か？専門家に教えてもらおう。
- 8 仙台市ビジネス表彰企画
- 9 仙台市ビジネス表彰企画ワーク
- 10 IT時代の観光プロモーション；観光PR動画作成の裏ワザ
- 11-12 アイディア・ワーク（私の考える北東北ベストツアー企画はこれだ！）
- 13 予備プレゼンとコメント
- 14 プレゼン改善ワーク
- 15 最終プレゼン

- 1 Introduction; What is inbound? Why is it important?
- 2 Tourism Marketing: How to improve customer satisfaction from data?
- 3 What are the attractions of tourism in Iwate Prefecture? Let an expert tell you.
- 4 Business strategy seen at Sendai Airport; key points of Japan's first airport privatization
- 5 What are the attractions of tourism in Akita Prefecture? Let an expert tell you.
- 6 The JR East Lecture: What is expected of tourism industry human resources
7. What are the attractions of tourism in Aomori Prefecture? Let an expert tell you.
- 8 Sendai City Business Award Project
- 9 Sendai City Business Award Planning Work
- 10 Tourism promotion in the IT era; Tips for creating tourism PR videos
- 11-12 Idea Work (This is the best tour plan in Tohoku in my opinion!)
- 13 Preliminary presentation and comments
- 14 Presentation improvement work
- 15 Final present

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

インバウンド推進のためのオリジナルアイデアを企画化したり、プレゼンワークに出席しレポートとして提出します。

教場筆記試験はありません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業中に指示。

必要な資料は配布。

8. 関連URL/URL :

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY1MDg1MTQ3?cjc=5gzygai>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

東北の観光情報の積極的収集を心がけてください。

10. その他/In addition :

1 学期のツーリズムとインバウンドの経済学 I とは別に、本講義で 2 単位を取得できます。

本講義は、J R 東日本のご厚意で寄付講義として実施されるものです。

受講者が 300 人を超え、経済学部以外の同一学部から

5 名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を

認めない場合があります。

イノベーション・マネジメント特殊講義/Innovation Management (Special Lectures)

担当教員/Instructor: 秋池 篤/ATSUSHI AKIIKE

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN361J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業では、イノベーション・マネジメント理論をテキストをもとに理解することを目的とします。授業は、履修者による報告をベースに学生間で議論を実施していくという形式で進めていきます。

The purpose of this class is to help students understand theories about innovation management from the textbook. It will consist of reports from students and discussions between students.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

1. イノベーション・マネジメントに関する理論を説明できる。

Students will be able to explain the theory of innovation management.

2. イノベーション・マネジメントの理論を具体的な事例に応用することができる。

Students will be able to apply the innovation management theory to the case.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

この授業は、履修者によるテキストの報告をベースに実施していきます。加えて、授業の終盤ではイノベーション理論に関連している事例を探索し、報告することで学習内容の定着を図ります。

In this class, students need to report on the textbook's content.

In addition, students must explore and report on case studies relevant to innovation theory at the end of the course.

学生は、テキストの内容について報告をしていきます。報告者は事前に準備をしてきてください。

In this class, students need to report on the textbook's content. The presenters must prepare resumes for the report in advance.

報告者以外の学生は、事前に各回で取り上げるテキストの内容をよみ、A4 1 ページ程度で内容のまとめとコメントを準備し、授業時に提出します。

Students other than the presenter need to read the textbook in advance to discuss it in each session, prepare a summary of its contents and comments (about one page), and submit them at the time of class.

授業は、テキストに関する報告実施後、内容に関してディスカッションをするという形式で実施します。

In classes, students report on the textbook and then discuss the content.

第1回 イントロダクション

第2回-第13回 テキストの内容の報告

第14回-第15回 事例の報告

*履修人数次第で計画が若干変化する可能性があります。

This plan may change slightly depending on the number of students.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

・テキストの内容のまとめ・コメント 60%

・テキストの報告・ 15%

・事例の報告・ 15%

・事例に関するレポート・ 10%

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

イノベーション

清水洋

有斐閣

2022

9784641166028

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習・・・テキストの該当部分について要約、コメントを考えてきてください。
復習・・・学習した理論をもとに、該当する事例を考えてみてください。

10. その他/In addition :

・オフィスアワー、教員の連絡先は講義開始時に指示します。

This class offers detailed information on office hours and email addresses at the start of the class.

経済史特殊講義/Economic History(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 小田中 直樹/NAOKI ODANAKA

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 3 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0370J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

しばしば「経済史」と呼ばれる社会経済史学の方法について考えます。とくに、経済理論との関係、歴史の見方などについて、集中的に考えたいと思います。

This course intends to analyze the methodology of socio-economic history, usually called "economic history," relation with economic theories and how to see the history in particular.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

次の3点です。

- ・社会経済史学とはいかなる学問領域かについて、一定の知識を得ること。
- ・社会経済史学と諸経済理論との関係について、一定の見通しを得ること。
- ・具体的な社会経済史に対するアプローチについて、一定の理解を得ること。

1. To get the knowledge over the characteristics of socio-economic history as a discipline.
2. To understand the relation between the socio-economic history and economic theories.
3. To have certain knowledge about the approach to the socio-economic historical facts.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- ・日本の社会経済史学は、ながらくマルクス派の経済理論と接点を持ちながら展開されてきました。その背景には、この経済理論が「時間」というモメントを重視し、それゆえ社会経済史学をはじめとする歴史学と親和的だったという事情があります。
- ・ただし、第2次世界大戦後における開発経済学や経済成長論の展開に伴い、いわゆる新古典派の経済理論もまた社会経済史学と接点を持つようになってきました。この授業では、そのような状況に対応し、新古典派経済理論との接点を意識して小田中が執筆したテキストブックを、教科書として用います。そのうえで、教科書の内容を分析することを通じて、先に挙げた到達目標を達成することを図ります。
- ・授業では、小田中による講義の回と、課題発表&コメントの回を、交互におこなう予定です。なお詳細は、初回の授業の際に説明します。

This course composes of the lecture and the discussion. The detail will be explained on the occasion of the first lecture.

1. イントロダクション
2. 狩猟採集経済
3. 課題発表&コメント
4. 農耕革命
5. 課題発表&コメント
6. ファミリービジネス
7. 課題発表&コメント
8. 資本主義
9. 課題発表&コメント
10. 小作制度と問屋制度
11. 課題発表&コメント
12. 産業革命
13. 課題発表&コメント
14. 企業
15. 課題発表&コメント

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業へのコミットメントにもとづいて評価します。

Evaluation will be done based on the commitment to the seminar.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :**9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**

講義内容を理解し、課題にとりくむことが、予習と復習を兼ねることになります。

Reading the textbook and tackling the homework.

10. その他/In addition :

- ・テキストは、必ず購入するか図書館などで借りて持参してください。コピーを持参したり教科書を持たずに出席したりした場合は、履修放棄とみなします。
- ・新古典派およびマルクス派の経済理論について初級程度、つまり必要最小限の知識を有していることが必要です。

Basic knowledge of neo-classical economics and of Marxian economics is necessary.

授業に参加を希望する学生は、授業の進め方を知るため、必ず事前に
odanaka@

国際経済特殊講義/International Economics (Special Lectures)

担当教員/Instructor : 永易 淳/JUN NAGAYASU

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 2 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0373E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

To understand better international economic issues, students will be presented with economic theories and methodological approaches often used in previous studies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

After taking this class, students are expected to understand relevant articles recently published in academic journals and are able to initiate their own research. .

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

This course will cover fundamental economic and statistical theories that are often used in academic research related to international economics and can be used when writing master's theses. This class is designed for master's students and advanced undergraduate students.

- 1) Introduction to economic theories
- 2) Purchasing power parity theorem
- 3) Interest parity conditions
- 4) Other topics
- 5) Introduction to statistical theories
- 6) Maximum likelihood
- 7) Unit root/cointegration
- 8) Vector autoregression model
- 9) Other topics

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Tests

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Exchange Rates and International Finance	Copeland, Laurence	Pearson	2014
Introduction to Econometrics	Koop, Gary	John Wiley & Sons	2008
Applied Econometric Time Series	Enders, Walter	John Wiley & Sons	2014
Time Series Analysis	Hamilton, James	Princeton Univ Press	1994
Econometric Analysis	Green, William H	Pearson Education	2011

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Home work + reading the textbooks and academic articles in order to understand better the lecture.

10. その他/In addition :

Prerequisite : basic micro & macroeconomic theory, math, statistics, English proficiency

Please take this class if you wish to write a thesis or conduct a project under my supervision.

損害保険概論/Introduction to General insurance (non-life insurance)

担当教員/Instructor : 生駒 新一/SHINICHI IKOMA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 4 講時 経済学部第1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0225J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この授業の目的は、損害保険全般について幅広く学ぶとともに、各種のリスクに注目したうえで、リスクに対する備えについて考える機会とする。

授業は、損害保険の仕組みなどの概要、損害保険商品の内容とその社会的・経済的な役割を学ぶとともに、損害保険業界を取りまく環境や展望などについても概観する。

The objective of the class is to provide students with the opportunities to gain extensive knowledge on general insurance and to contemplate on risk preparedness against a backdrop of emergence of various risks in the society. The class will also provide the students with the basic mechanism of how general insurance works, the content and socio-economic function of general insurance products as well as the current situation and the future prospects of the general insurance industry.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

損害保険全般の知識の習得と、将来、社会人として損害保険を効果的に活用できる知識の習得を目指す。

The goal of the study is to obtain general understanding of general insurance including the knowledge necessary to effectively utilize general insurance products in our social lives.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

この授業は、一般社団法人 日本損害保険協会 (<https://www.sonpo.or.jp/>) が提供する。

各回の授業は、日本損害保険協会の講師を中心に、実務に精通する(実務経験を有する)様々な損害保険関係者がオムニバス形式で専門テーマの講義を行なう。

The class is sponsored by the General Insurance Association of Japan (<https://www.sonpo.or.jp/en/>).

The class will be provided in an "omnibus format" where different lecturers, mainly from the General Insurance Association, with expertise in respective areas will deliver lectures on the given themes.

講義は、原則、対面授業とするが講義室の定員を超える登録があった場合は、対面とオンラインのローテーション方式あるいは全講義をオンライン方式とすることがある(オンライン授業はオンデマンド方式)。

なお、講義で使用する資料は、原則として ISTU に事前添付する。

1. ガイダンス
2. 保険の仕組み、役割
3. 保険に関する法律(保険業法・保険法)
4. 防災・減災(報道の視点を中心に)
5. すまいの保険(火災保険)
6. すまいの保険(地震保険)
7. くるまの保険(自賠責保険)
8. くるまの保険(自動車保険)
9. からだの保険(傷害保険・医療保険・海外旅行保険)
10. 企業分野の保険
11. 保険会社の業務
12. 損害調査業務
13. 代理店の業務
14. 損害保険会社の経営
15. 理解度確認セッション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義、理解度確認セッションともに日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション(筆記)を8割とする。

その他2割はいくつかの講義の際に授業の所感を確認するので、その提出回数・記載の内容を勘案して配点する。

確認方法は、オンライン授業は電子メール、対面授業は所定の用紙による提出とする。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

この科目は一般社団法人 日本損害保険協会により提供されています。

人材マネジメント論特殊講義/Human Resource Management(Special Lectures)

担当教員/Instructor: 藤本 雅彦/MASAHIKO FUJIMOTO

曜日・講時/Day/Period: 後期 月曜日 3 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN364J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業では、人的資源管理について、歴史的な形成過程から今日の仕組みや課題などを幅広く取り上げる。現代企業の人材マネジメントを理解するためには、歴史のおよびグローバルな視点から考察することが肝要である。そこで、この授業では様々な視点からの概念モデルや理論を通してとりわけ日本企業の人材マネジメントについて幅広く論じる。

In this course, I take up human resource management through various scope and approach, and especially Japanese human resource management.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

今日の人材マネジメントに関して、複眼的な視点から自分の言葉でその全体像を論じられるようになることが到達目標である。

The purpose of this course is to be able to speech whole of today's human resource management from several view point.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

授業形態は、対面で時間割通りにリアルタイムで行う。

授業の内容は、基本的な理論や概念モデルを図解したレジュメに基づいて講述を中心とする授業を行う。使用するレジュメは、以下の Google Classroom にアクセスして事前にダウンロードして準備すること。

クラスコード: d4qdpc5

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjc4MDIwOTA5?cjc=d4qdpc5>

主な授業内容のテーマは以下の通りである。

- ・ 人材マネジメントの変遷とフレームワーク
- ・ 今日の労働市場と人材ポートフォリオ
- ・ 日本企業における人材の採用と退職、配置と昇進、評価と処遇
- ・ 人材育成とキャリアマネジメント

This course will be held by face to face on real time.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語 (Japanese)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

講義内容を踏まえた論述式の理解度確認セッションによって評価 (100%) する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjc4MDIwOTA5?cjc=d4qdpc5>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

あらかじめダウンロードしたレジュメを見ながら当日の授業内容をイメージしておくこと。

10. その他/In addition:

レジュメを使用するので特定の教科書はないが、レジュメに参考文献が明記されているので復習の際にはそれらを活用すること。

西洋経済史特殊講義/Economic History of Western Europe(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時 経済学部第1 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0387E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

The aim of this class is twofold: to provide an overview of the socio-economic history of Britain, with a special focus on the early modern period (1530-1815), and to cultivate a critical understanding of the economic history of Western Europe and North America from comparative perspectives. By the time of the industrial revolution, Britain had become a significant commercial power in Europe and played a pivotal role in shaping the course of the global market economy. Therefore, studying early modern Britain reveals how the foundation of the modern global economy was established. Furthermore, it helps to uncover Europe's unique institutional context, in which latecomers like Japan were destined to prosper (albeit in their own unique ways) to keep pace with the leading Western economies. The comparative approach is a key method employed in this class, as it inevitably raises an important question: why are some capitalist market economies more robust and resilient than others in the long run? The answer to this question has profound implications for our understanding of our economy.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- Students are expected to understand how economic problems are closely linked with political and social issues and to familiarize themselves with Economic History as a context dependent field of study.
- Students are expected to come up with his/her own view as to how the early modern economy of the West shaped economies outside Western Europe and North America.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

Course Schedule

(Please note that this syllabus is subject to alternation in accordance with our research progress.)

- 1) Introduction
- 2) The Industrial Revolution: a critical view
- 3) The rural origin of the modern Japanese economy
- 4) The advanced organic economy of early modern Britain
- 5) Proto-industrialization in the East and the West
- 6) Urbanization: concepts and theories
- 7) The making of urban Britain
- 8) Commercializing Edo Japan
- 9) The development of civic corporation
- 10) -14) Presentations & Discussions
- 15) Conclusion

After attending the lecture, students are required to study the economic history of their own country and examine it from comparative perspectives. The results of their study should be presented in a manner that invites comments from other students

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Presentation:30%, Final essay:70%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Accounting for the great divergence	S. Broadberry	2015
The European miracle: Environments, economies and geopolitics in the history of Europe and Asia	E. Jones	2003
The Long Road to the Industrial Revolution. The European Economy in a Global Perspective, 1000-1800	J. L. van Zanden,	2009
The Industrious Revolution: Consumer Behavior and the Household Economy, 1650-to the Present	J. de Vries,	2008
The Agrarian Origins of	T.C. Smith,	1959

Modern Japan		
The Economic History of Japan: 1600-1990	Hayami, Saito, and Toby, eds.	2004
The Japanese Consumer: An Alternative Economic History of Modern Japan	P. Francks	2009
The Role of Tradition in Japan's Industrialization: Another Path to Industrialization	M. Tanimoto ed	2006
The Cambridge History of Japan, vol. 4	J.W. Hall	1991

8. 関連URL/URL :

日本語: <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeducat.html>
 English: <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/indexeng.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Some ideas discussed in one session may be relevant to the themes of subsequent sessions. Students are encouraged to review the relevant sections of the books and the articles on the reading list after class.

10. その他/In addition :

No undergraduate students, except for those in the Faculty of Economics, are allowed to join this class.

アセットマネジメント/Asset Management

担当教員/Instructor: 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0220J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

クラスコード 4jr2zao

この授業では、日本投資顧問業協会と投資信託協会の支援によって派遣される最前線の実務家講師陣を毎回ゲストスピーカーとしてお迎えし、オムニバス形式で講義を行います。アセットマネジメントないし資産運用が如何なる社会的機能・役割を果たし、如何なる社会的責任を負うべきか、「リスク」概念を中核とする基礎的理論がどのように実践に結びつくのか、等の実際の諸問題につき、実務家による解説を通じて学んでいきます。

A practical talk in asset management will be given from the guest speakers.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

アセットマネジメントないし資産運用の基礎的理論と実際についての知識を踏まえて、リスクマネジメントに纏わるビジネスの仕組みや実態について論理的に考察できる能力を養うこと。

Practical knowledge of asset management will be given.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

日本投資顧問業協会・投資信託協会の寄付により運営されている講義である。
昨年度の内容は以下の通りである。(本年度の内容は9月頃に決定予定)

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 アセット・マネジメントとは
- 第3回 株式、債券のリスクとリターン
- 第4回 アセット・アロケーションと分散投資
- 第5回 投資信託
- 第6回 不動産証券化と資産運用
- 第7回 株式市場の分析
- 第8回 ヘッジファンド
- 第9回 金融デリバティブ取引
- 第10回 PE (プライベート・エクイティ) 投資
- 第11回 エコノミスト・ストラテジストの業務
- 第12回 機関投資家とコーポレート・ガバナンス
- 第13回 自主規制とコード
- 第14回 アセット・マネジメント・ビジネスの最先端 (経営者が語る)

第1回に本講義の注意点について説明をします。

Lectures on various issues in financial practice.

コロナウィルスの拡散状況に応じて、オンライン講義になる可能性があります。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションに代えて Google Classroom を利用した課題の提出を検討しているが、状況に応じて変更の可能性あり。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

アセットマネジメントの世界	投資信託協会・日本投	東洋経済新報社	2010	978-	参考書
	資顧問業協会編			4492711774	

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

必要があれば初回の講義の際に指示致します。

10. その他/In addition :

特に履修の前提条件は定めませんが、新聞の経済記事など、日頃からマスメディアの情報に慣れ親しむことを求めます。

受講者が 300 人を超え、経済学部以外の同一学部から

5 名以上の履修者がいる場合、その学部生の履修を

認めない場合があります。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業／Practical business

地域財務金融行政論/Regional Fiscal and Financial Administration

担当教員/Instructor : 伊藤 智/SATOSHI ITO

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 4 講時 経済学部第1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0221J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom のクラスコード「 1c7k4hk 」

東北財務局による寄付講座です。財務省と金融庁の地方出先機関である東北財務局が担っている、財政・経済・金融等を取り巻く現状や課題等についての理解を深めることを目的とし、当局の幹部・担当官が政策現場での経験をもとに講義を行います。また、特に専門性の高いテーマは、本省庁や関係機関等をゲストスピーカーとして招聘します。

In this course, officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau will introduce the policy of the Ministry of Finance and Financial Services Agency and how they are carried out in the local region. Also officials from the Ministry of Finance and Financial Services Agency will provide their experience on how the public finance and financial policies are decided in the central government level.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

これまで大学の講義等で学んできた財政、経済、金融等に関する知識や見聞等に、本講義における現場での実践状況等の解説を加えることで、日本や東北地方が抱える諸課題やその解決策等について、自分事として主体的に考える機会となることが期待できるほか、より広い視野・視点に立って社会やビジネスへの興味・関心を高めることを目標とします。

This course is designed to help students deepen their knowledge and understanding of the role of public finance and financial policies, and enhance their interest in business and society as a whole.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

東北財務局の幹部・担当官のほか、財務省・金融庁や関係機関等で直接政策等に携わっている職員等を招聘し、各々の所掌業務等について解説することを基本とします。また、適宜、当局に勤務する東北大学OB・OGによる、就職活動等に関する経験談や社会人としての心構え等の紹介機会も設けます。

この講義は原則、対面授業で実施し、講義終了後に小テスト兼アンケートを提出していただきます。

講義に必要な資料や情報は、Google Classroom を使用して提供します。

(講義テーマ (予定))

- : 東北財務局業務の概要等 (組織概要・業務紹介、講義の概要・方法説明等)
- : 我が国の予算と財政
- : 予算執行調査、災害復旧制度
- : 東日本大震災からの復興の取組み (福島復興加速の取組み)
- : 我が国の税制
- : 地方財政、財政融資・地方債制度、財政融資資金の貸付等
- : 日本経済の現状
- : 東北地域の経済情勢等
- : 金融行政概論
- : 金融行政各論
- : 国有財産行政
- : 国際金融、国際情勢・援助
- : 地方創生の取組み
- : 我が国の会計制度

※上記の講義内容・順番を基本としつつ、機動的かつ柔軟に進めていきます。

This class will be held in an “omnibus” lecture series style.

Lectures will be provided by officials including executives from the Tohoku Local Finance Bureau, as well as officials from Ministry of Finance and Financial Services Agency etc..

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義並びに理解度確認セッション等、当講義に関するものは全て日本語とします。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

講義毎の小テスト兼アンケートと、理解度確認セッションの評価点を点数化しての合計 (4:6 の割合) とします。なお、いずれも、原則、選択式や短答式等を組み合わせて実施します。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

東北財務局HP→ <https://lfb.mof.go.jp/tohoku/>、財務省HP→ <https://www.mof.go.jp/>、
金融庁HP→ <https://www.fsa.go.jp/>、復興庁HP→ <https://www.reconstruction.go.jp/>、
国税庁HP→ <https://www.nta.go.jp/>、日本公認会計士協会HP→ <https://jicpa.or.jp/>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

特に予習は必要ありませんが、日頃から新聞報道等で政治や経済事象(特に財政・金融)等の時事ネタに関心を持つことで、この講座の理解をより深めることができます。

復習は講義の内容が社会にどのように関わっているか、自分なりに考察してください。

(※いずれも、東北財務局、財務省、金融庁のホームページ等で最近の動き(トピックス等)を確認することを推奨します。)

質問等は各講義終了後のアンケートで受付け、原則、次回以降の講義等で回答します。

10. その他/In addition :

この科目は東北財務局により提供されています。

第1回(4月11日)は、導入ガイダンスであり、授業計画や講義内容、注意事項等を詳しく説明するため、履修希望者は必ず出席してください。

5月2日は授業を実施しませんのでご注意ください。

連絡先 東北財務局総務部財務広報相談室

Tel 022-263-1111 (内線 3017)

E-mail THZKOUHOUKANOP@th.lfb-mof.go.jp

資本市場の役割と証券投資/Role of the Capital Markets and the Securities Investment

担当教員/Instructor : 石川 学/MANABU ISHIKAWA

曜日・講時/Day/Period : 後期 木曜日 4 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0322J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

現代の経済では、金融・資本市場の果たす役割は極めて大きく、経済活動を行う人々が金融・資本市場の果たす役割を十分に理解しておくことが重要となっている。金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につけることが本講義の目標である。本講義は野村證券株式会社の寄付講義です。

"In modern economy, the roles of financial and capital markets are remarkably important. It is important for agents conducting economic activities to acquire knowledge about those roles. The goals of this lecture are as follows:

- ・ To understand the financial literacy
- ・ To understand the trends of real financial and capital markets
- ・ To acquire practical skills regarding financial literacy

This lecture is donated by NOMURA SECURITIES CO., LTD."

2. 学修の到達目標/Goal of study :

金融リテラシーをはじめ、現実的な金融・資本市場の潮流を知り、新しい金融市場の課題や役割を体系的に学び、実践的な力を身につける。

Learn about real financial and capital market trends, including financial literacy, systematically learn the challenges and roles of new financial markets, and acquire practical skills.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

対面授業

- ①「金融リテラシーとは」
- ②「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」
- ③「金融機関が果たす役割と社会課題」
- ④「経済成長と金融・資本市場」
- ⑤「証券投資のリスク・リターンを考える」
- ⑥「投資信託について考える」
- ⑦「コーポレートガバナンスの潮流」
- ⑧「ベンチャーファイナンスの潮流」
- ⑨「M&A と投資銀行ビジネスの役割」
- ⑩「金融のデジタル化とフィンテック」
- ⑪「長寿化と投資／超高齢化時代の到来と金融サービス業」
- ⑫「ESG 投資とサステナブル・ファイナンス」
- ⑬「サステナブルな社会構築に向けた具体的な取り組みとインパクト」
- ⑭「グローバルマーケットと今後の成長テーマ」
- ⑮理解度確認セッション

face-to-face class

- (1) What is financial literacy
- (2) "The Globalizing World and the Role of Capital Markets"
- (3) "Roles of Financial Institutions and Social Issues"
- (4) "Economic Growth and Financial/Capital Markets"
- (5) "Think about the risk and return of securities investment"
- (6) "Think about investment trusts"
- (7) "Corporate Governance Trends"
- (8) "Trends in Venture Finance"
- (9) M&A and the role of the investment banking business
- (10) "Digitalization of Finance and Fintech"
- (11) "Longevity and Investment/Advent of the Super-Aging Era and the Financial Services Industry"
- (12) "ESG Investment and Sustainable Finance"
- (13) "Specific initiatives and impacts toward building a sustainable society"
- (14) "Global market and future growth themes"
- (15)Comprehension confirmation session

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義、理解度確認セッションは日本語で行います。

Lectures and comprehension check sessions will be conducted in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

出席 50 点、理解度確認セッション 50 点で成績評価します。

Grading will be based on 50 points for attendance and 50 points for the comprehension check session.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

金融資本市場・経済に関するトピックを取り上げる機会が多いので、日経新聞等の経済情報に目頃から目を通しておくことが望ましい。

Since there are many opportunities to take up topics related to the financial and capital markets and the economy, the Nikkei newspaper and other economic information sources
It is desirable

10. その他/In addition :

基本的には対面講義で行います。また資料はISTUに掲示します。

It is basically a face-to-face class. Materials will also be posted on ISTU.

連絡先

野村證券株式会社 仙台支店 法人課 桐澤 済

直通 : 022-225-4403

FAX : 022-223-2225

e-mail: wataru.kirisawa@nomura.com

マーケティング営業/Sales and Marketing

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHJI

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 2 講時 経済学部第1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN221J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義は、ブルデンシャル生命保険株式会社の寄附講義として設置され、営業のプロとして最前線で働く同社のトップセールスパークソンや役員、および他業界のトップセールスパークソンが講師となり、自らのセールス経験に基づいた実践的な講義を行う。

This course is offered as an endowed lecture by Prudential Life Insurance Co.

営業に必要なスキル、セールスプロセスといったノウハウだけではなく、営業職の醍醐味や心構え、「営業」という職種を通じて得られるリーダーシップ力や人間的成長といったソフト面についても体系的に講義する。

The company's top salespeople and others will give lectures not only on the sales process and required skills, but also on leadership skills and personal growth.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

本講義を通じ、営業に関する的確な知識やノウハウを知り、また営業職を経験することで、結果としてリーダーに必要な対人関係力や人間力などの素養を養えるということを理解する。

Students will understand that they will not only gain precise knowledge and know-how about sales, but also develop the relationship-building skills and resourcefulness necessary to be a leader.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

第1回 オリエンテーション

第2回 営業を科学する

第3回 セールスプロセス① : オープニングインタビュー

第4回 セールスプロセス② : ファクトファインディング

第5回 ワーク① : オープニングインタビュー、ファクトファインディングの実践

第6回 セールスプロセス③ : プレゼンテーション

第7回 セールスプロセス④ : クロージング

第8回 ワーク② : プレゼンテーション、クロージングの実践

第9回 アフターフォロー

第10回 営業のマネジメント① : セルフマネジメント

第11回 若手セールスパークソンによるパネルディスカッション

第12回 営業のマネジメント② : チームマネジメント

第13回 営業の醍醐味

第14回 振り返り・まとめ

第15回 理解度確認セッション

※授業日程については一部変更になる可能性がある。

This lecture will be given face-to-face.

授業に関する連絡等は Google Classroom を用いて行う。

授業のクラスコードは jipqpqf である。常に確認するようにしてほしい。

Google Classroom will be used for class-related communications.

The class code for the class is jipqpqf.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業への参加態度 (50%) および理解度確認セッション (50%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に営業への関心をもって社会の実例について調べる。

事後に講義で学んだことを基に、実践の可能性について検討する。

10. その他/In addition :

データサイエンス/Data Science

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 2 講時 経済学部第1 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM230J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

経済データを扱う際には、分散不均一性や内生性といった経済データ特有の性質を考慮に入れたデータ分析を行うことが重要である。この授業では、経済データの分析に用いられる統計手法を紹介し、それらの分析手法に必要な仮定や分析結果の解釈について解説する。また、統計分析ソフトを用いて、シミュレーションや実データ分析を行う。

Google classroom code: gzpyema

This course covers statistical methods for analyzing economic data.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

以下の三点を到達目標とする :

1. 代表的な経済データ分析手法を理解する。
2. それらの分析手法に必要な仮定を理解する。
3. 統計分析ソフト R を用いて、シミュレーションと実データ分析を行う。

The aim of this course is that students learn typical economic data analysis methods and apply these methods to real data analysis using R.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

この講義では、以下の内容を扱う。/ The contents are as follows.

1. 確率の基礎 / Probability theory
2. 統計の基礎 / Statistics
3. 単回帰分析 / Simple linear regression
4. 重回帰分析 / Multiple linear regression
5. ダミー変数 / Dummy variable
6. 操作変数法 / Instrumental variable method
7. パネルデータ分析 / Panel data analysis
8. 反実仮想分析/ Counterfactual framework

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 / Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

レポートと理解度確認セッションで評価する。具体的には第1回の講義で指示する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

計量経済学	西山慶彦、新谷元嗣、有斐閣	2019	4641053855	参考書
	川口大司、奥井亮			
経済経営のデータサイエンス	石垣司、植松良公、千共立出版	2022	4320125193	参考書
	木良弘朗、照井伸彦、松田安昌、李銀星			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業の予習と復習。

10. その他/In addition :

「統計学入門」と「経済経営数学入門 A・B」で扱うレベルの知識を前提とする。

ビジネスデータ科学/Business Data Science

担当教員/Instructor : 高橋 蔵人/KURANDO TAKAHASHI

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 4 講時 経済学部第 2 講義室 前期 木曜日 5 講時 経済学部第 2 講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN227J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google Classroom : 14veatk

生成 AI の発展によりますます AI 人材が必要とされています。企業がビジネスを推進するためには AI に精通したデータサイエンティストだけでは実現せず、ビジネスや社会課題と AI テクノロジーを共に理解し、データサイエンティストやエンジニアとビジネスを繋ぎ、適切な課題設定、解決策の提案・実行できる人材 (AI ビジネスコンサルタント) が求められています。しかし当該人材育成には課題が 2 つあります。1 つ目、AI 理解を深めようにも Python 等、プログラミングスキルが必要とされることが多く、プログラミングができない、もしくは苦手な学生が取り残されるということ。2 つ目に、「いま」、ビジネスや社会の分野でどのように AI 活用されているかについて、具体例を持って教えることが難しいため、理解を深めることができにくいということ。

「ビジネスデータ科学」は、2019 年上述の課題を解決するために開講され本年で 6 年目の講義です。当講義を受講することで、経済学部等文系学部生でも AI (機械学習) の本質の理解を深め、ビジネスや社会課題についてデータや AI (機械学習) を活用し、どのように解決するのかを捉えることができる人材 (AI ビジネスコンサルタント) に成長できます。講義では、AI 専門家でなくても数クリックのマウス操作で、学習済みモデルを構築できる自動機械学習ソフトウェア (「AnyData」) 等を活用します。プログラミング知識のない学生でも、モデル構築の一連の流れを簡単に「体験」することができ、AI に興味を持つ学生数を飛躍的に向上できると考えております。

本年度も AI をビジネスで活用している企業による事例紹介セッション等を設ける予定です。また、皆さんが得た知識をアウトプットするプレゼンテーション機会も提供します。具体的には、地元企業から課題提示を受け、データや AI を活用し、当該課題解決や新規ビジネス創出に、どのように AI を活用するかといった提案をしてもらう予定です。

<English>

Not only Japan, but worldwide, lack of number of Data Scientists is the serious issue. To solve the issue, we, aiforce solutions Inc., open the Business Data Science course in order to educate students to have AI reteracy.

"AnyData", an automated machine learning tool developed by AIinside inc, will be used in the course therefore no programing skill is required.

At the end of the course students will have to present to local companies to solve their issues using AI.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

学修の到達目標は、大きく 2 つです。

- ・複数の機械学習・深層学習アルゴリズムを利用して、自らデータの前処理、可視化、モデリングができるようになること (プログラミング知識不問。自動機械学習ソフトウェア (AnyData) を活用します)

- ・AI でできること (機能) を理解したうえで、データ・AI を活用した企業の課題解決や新規ビジネス創出の提案ができるようになること

<English>

- ・Students will be able to predict/classify itmes using maching learning and deep learning algorithms.

- ・Students will be able to present AI solutions to companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は基本的に講義・ワークショップ・ハンズオン形式で進めます。内容はビジネスの実業務で、AI コンサルタントやデータサイエンティストが身につけるべき基本的なスキル (以下) をベースに、適宜履修生の状況に合わせる予定です。

<English>

The course will be based on lectures , workshops and presentations. The contents may be changed according to students' understanding of the contents.

第 1 回

1. オリエンテーション・Q&A
2. オリエンテーション・Q&A

第 2 回

3. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解① : DX 概論
4. 【ビジネス構想力】デジタル時代ビジネスモデルの理解② : AI の機能理解

第 3 回

5. 【ビジネス推進力】ビジネス課題解決手法 : 問題解決手法 (コンサルティングメソドロジー)

6. 【データサイエンス】AI テクノロジー概論

第4回

- 7. 【データサイエンス】現状分析：データから課題を見出す
- 8. 【データサイエンス】現状分析：データから課題を見出す

第5回

- 9. 【ビジネス構想力】ビジネス環境の理解：地元企業を理解する
- 10. 【データサイエンス】AI（機械学習）のビジネス活用

第6回

- 11. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう①
- 12. 【データサイエンス】AI（機械学習）でAIモデルを作ってみよう②

第7回

- 13. グループワーク① - プレゼンテーション準備
- 14. グループワーク② - プレゼンテーション準備

第8回

- 15. 地元企業に対し、データやAIを活用したプレゼンテーション

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

提出物・小テスト・出席	30%
プレゼンテーション	40%
データ分析課題（学習済モデルの構築・ケース）	30%

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

シン・ニホン	安宅和人	NewsPicks パブリッシング	2020	9784910063041	参考図書
イシューからはじめよ	安宅和人	英治出版	2010	9784862760852	参考図書
仕事ではじめる機械学習	有賀 康顕	オライリージャパン	2018	4873118255	参考図書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

参考図書について一点。文章は難しく感じるかもしれません。「予習で自分で教科書を読んで理解しよう」とは考えないでください。授業で取り上げ、かみ砕いて説明した個所を、後で自分で見返してみる、という姿勢でいてください。

講義後半では、企業に対し、AI活用の提案をするため、時間外での企業調査やデータ分析が想定されます。

10. その他/In addition :

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor : 宇野 健司/KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 3 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google classroom クラスコード : xiowmb4

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」(通称「宇野ゼミ」)

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義(インプット)よりも、ディスカッション(アウトプット)形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例(ケース①~⑩)を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方(就職活動を含む)、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談(就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など)をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか?」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア形成の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition :

経済学部以外の学生も、歓迎します。

（週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。）

教員のメールアドレス：

k7c7u7y7j7@gmail.com

（何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい）

<参考>

（「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。

◎宇野先生が、経験から

キャリアワークショップ/Career Workshop

担当教員/Instructor : 宇野 健司/KENJI UNO

曜日・講時/Day/Period : 後期 木曜日 3 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN228J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Google classroom クラスコード : kamitf6

キャリアワークショップ「問題解決のための思考法」(通称「宇野ゼミ」)

実務経験豊富な社会人教員が担当するケース・スタディ形式の授業です。

個人のキャリア形成、企業の組織論、経営戦略論など、実践的なテーマを取り上げ、講義(インプット)よりも、ディスカッション(アウトプット)形式に重きをおいて授業を行います。

学生主導で多様な意見を出し合い、論点を立てて議論を行った上で、講師が関連する知見を提供し、学生の気づき、視野の広がり、理解の深まりを促し、自発的な学習への意欲を引き出すことを目指します。

具体的には、毎回異なる事例(ケース①~⑩)を題材に、学生がディスカッションを行い、その後、講師が総括します。

第1回および第2回の授業では、「オリエンテーション&模擬ディスカッション」を行い、集団での議論の進め方のポイント、コミュニケーション・スキルの身につけ方、主体的なディスカッションを行う上での意識の持ち方などについて、予備的な素養を共有します。

第6回および第10回の授業では、講師の体験談をもとにしたキャリア形成の仕方(就職活動を含む)、海外大学への留学、自己啓発、視野の広げ方など、卒業後にも役立つ視点について、Q&Aを含めたセッションを行う予定です。

< As for information about this class, we use "Classroom." We also utilize "ZOOM" as a tool of real-time online class session. If you have any question, please contact the following e-mail address. kenji.uno@dir.co.jp >

Known as "Uno seminar." This class offers a case method type of lessons by a business professional.

Covering practical themes such as personal career formation, corporate organization theory, and business strategy, this class will utilize discussion rather than lecture.

Students are required to lead discussions actively, and the lecturer provides relevant knowledge, broadens perspective, deepens understanding, and motivates positive behavior.

A maximum of 30 students participate discussions (Case1 to 10) each time, and the lecturer summarizes later in each class.

In the 1st and 2nd classes, we will have "Orientation and introductory discussion." In the 6th and 10th classes, sessions about how to form your career will be held.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談(就職活動、海外大学院留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など)をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか?」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身に付けること
- (2) 自分のキャリアについて考えること
- (3) 多様なクラスメイトや社会人講師から刺激を受け、共に意識を高め合い、将来に向けて自発的に行動できるようになること

Course Goals

Through discussion, "Express opinion confidently" "Respect other people's opinion and listen in good faith" "Exchange problem-oriented ideas rather than critiques" and "Foster communication appropriately." Those skills are necessary even after graduation.

Also, based on the experiences of the lecturer (job hunting, studying abroad in overseas graduate schools,

acquiring specialized skills, business practices and working methods, etc.), students learn “how to build up future career.”

The goals of the class are summarized as follows:

- (1) Acquire discussion skills
- (2) Think about your career
- (3) Motivate each other and act voluntarily for the future

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- 第1回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (1)
- 第2回 オリエンテーション&模擬ディスカッション (2)
- 第3回 ケース① (導入事例①)
- 第4回 ケース② (導入事例②)
- 第5回 ケース③ (導入事例③)
- 第6回 人生設計の話
- 第7回 ケース④ (個人のキャリア形成①)
- 第8回 ケース⑤ (個人のキャリア形成②)
- 第9回 ケース⑥ (個人のキャリア形成③)
- 第10回 将来のキャリア設計の話
- 第11回 ケース⑦ (企業の組織論①)
- 第12回 ケース⑧ (企業の組織論②)
- 第13回 ケース⑨ (企業の経営戦略論①)
- 第14回 ケース⑩ (企業の経営戦略論②)
- 第15回 まとめ

- 1st Orientation & introductory discussion (1)
- 2nd Introductory discussion (2)
- 3rd Case 1 (Introduction Case 1)
- 4th Case 2 (Introduction Case 2)
- 5th Case 3 (Introduction Case 3)
- 6th Talk of career management (1)
- 7th Case 4 (Personal Career Formation 1)
- 8th Case 5 (Personal Career Formation 2)
- 9th Case 6 (Personal Career Formation 3)
- 10th Talk of career management (2)
- 11th Case 7 (Corporate Organization 1)
- 12th Case 8 (Corporate Organization 2)
- 13th Case 9 (Corporate Management Theory 1)
- 14th Case 10 (Corporate Management Theory 2)
- 15th Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業出席・参加度 100%。レポート、テストは実施しません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

授業内で指示します。

8. 関連URL/URL :

<https://www.sentankyo.jp/articles/123f8570-5cfc-427f-8fad-de507f012883>

<https://todai-umeet.com/article/56143>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業内で指示します。

10. その他/In addition :

経済学部以外の学生も、歓迎します。

（週1回の授業なので、他学部からも履修しやすいと思います。必要なら個別に相談に応じますので、下記のメールアドレスに気軽に連絡して来て下さい。）

教員のメールアドレス：

k7c7u7y7j7@gmail.com

（何か質問があれば、誰でも気軽に連絡して来て下さい）

<参考>

（「宇野ゼミ」は東大、北大、上智大でも受講生アンケートでも最上位に例年ランクされ、各大学で表彰を受けています。学生からのコメントは下記の通りです。

◎宇野先生が、経験から

ファミリー・エコノミクス/Family Economics

担当教員/Instructor: 陳 鳳明/FENGMING CHEN

曜日・講時/Day/Period: 後期 火曜日 3 講時 経済学部第8演習室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0223J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

世界中で出生率の低下が進行している中、子育て支援の関連政策はますます重視されている。本講義は世の中で実施されている複数の子育て支援政策に注目し、経済学見地からこれらの政策を評価する方法について学ぶ。

As birth rates continue to decline worldwide, more and more emphasis is being placed on policies related to childcare support. In this lecture, we will focus on several child-rearing support policies implemented worldwide and learn how to evaluate these policies from an economic perspective.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の2点を目標とする。

- (1) 実証研究の中で頻繁に使われている政策評価方法を修得する。
- (2) レポート作成を通じて、学術論文の書き方を修得する。

- (1) Master the policy evaluation methods frequently used in empirical research.
- (2) Learn how to write academic papers through report writing.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

1. ガイダンス
2. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）I
3. 経済学の実証分析（因果推論の基礎）II
4. 少子化の現状
5. 現金給付
6. 保育支援
7. ジェンダー
8. 育休政策
9. 幼児教育
10. 保育園通いの効果
11. 育休制度の就業支援効果
12. 育休の逆効果
13. 保育改革と母親の就業
14. 日本の保育制度
15. まとめ

1. Guidance
2. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) I
3. Empirical analysis of economics (fundamentals of causal inference) II
4. Current status of declining birthrate
5. Cash transfers
6. Childcare support
7. Gender
8. Maternity leave policy
9. Early childhood education
10. Effects of attending preschool
11. Effects of maternity leave on employment support
12. Reverse effects of maternity leave
13. Childcare reform and maternal employment
14. Japan's childcare system
15. Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

各回の出席状況と期末レポート

Class participation and submission of the final report.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL :

授業に関する連絡や資料配布は Google Classroom を用いて行う。Classroom のクラスコードは【ajvvznl】である。

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**10. その他/In addition :**

経済経営数学 II/Mathematics for Economics and Business Management II

担当教員/Instructor: 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 1 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM231J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の前半では、経済経営数学入門 A・B で学んだ知識を前提に、中級以上の経済学・経営学理論を理解するうえで重要な静学的な最適化問題を講義する。本講義の後半では、微分方程式の解法を学ぶとともに、経済を長期的に分析する動学的な最適化問題について講義する。コロナ禍において、経済学者が行った緊急事態宣言の実施や期間が経済 (GDP) に与えるシミュレーション分析が、報道等を通して大きな注目を集めたが、それも動学的最適化問題をベースにしたモデルである。動学モデルは、様々な政策変更による人々の行動変容を考慮したうえで、長期の経済を予測するために有用な経済モデルである。

In the first half of this course, based on the knowledge acquired in Introduction to Mathematics of Economics and Management A and B, static optimization problems will be taught, which are important for understanding economics and management theory at the intermediate level and above. In the second half of the course, students will learn how to solve differential equations and learn dynamic optimization problems that analyze the economy in the long run. For example, during the COVID-19 pandemic, the economists' simulation analysis of the impact of the declaration of a state of emergency and its duration on the economy (GDP) received considerable press attention. The dynamic optimization problem is an economic model that predicts the economy over a long period of time by taking into account changes in people's behavior due to policy changes.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

本講義の学修の到達目標は下記の通りである。

- (1) 微分方程式を初めとする大学数学に関する知識を修得すること。
- (2) 静学・動学の最適化問題を解けるようになること。

The goals of study of this class are:

- (1) To acquire knowledge of differential equations and other college-level mathematics.
- (2) To be able to solve static and dynamic optimization problems.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

進度予定は以下の通りである。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 数学準備1 (指数関数・対数関数)
- 第3回 数学準備2 (関数と微分・偏微分)
- 第4回 数学準備3 (行列の基礎)
- 第5回 静学的最適化問題1 (等号制約条件)
- 第6回 静学的最適化問題2 (不等号制約条件)
- 第7回 ここまでのまとめ
- 第8回 微分方程式の基礎
- 第9回 位相図
- 第10回 数学準備4 (積分法)
- 第11回 数学準備5 (固有値問題と行列の対角化)
- 第12回 微分方程式の応用
- 第13回 非線形関数の線形近似
- 第14回 動学的最適化問題
- 第15回 まとめ

The schedule of this course is as follows:

- #01 Guidance
- #02 Mathematics review 1 (Exponent and logarithm functions)
- #03 Mathematics review 2 (Functions and differentiation)
- #04 Mathematics review 3 (Matrix)
- #05 Static optimization 1 (Equality constraints)
- #06 Static optimization 2 (Inequality constraints)
- #07 Summary
- #08 Basic differential equation
- #09 Phase diagram
- #10 Mathematics review 4 (Integration)
- #11 Mathematics review 5 (Eigenvalue computation)
- #12 Applied differential equation
- #13 Linear approximation
- #14 Dynamic optimization
- #15 Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語
Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (100%)

Examinations (100%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

基礎から学ぶ動学マクロ経済 学に必要な数学	中田真佐男	日本評論社	2011	9784535556775	教科書
Essential Mathematics for Economic Analysis	Sydsæter K. et al.	Pearson	2022	978- 1292359281	参考書
Further Mathematics for Economic Analysis	Sydsæter K. et al.	Prentice Hall	2008	978- 0273713289	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Google Classroom (クラスコードは"abfkdx") にアップロードされた講義資料の内容を事前に確認しておくこと。また、講義後はその内容の復習を行うこと。

Students need to download and check the lecture notes in advance and also review the topics after the class.
The code of Google Classroom for this lecture is "abfkdx"

10. その他/In addition :

いずれも必須ではないが、「経済経営数学入門 A」と「経済経営数学入門 B」を履修していることが望ましい。さらに「経済学入門 B」や「統計学入門」を履修していればなお良い。
数学に関心のある学生、経済予測に関心のある学生、そして留学や大学院進学を考えている学生などには特にお勧めです。

It is desirable that students have taken "Introduction to Mathematics for Economics and Management A", "Introduc

Social Research Methods/Social Research Methods

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN/NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 3 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM327E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course aims to provide the understanding of social research methods. It focuses on developing students' skills to conduct their social research.

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a2yu6y7

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course, students are expected to

- Understand when and which specific research method should be used.
- Grasp the concepts and implementation guidelines in qualitative, quantitative and mixed methods
- Know how to draw a roadmap for conducting the social research from ideas to research design, planning and implementation

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

In this course, while the lecturer gives lessons, students have to discuss in groups and present their ideas to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Social Research Process & Strategies
2. Research Design
3. Planning a Research Project
4. Reviewing the Literature
5. Quantitative Research 1: Process & Sampling
6. Quantitative Research 2: Asking questions
7. Quantitative Research 3: Structure Observation & Content Analysis
8. Quantitative Research 4: Quantitative Data Analysis
9. Qualitative Research 1: Process & Sampling
10. Qualitative Research 2: Interviewing
11. Qualitative Research 3: Language and Document Analysis
12. Qualitative Research 4: Qualitative Data Analysis
13. The Quantitative/Qualitative Divide & Mixed Methods
14. Writing up Social Research
15. Final Report Submission

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Evaluation is based on student's attendance, discussion participation, weekly assignments, and a final report. No written examinations. The details will be announced at the first class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Social Research Methods	Bryman, A.	Oxford	2012	9780199588053	Textbook
		University Press			

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Lecture slides are available on the Google Classroom. Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

10. その他/In addition :

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: a2yu6y7

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

- Registration should be done before the deadlin

生命保険経営概論/Introduction to Life Insurance business management

担当教員/Instructor: 河島 鉄郎・高浦 康有/YASUNARI TAKAURA

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 5 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM213J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

Google Classroom: classroom コードは「i3afw3o」

この授業の目的は、以下の3点。

1. 各種基礎知識（金融工学、経営学、財務管理会計）が会社運営の実務にどう活用されているかを学習。
2. 商品開発、リスク管理など生命保険分野の業務全般に関わる実践的知識と事業環境の動向に関わる知識習得。
3. 今後、学生が体験する企業インターンシップや就職活動の事前準備としての各種情報提供および意見交換。

Following 3 points are the objectives of this lecture.

1. Learn how each basic knowledge (Financial Engineering, Business Economics, Financial Management Economics) is used in business operation.
2. Acquire working knowledge in all aspects of life insurance business such as product development, risk management and current business environment trend.
3. Dialogue and various information sharing for preparing company's internship program and job-hunting.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

この授業の到達目的は、以下の3点。

1. 会社運営の実務に必要とされる各種基礎知識について数値を用いた演習及びその理解。
2. 業務全般に関して授業を通じて得た知識を用い、自らの考え方をロジカルに構成できること。
3. 卒業後の人生設計において、一定の指針を身に付けられること。

Following 3 points are the goal of study.

1. Practice using the value of basic knowledge needed in actual business operation, and understand them.
2. Enable to construct your own logical thinking in all aspects of business using the knowledge achieved in this course.
3. Establish a guiding principle for making a life plan after graduation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

講義の流れ: 1つの講義は4つのパーツで構成。

- A) 各種基礎知識（例: 統計学）から実務で活用されているアイテムを復習/学習。
- B) それらが実務（例: 商品開発）においてどう活用されているか紹介。
- C) 事例に対し、皆さまの視点から批評（肯定的/否定的等）を実施し、自らがその実務の立場に立った場合どうするか考察。
- D) 社員の立場からの各種情報提供/意見交換（例: 会社生活/就職活動等）。

授業スケジュール。

1. ガイダンス
2. 確率・統計 1/2
3. 確率・統計 2/2
4. 金融 1/2
5. 金融 2/2
6. 財務会計 1/2
7. 財務会計 2/2
8. 管理会計
9. 経済 1/2
10. 経済 2/2
11. マーケティング 1/2
12. マーケティング 2/2
- 13-15. サマリ

Each lecture is constructed in four parts.

- A) Learn/ review useful cases from each basic knowledge (ex. Statistics).
- B) Introduce how these topics are practically used in life insurance business (ex. Product development).
- C) Consider how you would react actually when you are responsible for this business, making a comment (positive/negative, etc.) from each point of view.
- D) Dialogue/ various information sharing from AXA Life employees (ex: Business career/Job-hunting, etc.)

Progress schedule of the class.

1. Guidance
2. Probability and Statistics 1/2
3. Probability and Statistics 2/2
4. Finance 1/2
5. Finance 2/2

6. Financial Accounting 1/2
7. Financial Accounting 2/2
8. Managment Accounting
9. Economics 1/2
10. Economics 2/2
11. Marketing 1/2
12. Marketing 2/2
- 13-15. Summary

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

授業及びレポート共に日本語とする。

Lecture and report both in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

以下3点から総合的に判断（最終理解度確認セッションは実施しない）

1. 出席状況
2. 各授業後に出されるレポート
3. 全体を通した最終レポート

Comprehensively evaluated by following 3 points (No test nor session for final comprehension);

1. Attendance record
2. Each report submitted after the lecture
3. Final report

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

毎授業後に期限を設けて、課題を設定する予定。

An assignment will be set with deadline after each lecture.

10. その他/In addition :

5/30（木）は海外出張のため休講を予定いたしております。

Introduction to Management/Introduction to Management

担当教員/Instructor : NGUYEN KIM NGAN/NGUYEN KIM NGAN

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 4 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM330E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

Management is essential for business success in all types and sizes of organizations, organizational levels, and work areas. Once students graduate from universities and begin their careers, they will either manage or be managed. In any case, understanding management is significant.

This course introduces effective management theories and focuses on developing students' skills to work in a global workplace or become start-up leaders.

****Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: qppp5ss

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course, students are expected to

- Understand the basics of managing in today's workplace, including external environmental factors, organization's culture, global environment; managing diversity, social responsibility, change, and disruptive innovation

- Understand the four basic functions of management (planning, organizing, leading, controlling) and factors influencing the decision making

- Develop the five key skills that employers are looking for: critical thinking, communication, collaboration, knowledge application, and social responsibility

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

In this course, while the lecturer explains the fundamental theories, students have to discuss problem-solving through cases to deepen their understanding and improve skills. The tentative schedule is as follows.

1. Introduction
2. Influence of the External Environment and the Organization's culture
3. Managing in Global Environment and Diversity
4. Managing Social Responsibility and Ethics
5. Managing Change and Disruptive Innovation
6. Planning: Foundations of Planning & Management strategy
7. Planning: Entrepreneurial Ventures & Mid-term wrap-up (group presentations)
8. Organizing: Designing Organizational Structure
9. Organizing: Managing Human Resources
10. Organizing: Managing Groups and Teams
11. Leading: Managing Communication
12. Leading: Understanding and Managing Individual Behavior
13. Leading: Motivating employees
14. Leading: Being an Effective Leader
15. Controlling: Monitoring and Controlling & Final-term wrap-up (group presentations)

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Attendance & Participation 50%; Group presentations 30%; Individual assignment 20%. No written examinations

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Management	Stephen P.Robbins & Mary Coulter	Pearson	2021	9781292340883	Textbook

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Lecture slides are available on the Google Classroom (Class code: qppp5ss). Students are advised to download and check the lecture slides in advance and review them after classes.

10. その他/In addition :

***Please join the google classroom to update all important information about the course. Class code: qppp5ss

How to describe the class environment? friendly and interactive

What to pay attention to:

- Registration should be done before the deadline

Spatial Economics/Spatial Economics

担当教員/Instructor : 曾 道智/DAO-ZHI ZENG

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM333E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

空間経済学は、伝統的な経済学に空間的要素を取り入れ、国際貿易や産業の集積などを解明する。この授業は近年著しい発展を見せた貿易理論と地域科学に関する知見を重点的に紹介する。具体的には、国際経済学の新貿易理論、地域経済学の代表的な一般均衡モデルを紹介し、それらの応用例を講述する予定である。これらの内容を理解するには、ミクロ経済学の基礎知識が必要である。

Spatial economics clarifies regional industrial agglomeration and international trade by incorporating spatial factors into traditional economics. This lecture mainly focuses on trade theory and regional science, which exhibit a remarkable development in recent years. Specifically, we study representative general-equilibrium models in international economics and regional economics, and then show their applications. To understand this course, you are expected to have some basic knowledge of microeconomics.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

基礎理論を学び、研究フロンティアの情報を把握する。

To learn the basic theory and understand the research frontier.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

今年度の授業には GoogleClassroom (情報科学研究科クラスコード v5cjw47, 工学研究科クラスコード mvqmkdv, 経済学研究科クラスコード t5qcgse, 経済学部クラスコード 4pwom6e) を利用する。授業の実施形態は主にオンライン (オンデマンド) であるが、受講生からの要望が強ければ、途中から対面授業に変える。授業内容は下記の 15 回を予定している。

- 1 序論
- 2 Dixit-Stiglitz の CES モデル
- 3 自国市場効果
- 4 二要素モデル
- 5 Mathematica の使用法
- 6 準線形モデル
- 7 異質性モデル
- 8 重力モデル I
- 9 重力モデル II
- 10 厚生分析
- 11 Non-CES の均衡分析
- 12 均衡と最適
- 13 核・周辺モデル
- 14 連続空間
- 15 応用とその他

We use Google Classroom (Class Code v5cjw47 in Graduate School of Information Sciences, Code mvqmkdv in Graduate School of Engineering, Code t5qcgse in Graduate School of Economics and Management, Code 4pwom6e in Faculty of Economics) this year. I am preparing on-demand lectures, but the class may be switched to a face-to-face one if many students hope in-person lectures. There will be 15 lectures as follows.

- 1 Introduction
- 2 The Dixit-Stiglitz CES model
- 3 The home market effects
- 4 2-factor models
- 5 Mathematica usage
- 6 Quasi-linear mode
- 7 Heterogeneity models
- 8 Gravity models I
- 9 Gravity models II
- 10 Welfare analysis
- 11 Non-CES equilibrium analysis
- 12 Equilibrium vs. optimum
- 13 Core-periphery models
- 14 Continuous space
15. Applications etc.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語で講義を行う。/ The lectures will be in English.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

授業への関与度(30%)、宿題(70%)に応じて評価する。

Students are evaluated based on the level of class participation (30%) and assignments (70%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

空間経済学	曾道智・高塚創	東洋経済新報社	2016	978-4492314852	教科書
The Spatial Economy	Fujita, M., Krugman P and Venables A.	MIT Press	1999	978-0262561471	参考書

8. 関連URL/URL :

<http://www.se.is.tohoku.ac.jp/~zeng/index.html>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

授業後は宿題によって復習する。宿題の点数は最終成績の評価に使用される。

Home works are used to review the lectures. They are also used to evaluate your final score.

10. その他/In addition :

Office hour: Wednesday 16:30-18:00 or by appointment.

証券投資論特殊講義/Investment and Security Analysis(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 室井 芳史/YOSHIFUMI MUROI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 3 講時 経済学部第8 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM361J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

数理ファイナンスにおける金利の取り扱いについて学ぶ。特に、金利派生商品の価格付け法について講義を行なう。途中で確率微分方程式や偏微分方程式の知識を用いるが、あらかじめ理解して参加すること。

This lecture gives a course on mathematical finance including stochastic interest rate modeling.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

短期金利モデルやフォワードレートモデルなど確率微分方程式を用いた金利モデルにおいて債券や債券オプション、スワップ、スワップションなどの金利派生商品の価格の計算方法について理解を深める。

The aim of this lecture is a brief understanding of the short-rate model, forward rate model, LIBOR model.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

確率微分方程式の取り扱いについて簡単な復習を行なった後に、さまざまな金利モデルにおいて債券や金利デリバティブの価格計算の方法について考察を行なう。確率論的な手法のみならず偏微分方程式など多くの数学を用いたモデルについて概観したい。

We give a short review of the stochastic differential equation. Then we study the computational method of bonds and interest rate derivatives using the probabilistic methods and the partial differential equations.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

レポート

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

確率解析や数理ファイナンスについて独習することで理解を深めること

10. その他/In addition :

経営戦略特殊講義/Management Strategy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 山崎 喜代宏/KIYOHRO YAMAZAKI

曜日・講時/Day/Period : 後期 金曜日 3 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN363J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義では、具体的な経営事象を学ぶことによって、経営戦略の基本的・専門的な知識を理解することを目的とする。

This course covers several management cases to help students understand the basic and expert knowledge of strategic management.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

身近な経営事象から経営学、特に戦略論の基本的・専門的な概念・論理を学び、経営戦略の発展的な学習へとつなげていくことを目標とする。

The objective of this course is to learn the basic and specialized concepts and logic of management, especially strategy theory, through familiar management cases and to lead to the advanced study of management strategy.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

※特殊講義の受講生に対する注意事項※

経営戦略特殊講義の Google Classroom のクラスコードは[qlaztbu]であるが、実際に講義で利用する Classroom は経営戦略特論の Google Classroom (クラスコード [k6bq4eo]) であり、講義資料のアップロード、レポートの提出など全て経営戦略特論の Classroom を用いる。そのため、経営戦略特論の Classroom (クラスコード [k6bq4eo]) にメンバー登録を行うこと。

内容及び進度予定は以下のとおりであるが、状況によって若干内容を変更する場合もある。

The contents and schedule are as shown below, but subject to change depending on circumstances.

教科書をベースに講義を進める予定である。

講義はオンライン (オンデマンド方式) で行う。

受講生の理解を促すため、毎回の講義で課題を課し、そのレポートの提出を求める。

講義に関する情報提供や課題の提出等は、経営戦略特論の Google Classroom [k6bq4eo] で行う。

第1回 オリエンテーション/Orientation

第2回 経営学・経営戦略を学ぶことの意義①/Meaning of learning strategic management 1

第3回 経営学・経営戦略を学ぶことの意義②/Meaning of learning strategic management 2

第4回 1章 企業の誕生:メルカリ/Birth of a firm: Mercari

第5回 3章 環境・戦略・組織:GM/Environment / Strategy / Organization: GM

第6回 4章 競争戦略の基本型:マックとモス/Competitive Strategy: McDonald's Japan and Mos food service

第7回 5章 事業のリストラ:GE/Business Restructuring: GE

第8回 6章 ビジネス・システム:コマツ/Business System: Komatsu

第9回 7章 破壊的技術への対応:富士フイルム/Response to disruptive technology: Fujifilm

第10回 8章プラットフォーム戦略:アップル/Platform Strategy: Apple

第11回 9章グローバル戦略:サムソン/Global Strategy: Samsung

第12回 12章 日本の生産システム:トヨタ/Japanese production system: Toyota Motor

第13回 13章 成熟市場における製品開発:サントリー/Product development in mature markets: Suntory

第14回 14章 環境変化期のマーケティング:良品計画/Marketing during environmental changes: Ryohin Keikaku

第15回 まとめ/Summary

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

講義中に課される提出課題・レポート等 : 100%

Google クラスルームへ期限内に提出すること。

なお、期限外の提出は採点しない。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ケースに学ぶ経営学 第3版 東北大学経営学グル 有斐閣
ープ

2019

4641184488

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前学習：講義予定の教科書パートを通読しておく。

事後学習：講義中に出される課題に取り組む。発展的な学習として、教科書の各章には、「考えてみよう・調べてみよう」として問題が掲載されており、講義内容を踏まえて、それらの問題に取り組む。また、講義では教科書の全章を扱えないため、講義で取り上げられなかった章は各自学習すること。

10. その他/In addition :

日本経済特殊講義/Japanese Economy(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 川端 望/NOZOMU KAWABATA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時 経済学部第 6 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0369J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

戦後日本経済史と現代日本経済を経済学的に把握する。

In this course, students will gain an understanding of Japan's postwar economic history and the contemporary Japanese economy from an economics perspective.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・日本経済の諸側面を経済学的に理解すること。
- ・経済の高成長と低成長が、どのような要因の作用によって、どのように実現したかを歴史的にとらえること。
- ・経済成長について、制度的構造の再生産と転換という観点から認識すること。

+To provide students with a comprehensive understanding of the Japanese economy through the lens of economics.
+To enable students to historically analyze the factors contributing to periods of high and low economic growth in Japan.

+To equip students with the ability to identify and evaluate the reproduction and transformation of institutional structures in the context of economic growth.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

- ・Google クラウドルームは用いない。受講手順は「その他」の欄を参照。
- ・教科書を輪読する。

1. ガイダンス
2. 日本経済の歴史
3. 経済成長／景気循環、バブル経済の発生とその崩壊
4. 金融市場と金融監督
5. 金融政策
6. 財政制度と財政政策
7. 貯蓄・人口動態・社会保障
8. 産業構造
9. 労働市場
10. 国際貿易／日米経済対立
11. 国際金融
12. 失われた 20 年
14. 総合討論
15. 理解度確認セッション

Textbook reading and discussion.

1. Guidance
2. History of the Japanese Economy
3. Economic Growth/Business Cycles, and Boom and Bust
4. Financial Markets and Supervision
5. Monetary Policy
6. Public Finance
7. Saving, Demography, and Social Security
8. Industrial Structure
9. The Labor Market
10. International Trade/US-Japan Economic Conflicts
11. International Finance
12. The Lost Two Decades
14. Final Discussion
15. Comprehension Check Session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

教員の作成する資料：日本語

学生の作成するレジュメ・スライド：日本語または英語

教員の講義と討論：日本語

提出レポート：日本語または英語

理解度確認セッションの回答：日本語または英語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常の報告と討論の水準 : 50 点

理解度確認セッション : 50 点

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

日本経済論	伊藤隆敏・星岳雄	東洋経済新報社	2023	9784492396742	教科書
The Japanese Economy, 2nd edition	Takatoshi Ito and Takeo Hoshi	The MIT Press	2020	9780262538244	教科書

8. 関連URL/URL :

川端望の研究ノート

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/arekore.htm>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

日本語か英語のいずれかの版で教科書を入手して事前に読むこと。新本は 4500 円＋税の費用がかかるが、授業に必要である。コピーを用いることは認めない。新本、古書のほか、授業期間中毎回持参できることを条件に、図書館や他人から借用した本の使用も認める。少なくとも用語を理解し、論旨が読み取れるまで下調べして来ること。Students who have a better command of the English language than of the Japanese language may use the

10. その他/In addition :

1 回目はガイダンスとする。履修希望者は必ず出席するか、同日までにメール等で連絡すること。いずれも行わない場合は履修を認めない。アドレスは以下の通り。nozomu.kawabata.b1@tohoku.ac.jp (*を@に変えてください)

Enrollment in the course requires attendance at the first class session or direct communication with the instructor via email on the

医療経済特殊講義/Health Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 湯田 道生/MICHIO YUDA

曜日・講時/Day/Period : 後期 火曜日 1 講時 経済学部第8演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0378E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義では、医療経済学における代表的なトピックスについて、学部レベルの基礎的な内容を速習したのちに、より発展的な大学院レベルの経済モデルを紹介する。

近年の医療経済学はマイクロデータを用いた実証研究が中心となっているので、基礎的な因果推論の考え方や各トピックスの研究でよく用いられているマイクロ計量経済学的手法についても紹介する。

This class provides the theoretical backgrounds of major topics in health economics at the master level after quickly introducing those of the undergraduate level.

This class also provides basic causal inference and microeconometrics methods used in recent health economics studies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

医療経済学における代表的な理論と分析方法の修得を通して、

(1) 経済学的な観点から健康や医療需給および保健（医療・介護）制度を概観・分析する知識を身に付け、「根拠にもとづく保健政策（Evidence-Based Health Policy）」の立案と評価を行う素養を身に付けること。

(2) 最先端の医療経済研究の論文の内容が理解できるようになること。

The goals of study of this class are:

(1) To learn basic and constructive economic knowledge to analyze the current health policies and the problems of health systems in order to provide the "evidence-based health policy".

(2) To be able to understand leading-edge studies in health economics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

進捗予定は以下の通りである。

- 第1回 インTRODクシヨン／最小二乗法
- 第2回 健康資本理論
- 第3回 健康資本の実証分析（最尤法）
- 第4回 健康資本の実証分析（二値選択モデル）
- 第5回 医療保険理論
- 第6回 モラルハザード
- 第7回 因果推論の基礎
- 第8回 医療保険の実証分析（医療保険実験）
- 第9回 医療保険の実証分析（局所平均処置効果）
- 第10回 医療保険の実証分析（パネルデータ分析）
- 第11回 供給者誘発需要理論
- 第12回 供給者誘発需要の実証分析（操作変数法）
- 第13回 医療供給理論
- 第14回 医療供給の実証分析（生産性分析）
- 第15回 まとめ

注：理論パートはオンデマンド講義，実証パートは対面講義で提供する予定である。

The schedule of this course is as follows:

- #01 Guidance and an overview of health economics/ Ordinary least squares
- #02 Health capital model
- #03 Empirical analyses on health capital (Maximum likelihood estimation)
- #04 Empirical analyses on health capital (Binary choice model)
- #05 Health insurance theory
- #06 Moral hazard
- #07 Causal inference
- #08 Empirical analyses on health insurance (Health insurance experiment)
- #09 Empirical analyses on health insurance (Local average treatment effect)
- #10 Empirical analyses on health insurance (Panel data models)
- #11 Theory of Supplier-induced demand
- #12 Empirical analyses on supplier-induced demand (Instrumental variable estimation)
- #13 Theory of supply of medical services
- #14 Empirical analyses on supply of medical services (Productiity analyses)
- #15 Summary

Note that theoretical parts will be provided by a on-demand lecture, and empirical parts will be provided at a classroom

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

英語
English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回の持ち帰り試験による (100%)。

Several times take-home examinations (100%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Health Economics	P.Zweifel, et al.	Springer	2009	978-3540278047	Text
Introduction to Econometrics	JH Stock & MW Watson	Pearson Education	2019	978-1292264455	Reference
Causal Inference: The Mixtape	Scott Cunningham	Yale University Press	2021	978-0300251685	Reference

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

Google Classroom (クラスコードは"ij3koqf") にアップロードされた講義資料の内容を事前に確認しておくこと。また、講義後はその内容の復習を行うこと。

Students need to download and check the lecture notes in advance and also review the topics after the class.
The code of Google Classroom for this lecture is "ij3koqf"

10. その他/In addition :

大学院科目である「中級ミクロ経済学特殊講義」・「中級マクロ経済学特殊講義」・「中級計量経済学特殊講義 I」を履修していることが望ましい。

I presuppose that students have already gained the knowledge of microeconomics, macroeconomics, and econometrics at the undergraduate level. Specifically, 中級ミクロ経済学・中級マクロ経済学・中級計量経済学・Mic

経済データ科学特殊講義/Data Science in Economics(Special Lectures)

担当教員/Instructor : 石原 卓弥/TAKUYA ISHIHARA

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 3 講時 第3小講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0389J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

漸近理論は計量経済学で用いられる推定量や検定の性質を調べるのに非常に有用である。この講義では、計量経済理論に必要な漸近理論を紹介する。この講義では以下の内容を扱う：Portmanteau 定理、Prohorov の定理、連続写像定理、Slutsky の補題、Levy の連続性定理、デルタ法、一致性、漸近正規性、最尤法、一般化モーメント法。

Google classroom code: se6qhcx

Asymptotic theory is the primary method used to examine the properties of econometric estimators and tests. This course offers the asymptotic theory for econometrics. The keywords of this course are as follows: Portmanteau theorem, Prohorov's theorem, continuous mapping theorem, Slutsky's lemma, Levy's continuity theorem, delta method, consistency, asymptotic normality, maximum likelihood estimation, generalized method of moments.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

この講義の目標は計量経済学に必要な漸近理論を理解することである。

Participants are expected to understand the asymptotic theory for econometrics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

以下の内容を扱う。The following contents will be discussed.

1. 確率的収束概念 / Stochastic convergence
2. 特性関数 / Characteristic functions
3. デルタ法 / Delta method
4. 極値推定量 / Extremum estimators
5. 極値推定量の一致性 / Consistency of extremum estimators
6. 極値推定量の漸近正規性 / Asymptotic normality of extremum estimators
7. 漸近分散の一致推定 / Consistent asymptotic variance estimation
8. 2段階推定量 / Two-step estimators

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 / Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

宿題に基づいて成績を評価する。 / The evaluation will be based on assignments.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Asymptotic Statistics	A. W. van der Vaart	Cambridge University Press	2000	0521784506	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

本講義には基本的な数理統計学と計量経済学の知識を必要とする。 / Basic knowledge on mathematical statistics and econometrics is required to follow the class.

上級計量経済学特殊講義 I /Advanced Econometrics (Special Lectures) I

担当教員/Instructor : KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 前期 水曜日 2 講時 経済学研究科 401 演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0366E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I and II. This course should be regarded as the entry level econometrics course for PhD program. Students are required to complete the two courses before enrolling in this one. In this course, we will study econometrics in greater depth with both old topics (such as linear regression) and new topics (such as panel data model). Mathematical tools, for example, vector and matrix, are extensively used in deriving estimations and inferences. Random sample (independence) is assumed in most of the topics. Dependent sample will be covered in Advanced Econometrics II.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Conditional Expectation and Projection (Hansen Chapter 2 & 3; Hong Chapter 2; Wooldridge Chapter 2)

- Conditional Expectation
- Best predictor under MSE criteria
- Linear projection and Least Squares Estimator
- Correct model specification

Single-Equation Linear Model (Hansen Chapter 4-7, 9; Hong Chapter 3-4; Wooldridge Chapter 3-4)

- Classical linear regression models: OLS and MLE
- Large sample linear regression models: OLS and Method of Moment
- Hypothesis testing

Single-Equation Linear Model with Instrumental Variables Estimation (Hansen Chapter 12 & 13; Wooldridge Chapter 5)

- Generalized method of moment under i. i. d.
- Two-stage least squares estimation

Multiple-Equation Model (Hansen Chapter 11; Wooldridge Chapter 7)

- Seemingly Unrelated Regressions: OLS and GLS

Linear Unobserved Effects Panel Data Models (Hansen Section 17.1-17.27; Wooldridge Chapter 10)

- FD, FE, RE methods

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (40%)
Mid-term exam (30%)
Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Econometrics	Hansen, Bruce E.	2022
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co. 2020
Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data	Wooldridge, Jeffrey M.	MIT Press. 2002

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

上級計量経済学特殊講義Ⅱ/Advanced Econometrics(Special Lectures)Ⅱ

担当教員/Instructor : KO IAT MENG/KO IAT MENG

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 4 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-EC0391E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

This course is one-semester advanced level econometrics. The prerequisites are Econometrics I, II, and Advanced Econometrics I. This course should be regarded as the second PhD level econometrics course and will cover various asymptotic theories, with an emphasis in dependent samples. Time series econometric models will be covered.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

The students are expected to have a much deeper understanding of modern econometrics. The topics covered in this course are essential for rigorous economic research either empirically or theoretically.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Asymptotic Theory with Dependent Sample (Hayashi Chapter 2; Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Stationary and Ergodicity
- Martingale and Martingale Difference
- WLLN and CLT for ergodic time series

Linear Time Series Regression Models (Hansen Chapter 14; Hong Chapter 5)

- Static, (Autoregressive) Distributed Lag
- Granger Causality

ARMA Linear Processes & GARCH (Hamilton Chapter 3-5, 21; Hansen Chapter 14; Hayashi Chapter 6; Hong Chapter 9)

- Wold decomposition
- GARCH
- MLE & QMLE

Dynamic Panel Data Model (Hayashi Chapter 3; Hansen Section 17.36-17.42)

- Generalized method of moment
- Anderson-Hsiao, Arellano-Bond
- Blundell-Bond

VAR Model (Hamilton Chapter 11; Hansen Chapter 15)

Unit-Root Econometrics (Hamilton Chapter 17; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 9)

- Unit root test

Cointegration (Hamilton Chapter 19; Hansen Chapter 16; Hayashi Chapter 10)

Note: We may not be able to cover all topics due to time constraints. The contents will be adjusted accordingly.

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

English

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Assignments (40%)

Mid-term exam (30%)

Final exam (30%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Time Series Analysis	Hamilton, James D.	Princeton University Press	1994
Econometrics	Hansen, Bruce E.		2022
Econometrics	Hayashi, Fumio	Princeton University Press	2000
Foundations of Modern Econometrics: A Unified Approach	Hong, Yongmiao	World Scientific Pub Co	2020

8. 関連URL/URL :

Google Classroom: omwezm5

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

Lecture slides will be distributed. No single textbook will be exactly followed. Selected chapters from different textbooks will be listed as reading materials.

【トピックス会計学】管理会計／原価計算/Topics of Accounting: Management Accounting/ Cost Accounting

担当教員/Instructor: 松田 康弘/YASUHIRO MATSUDA

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 1 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ACC310J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業の目的は、原価計算の以下のふたつの役割について、基本的な考え方を理解し、関連する計算方法を習得することです。

- (1) 財務諸表の作成に必要な原価を測定する
- (2) 経営意思決定と業務計画の作成と実行のコントロールに役立つ原価情報を提供する

原価計算は管理会計分野の主要な領域です。トピックス会計学（管理会計／管理会計）はこの授業の内容を前提としたものとなっています。前提知識に不安のある学生は先にこの授業を受講してください。

The objective of this class is to understand the basic concepts of the following two roles of cost accounting and to learn the fundamental calculation methods:

1. To measure costs necessary for the preparation of financial statements
2. To provide cost information useful in management decision making and in controlling the preparation and execution of business plans

Cost accounting is a major area of the field of management accounting. Topics Accounting (Management Accounting/Management Accounting) is based on the content of this class. I recommend students should take this class first if you are anxious or have little knowledge on management accounting.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

基本的な原価計算の手法を理解し、リテラシーを身につけ、運用できるようになること

Understand fundamental cost accounting techniques, learn literacy, and learn to manipulate.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class:

- ・授業は基本的に下記教科書と講義スライドに沿って行う。
- ・計算例や具体的な事例をまじえながら、各テーマの理解を深める。使用する資料は基本的にすべて Google クラスルーム上で配布する。

授業内容は以下のとおりです。以下に掲載していないものや、より詳細な内容は適宜アナウンスします。

- ・管理会計と原価計算の全体像
- ・原価計算の計算手続
- ・費目別計算
- ・個別原価計算
- ・製造間接費
- ・部門別計算
- ・総合原価計算
- ・直接原価計算と全部原価計算
- ・活動基準原価計算
- ・さまざまな「ドライバー」
- ・経済的発注量

The lectures are provided using the textbook and presentation slides.

Quizzes will be held twice.

Almost all the teaching materials will be distributed on Google classroom (URL is listed below).

Students will learn following management accounting techniques:

- Overview
- Direct manufacturing materials and direct manufacturing labor costs
- Job costing
- Factory overhead costs
- Process costing
- Activity-Based Costing
- A variety of 'drivers'
- 'Theory of Constraint'
- Economic order quantity

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

講義は日本語で行う。理解度確認セッションの問題及び解答は日本語とする。
This course is provided in Japanese.
Final examination is provided in Japanese and students are required to give answers in Japanese.

6. 成績評価方法/Evaluation method :

課題 (50%)と理解度確認セッション (50%) で評価する。

Students are evaluated according to assignments (50%) and the final examination (50%).

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

ブラクティカル原価計算	園田智昭	中央経済社	2021	978-4502403910	書籍

8. 関連URL/URL :

講義資料や関連情報は授業の場及び Google クラスルームで配布・アナウンスする。

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY0NjQ50Dg3?cjc=puxhws4>

Lecture materials will be distributed at a Google classroom.

Related information will also be available at a real classroom and at a Google classroom

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義で学習した内容を教科書・講義スライド等で予習・復習してください。講義内容にはやや煩雑な数値例も含まれます。また、課題と理解度確認セッションは授業で扱った内容や配布した練習問題や教科書内の問題から出題します。授業で扱っていない内容は出題しません。計算問題が中心ですが、基本的な用語はすべておさえておいてください。理解度確認セッションに備えて復習してください。

Students are required to study after class with the textbooks and prese

10. その他/In addition :

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス会計学】管理会計／管理会計/Topics of Accounting: Management Accounting/ Management Accounting

担当教員/Instructor : 荻原 啓佑/KEISUKE OGIHARA

曜日・講時/Day/Period : 後期 水曜日 2 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC312J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本授業の目的は、管理会計の主要なトピックに関する知識を身に着けることです。管理会計に関する知識は、企業の経営管理者にとって必要不可欠なものとなっています。講義では、入門書を用いて、企業における意思決定や業績評価の際に有用な財務・非財務情報の作成方法やその活用方法を学びます。

The objective of this course is to provide students with knowledge of the main topics in management accounting. Knowledge of management accounting is essential for business managers. Using introductory texts, students will learn how to make and use financial and non-financial information that is useful for decision making and performance evaluation in companies.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- (1) 授業で取り上げた管理会計実践の役割や特徴を説明できるようになること。
(2) 関連する計算問題を解けるようになること。

- (1) To be able to explain the roles and characteristics of management accounting practices covered in class.
(2) To be able to solve the calculation problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は教科書と講義スライドに沿って行う。
10 回程度の小テストと 1 回の理解度確認セッションがある。
必要に応じて計算演習や国内や海外で行われた管理会計研究の紹介も行う。
学生に発言を求める機会を設ける。

授業で取り上げる内容は以下のとおりである。

- ・管理会計の意義/Significance of management accounting
- ・管理会計の基礎概念/Basic concepts of management accounting
- ・長期経営計画/Long-term management planning
- ・利益計画/Profit planning
- ・CVP 分析/Cost-Volume-Profit analysis
- ・意思決定アプローチ/Decision making approach
- ・設備投資意思決定/Capital investment decision
- ・業績管理アプローチ/Performance management approach
- ・標準原価計算/Standard Costing
- ・事業部の業績評価/Divisional performance evaluation
- ・予算管理/Budgetary control
- ・原価企画/Target costing

The textbook and lecture slides will be used in class.

There will be ten quizzes and one examination.

Calculation exercises and introduction of management accounting research conducted in Japan and abroad will be given as necessary.

Students are expected to express their opinions.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

講義は日本語で行う。小テスト・理解度確認セッションの問題及び解答は日本語とする。

6. 成績評価方法/Evaluation method :

小テスト (30%), 理解度確認セッション (70%) で評価する。
なお、受講者の人数によっては、成績評価方法を変更する可能性がある。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

エッセンシャル管理会計 (第 4 版)	谷武幸	中央経済社	2022	978-4502439018	教科書
スタンダード管理会計 (第 2 版)	小林 啓孝, 伊藤 嘉博, 清水 孝, 長谷川 恵一	東洋経済新報社	2017	978-4492602256	参考書
異論・正論 管理会計	伊藤 嘉博, 目時 壮	中央経済社	2021	978-	参考書

8. 関連URL/URL :**9. 授業時間外学修/Preparation and Review :**

予習:

テキストの指定された箇所を読み, 疑問点を明確にする。計算例題は事前に解いてくること。

復習:

各回の講義で扱った内容を再確認する。小テストや理解度確認セッションに備えて, 計算問題や用語をしっかりと確認すること。

10. その他/In addition :

この講義を受講するために必要となる知識:

会計学の基本的な知識を持っていることが望ましい。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス会計学】財務会計／財務報告/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Reporting

担当教員/Instructor : 吉永 裕登/YUTO YOSHINAGA

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 1 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC311J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

本講義の目的は、財務諸表を用いて企業価値を評価するための知識と技術を身につけることです。

The objective of this course is to provide students with the knowledge and skills to evaluate firm value using financial statements.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

本講義の到達目標は、自分で企業価値を一通り評価できるようになることです。

The goal of this course is to enable students to evaluate firm value on their own.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

Google Classroom Classcode : 「xdrq7of」

第01回	オリエンテーションと財務諸表データの取得方法
第02回	企業価値評価の概論
第03回	マルチプル法
第04回	お金の時間価値
第05回	投資判断基準
第06回	DCF法
第07回	DCF法以外のインカムアプローチのモデル
第08回	分散投資の効果
第09回	ポートフォリオの資産配分
第10回	CAPMと株主資本コスト
第11回	レバードベータとアンレバードベータ
第12回	負債コストとWACC
第13回	DCFモデルのその他の要素
第14回	DCFモデルの実践
第15回	理解度確認セッション

※以上は現時点での予定です。授業の進行などに合わせて変更の可能性があります。

Session 01. Orientation and Methods of Obtaining Financial Statement Data
Session 02. Introduction to valuation
Session 03. Flowchart and practice of multiple method
Session 04. Time value of money
Session 05. Investment decision criteria
Session 06. DCF model
Session 07. The other models of Income Approach
Session 08. Effects of Diversification
Session 09. Portfolio asset allocation
Session 10. CAPM and cost of equity
Session 11. Leveraged and unleveraged betas
Session 12. Cost of debt and WACC
Session 13. Other elements of DCF model
Session 14. Practice of DCF model
Session 15. Examination

The above is the current schedule. It is subject to change according to the progress of the class.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (100点)

その他、講義中の発言や発表など、講義に貢献した学生に加点することがあります。

※資格取得など、講義への貢献と関係ないものは加点の対象にしません。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

インターネットおよびMicrosoft Excel を使用できるノートパソコン（Windows 推奨）を持参できることを履修の条件とします。

授業資料はClassroomを通じて配布します。教科書や参考書は必要に応じて授業資料の中で掲載します。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス会計学】財務会計／財務諸表分析/Topics of Accounting: Financial Accounting/ Financial Statements Analysis

担当教員/Instructor : 木村 史彦/FUMIHIKO KIMURA

曜日・講時/Day/Period : 前期 金曜日 2 講時 経済学部第 2 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ACC313J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

財務会計は、財務諸表を中心とした会計情報を企業外部の利害関係者に対して提供することを目的とし、現代の企業を支える重要な仕組みである。本講義では、財務会計の機能と構造を概説した上で、会計情報の分析手法について学習する。

Financial accounting is an important mechanism to support modern companies, which aims to provide accounting information, mainly financial statements, to stakeholders outside the company. In this lecture, the function and structure of financial accounting will be outlined, and the methods of analyzing accounting information will be studied.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・ 会計情報が経済社会においていかなる役割を果たしているのかについて理解する
- ・ 企業が公表する財務諸表の基礎的な分析手法を理解する

・ The goal of this lecture is to understand the role of accounting information in economic society and to understand the basic analytical methods of financial statements published by companies.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は、第 1 部（概ね～5 月下旬）、第 2 部（概ね 5 月下旬～）の 2 部構成で進める

第 1 部は財務会計の重要論点、第 2 部は財務諸表の分析手法について取り扱う

第 1 部は、テキストから離れる論点もある。

第 2 部はテキスト（第 2 部）に概ね準拠する。

第 1 部 財務会計の重要論点－開示された財務諸表を読むために

- 1 財務諸表の役割と仕組み
- 2 財務諸表の入手方法
- 3 貸借対照表の見方
- 4 損益計算書の見方
- 5 キャッシュ・フロー計算書の見方

第 2 部 財務諸表の分析手法

- 6 財務諸表分析の視点と方法
- 7 収益性の分析
- 8 安全性の分析
- 9 不確実性によるリスクの分析
- 10 成長性の分析

This course consists of two parts.

Part 1 Important Issues in Financial Accounting

1. The role and structure of financial statements
2. How to obtain financial statements
3. How to read the balance sheet
4. How to read the income statement
5. How to read the cash flow statement

Part 2 Analysis method of financial statements

6. Perspectives and methods of financial statement analysis
- 7 Analysis of profitability
8. Analysis of safety
- 9 Analysis of risk
- 10 Analysis of Growth

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション (80%), 平常点 (20%) * 平常点は講義において提示する課題を含みます

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

財務諸表分析 (第9版)	桜井久勝	中央経済社	2024	4502489914	教科書
財務諸表分析 (第3版)	乙政正太	同文館出版	2019	4495193031	参考書
新・現代会計入門 第5版	伊藤邦雄	日本経済新聞出版 社	2022	4532135257	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：テキストの指定箇所を読んで疑問点を明らかにする

復習：練習問題に取り組む

10. その他/In addition :

履修条件：会計学入門・会計原理の内容を理解していることを前提とする（単位取得の有無は問わない）

連絡先：fkimura@tohoku.ac.jp

資料等の配布について：Google Classroom を通じて実施します。

ゲストレクチャーを設定する可能性もあります。

対面講義を原則としますが、一部動画配信（オンデマンド）形式での講義となる可能性もあります。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス経済学】経済政策／マクロ編/Topics of Economics: Economic Policy/ Macroeconomic Section

担当教員/Instructor：黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 2 講時 経済学部第 1 講義室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0216J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

本講義はミクロ・マクロの代表的な経済政策の考え方についての概観を学ぶことを目的にしている。

To learn the basic macroeconomic theories of economic policy and its practice.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

以下の 2 点が到達目標である。

- * ミクロ・マクロ経済理論の基本的な考え方を理解する。
- * 経済政策と現実の経済現象との間の関係を理解する。

* To understand the basic theories of microeconomics and macroeconomics.

* To understand the relationship between the economic policies and real economic phenomena.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

本科目の講義ノートの配布および授業に関わる連絡は Google Classroom を通じて行います。クラスコードは「tqeurts」です。本講義の履修を希望する者は学務情報システムから履修登録するとともに、Google Classroom においてメンバー登録を必ずして下さい。

The lecture notes and all notices related to this course are given through Google Classroom, the code of which is "tqeurts". Don't fail to become a member of this lecture on Google Classroom.

第 1 回：イントロダクション；経済政策の必要性

第 2 回：ケインズ経済学とケインズ政策 I (Keynesian Economics and Keynesian Policy I)

第 3 回：ケインズ経済学とケインズ政策 II (Keynesian Economics and Keynesian Policy II)

第 4 回：ケインズ経済学とケインズ政策 III (Keynesian Economics and Keynesian Policy III)

第 5 回：ケインズ経済学とケインズ政策 IV (Keynesian Economics and Keynesian Policy IV)

第 6 回：期待形成と経済政策 I (Expectations Formulation and Economic Policy I)

第 7 回：期待形成と経済政策 II (Expectations Formulation and Economic Policy II)

第 8 回：期待形成と経済政策 III (Expectations Formulation and Economic Policy III)

第 9 回：期待形成と経済政策 IV (Expectations Formulation and Economic Policy IV)

第 10 回：前向きな期待形成と経済政策 I (Forward-looking Expectations and Economic Policy I)

第 11 回：前向きな期待形成と経済政策 II (Forward-looking Expectations and Economic Policy II)

第 12 回：前向きな期待形成と経済政策 III (Forward-looking Expectations and Economic Policy III)

第 13 回：前向きな期待形成と経済政策 IV (Forward-looking Expectations and Economic Policy IV)

第 14 回：前向きな期待形成と経済政策 V (Forward-looking Expectations and Economic Policy V)

第 15 回：前向きな期待形成と経済政策 VI (Forward-looking Expectations and Economic Policy VI)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

課題 (20%) + 理解度確認セッション (80%)

Assignment (20%) + Examination (80%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

マクロ経済学

斎藤誠, ほか

有斐閣

2016

978-4-641-05384-7

参考書

8. 関連 URL/URL：

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

予習として事前にアップロードする資料を一読すること。復習は各自の理解度に応じて適宜行うことをお勧めする。

10. その他/In addition:

- ・本講義は講義担当者が作成した講義ノートに従って進められ、テキストは使用しない。参考文献については講義中に指示する。
- * 履修条件は特にないが、ミクロ経済分析を履修済みであることが望ましい。
- * 連絡先は学生便覧に記している。
- * 質問がある場合はEメールで連絡されたし。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

【トピックス経済学】経済政策／ミクロ編/Topics of Economics: Economic Policy/ Microeconomic Section

担当教員/Instructor: 黒瀬 一弘/KAZUHIRO KUROSE

曜日・講時/Day/Period: 後期 金曜日 1 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0217J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義はミクロ経済学を基礎として市場の機能とその限界を理解し、必要な経済政策を学ぶ。
の代表的な経済政策の考え方についての概観を学ぶことを目的にしている。

To understand the function and limitations of market systems, based on microeconomic theories, and learn economic policies that should be conducted to overcome the limitations.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

以下の2点が到達目標である。

- * ミクロ・マクロ経済理論の基本的な考え方を理解する。
- * 経済政策と現実の経済現象との間の関係を理解する。

* To understand the basic theories of microeconomics.

* To understand the relationship between economic policies and real economic phenomena.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本科目の講義ノートの配布および授業に関わる連絡は Google Classroom を通じて行います。クラスコードは「h37xn7c」です。本講義の履修を希望する者は学務情報システムから履修登録するとともに、Google Classroom においてメンバー登録を必ずして下さい。

The lecture notes and all notices related to this course are given through Google Classroom, the code of which is "h37xn7c". Don't fail to become a member of this lecture on Google Classroom.

第1回: イントロダクション

第2回: 市場の機能を理解する I (Understanding of the Functions of Markets I)

第3回: 市場の機能を理解する II (Understanding of the Functions of Markets II)

第4回: 市場の機能を理解する III (Understanding of the Functions of Markets III)

第5回: 市場の機能を理解する IV (Understanding of the Functions of Markets IV)

第6回: 再分配政策を考える I (Redistribution Policy I)

第7回: 再分配政策を考える II (Redistribution Policy II)

第8回: 再分配政策を考える III (Redistribution Policy III)

第9回: 再分配政策を考える IV (Redistribution Policy IV)

第10回: 再分配政策を考える V (Redistribution Policy V)

第11回: 再分配政策を考える VI (Redistribution Policy VI)

第12回: 再分配政策を考える VII (Redistribution Policy VII)

第13回: 協調問題を考える I (Coordination Problem I)

第14回: 協調問題を考える II (Coordination Problem II)

第15回: 協調問題を考える III (Coordination Problem III)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

課題 (40%) + 理解度確認セッション (60%)

Assignment (40%) + Examination (60%)

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

新版 ミクロ経済学	武隈 慎一	新世社	2016	978-4883842391	参考書
ミクロ経済学の力	神取道宏	日本評論社	2014	9784535557567	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習として事前にアップロードする資料を一読すること。復習は各自の理解度に応じて適宜行うことをお勧めする。

10. その他/In addition :

- ・本講義は講義担当者が作成した講義ノートに従って進められ、テキストは使用しない。参考文献については講義中に指示する。
- * 履修条件は特にないが、ミクロ経済分析を履修済みであることが望ましい。
- * 連絡先は学生便覧に記している。
- * 質問がある場合はEメールで連絡されたし。

履修者が300名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります。

【トピックス経済学】医療福祉経済／医療福祉経済Ⅰ/Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Economics on Health and WelfareⅠ

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：後期 火曜日 1 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0317J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom：k5fu6qu

- ・ 社会保障・社会福祉制度（公的年金，介護保険，医療保険，生活保護，児童福祉，保育所問題など）について学習する。
- ・ 社会保障・福祉政策の課題について，労働経済学や家族の経済学の視点から学ぶ。

This course focuses on the social security system and public finance.

Current policy issues in Japan (for example, social security reform, health care reform, income tax reform, etc.) are also discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・ 日本における社会保障・社会福祉制度について理解すること
- ・ 計量データを使った実証分析の論文を理解すること
- ・ 現在の日本の抱えている状況と社会保障・福祉制度との係わり合いを学習し，政策評価・提言ができること。その際諸外国の社会保障・社会福祉制度との違いを検討する
- ・ 応用実証分析（計量経済学の基礎）や家族の経済学，教育経済学なども時間があったら扱いたい

We study the role of the government in the economy and why government intervention is needed.

Also, you can understand Japanese social security system and discuss not only system itself but also argue the pros and cons of the system.

First, I introduce general topics of welfare economics (for example, the reasons for government intervention in the economy and social insurance). Next, I talk about special topics of social security, especially in Japan. I would also like to talk about family economics and education economics. We also study applied empirical economics

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

扱う内容は以下のとおりである。

オリエンテーション，統計から見た社会保障・社会福祉，計量経済学入門

社会保険、公的年金、医療経済学、介護保険，家族の経済学（親子関係、貯蓄行動、遺産など）、公的扶助，貧困，失業，社会保障・社会福祉と労働経済学、子育て支援，家族の経済学（結婚，出産，育児，女性就労など）、行動経済学と社会福祉・社会保障，日本や世界の将来と社会保障・社会福祉，総復習

授業を行う順序は、適宜変更される。また進度によっては扱えないトピックスもある。

Introduction to Welfare Economics and Social Security, Data and Econometrics

Social Insurance, Social Security (Japanese Pension System)

Health Economics

Nursing care and Family Economics

Public Assistance

Childrearing, education, and Family Economics

Behavioral economics

Summary

The order might be changed depending on procedures.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

宿題と確認セッションで評価します

録画はしません

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL :

Google Classroom code: exgic5c

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

社会保障・社会福祉について学ぶときには、現在の仕組みを学習するだけでなく、制度の問題点、改正のポイントについても学習することが必要である。制度を丸暗記することが中心ではなくて制度の背景にある利点、問題点を「経済学」を用いて説明することが中心である。また、授業に参加するだけでなく、新聞、雑誌、テレビ、インターネットから積極的に情報を集めることも必要である。

You have to be interested in Japanese economy.

10. その他/In addition :

- ・ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の基本的な知識があることが望ましい
- 教科書参考書は指定のものはないが授業1回目に紹介する。
- ・け授業内配布プリントに沿って学習する。
- ・プリントの配布はつねにグループウェアを用いる。

Basic level of microeconomics, macroeconomics, and econometrics are required
Textbooks and references are introduced in the first time o

【トピックス経済学】医療福祉経済／医療福祉経済Ⅱ/Topics of Economics: Economics on Health and Welfare/ Economics on Health and Welfare II

担当教員/Instructor：若林 緑/MIDORI WAKABAYASHI

曜日・講時/Day/Period：後期 金曜日 2講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants：3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-EC0318J, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

Google Classroom：k5fu6qu

- ・ 社会保障・社会福祉制度（公的年金，介護保険，医療保険，生活保護，児童福祉，保育所問題など）について学習する。
- ・ 社会保障・福祉政策の課題について，労働経済学や家族の経済学の視点から学ぶ。

This course focuses on the social security system and public finance.

Current policy issues in Japan (for example, social security reform, health care reform, income tax reform, etc.) are also discussed.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

- ・ 日本における社会保障・社会福祉制度について理解すること
- ・ 計量データを使った実証分析の論文を理解すること
- ・ 現在の日本の抱えている状況と社会保障・福祉制度との係わり合いを学習し，政策評価・提言ができること。その際諸外国の社会保障・社会福祉制度との違いを検討する
- ・ 応用実証分析（計量経済学の基礎）や家族の経済学，教育経済学なども時間があったら扱いたい

We study the role of the government in the economy and why government intervention is needed.

Also, you can understand Japanese social security system and discuss not only system itself but also argue the pros and cons of the system.

First, I introduce general topics of welfare economics (for example, the reasons for government intervention in the economy and social insurance). Next, I talk about special topics of social security, especially in Japan. I would also like to talk about family economics and education economics. We also study applied empirical economics

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

扱う内容は以下のとおりである。

オリエンテーション，統計から見た社会保障・社会福祉，計量経済学入門

社会保険、公的年金、医療経済学、介護保険，家族の経済学（親子関係、貯蓄行動、遺産など）、公的扶助，貧困，失業，社会保障・社会福祉と労働経済学、子育て支援，家族の経済学（結婚，出産，育児，女性就労など）、行動経済学と社会福祉・社会保障，日本や世界の将来と社会保障・社会福祉，総復習

授業を行う順序は、適宜変更される。また進度によっては扱えないトピックスもある。

Introduction to Welfare Economics and Social Security, Data and Econometrics

Social Insurance, Social Security (Japanese Pension System)

Health Economics

Nursing care and Family Economics

Public Assistance

Childrearing, education, and Family Economics

Behavioral economics

Summary

The order might be changed depending on procedures.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course：

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method：

宿題と確認セッションで評価します

録画はしません

7. 教科書および参考書/Textbook and references：

8. 関連URL/URL :

Google Classroom code: exgic5c

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

社会保障・社会福祉について学ぶときには、現在の仕組みを学習するだけでなく、制度の問題点、改正のポイントについても学習することが必要である。制度を丸暗記することが中心ではなくて制度の背景にある利点、問題点を「経済学」を用いて説明することが中心である。また、授業に参加するだけでなく、新聞、雑誌、テレビ、インターネットから積極的に情報を集めることも必要である。

You have to be interested in Japanese economy.

10. その他/In addition :

- ・ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の基本的な知識があることが望ましい
- 教科書参考書は指定のものはないが授業1回目に紹介する。
- ・け授業内配布プリントに沿って学習する。
- ・プリントの配布はつねにグループウェアを用いる。

Basic level of microeconomics, macroeconomics, and econometrics are required
Textbooks and references are introduced in the first time o

【トピックス経済学】環境経済／環境経済学 I /Topics of Economics: Environmental Economics / Environmental Economics I

担当教員/Instructor: 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 火曜日 2講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0320J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、環境問題を分析するための経済学の基礎理論を取得することです。

環境経済学は、ミクロ経済学の応用分野の一つです。このため、ミクロ経済学の知識を前提として講義を進めます。ミクロ経済学の復習用に、講義ノート1～5.PDFを添付しているので、忘れてしまった人やミクロ経済学を勉強したことのない人は事前にこれを読んで、授業に参加してください。

また、第1回と第2回の講義用の講義ノート（講義ノート6と講義ノート7）も添付しているので、それを予習して授業に臨んでください。

The purpose of this course is to acquire basic knowledge of economic theory to analyze environmental issues.

Environmental economics is one of the applied fields of microeconomics. Therefore, knowledge of microeconomics is assumed in the lectures. 講義ノート1-5.PDF is attached for review of microeconomics. Those who have forgotten or have never studied microeconomics should read them before the course.

Also attached are the lecture notes for the first and second lectures (講義ノート6 and 講義ノート7). Please study those in advance and come to class.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

環境経済学の基礎的な理論を習得する

Students acquire the basic environmental economics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義では、以下の内容を予定している。

1. ガイダンス：環境問題と経済学（第1回）
2. 市場取引と社会の利益～余剰分析（第2回）
3. 環境問題（外部費用と外部便益）と市場の失敗（第3～4回）
4. 環境政策と最適な資源配分の達成（第5回）
5. 政策手段の比較～経済的手段（環境税）と規制的手段（規制）のどちらが望ましいか？（第6～7回）
6. 環境政策の環境保全技術開発に及ぼす効果の分析（第8～9回）
7. 排出権制度（第10～11回）
8. 不確実性と政策手段の選択～再論：経済的手段と規制的手段のどちらが望ましいか？（第12～13回）
9. Q&A（第14回）

This lecture will cover the following topics

1. Guidance: Environmental Issues and Economics (Lecture 1st)
2. Market transactions and society's benefits - cost benefit analysis (Lecture 2nd)
3. Environmental problems (external costs and benefits) and market failure (Lecture 3rd-4th)
4. Environmental policy and the optimal resource allocation (Lecture 5th)
5. Comparison of policy instruments - economic instruments (environmental taxes) or regulatory instruments (regulations)? (Lecture 6th-7th)
6. Analysis of the effects of environmental policies on the development of environmental protection technologies (Lecture 8th-9th)
7. Emission trading scheme (Lecture 10th -11th)
8. Uncertainty and the choice of policy instruments - Revisited: Which is preferable, economic or regulatory instruments? (Lecture 12th-13th)
9. Q&A (Lecture 14th)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業中に実施するミニテスト・宿題（20%）及び理解度確認セッション（80%）

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に Google Classroom にアップロードする講義ノートや資料を事前に読んで予習してください。

Google Classroom -> i4njpmq

Please prepare in advance by reading the lecture notes and materials that will be uploaded to Google Classroom.

Google Classroom -> i4njpmq

10. その他/In addition :

○授業中に配布する講義ノートを使って講義します。

以下は、具体的な政策などに関する解説があり、参考書として使用します

日引聡・有村俊秀著『入門 環境経済学新版-脱炭素時代の課題と最適解』中央公論新社、2023年

○Office hour : いつでも OK。ただし、不在である場合もあるので、できるだけ、事前に（直前でもいいので）メール（hibiki@tohoku.ac.jp）で在室を確認してから来てください。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス経済学】環境経済／環境経済学Ⅱ/Topics of Economics: Environmental Economics / Environmental Economics II

担当教員/Instructor: 日引 聡/AKIRA HIBIKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 1 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-EC0323J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

本講義の目的は、環境問題を分析するための経済学の基礎理論を取得することです。

環境経済学は、ミクロ経済学の応用分野の一つです。このため、ミクロ経済学の知識を前提として講義を進めます。ミクロ経済学の復習用に、講義ノート1～5.PDFを添付しているので、忘れてしまった人やミクロ経済学を勉強したことのない人は事前にこれを読んで、授業に参加してください。

The purpose of this course is to acquire basic knowledge of economic theory to analyze environmental issues.

Environmental economics is one of the applied fields of microeconomics. Therefore, knowledge of microeconomics is assumed in the lectures. 講義ノート1-5.PDF is attached for review of microeconomics. Those who have forgotten or have never studied microeconomics should read them before the course.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

環境経済学の基礎的な理論を習得する

Students acquire the basic environmental economics.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義では、以下の内容を予定している。

1. ガイダンス：環境問題と経済学（第1回）
2. 被害者と加害者の間の交渉による解決の可能性：コースの定理（第2～3回）
3. 自動車混雑問題とロードプライシング（第4～5回）
4. ごみ問題と最適な廃棄物政策～ごみ処理手数料有料制の分析（第6回）
5. ごみ問題と最適な最終処分場利用～異世代間の最適な資源配分の経済分析（第7～8回）
6. 情報と消費者・企業の製品品質の選択の理論分析（第9～10回）
7. 事故と事故回避行動のインセンティブ～製造物責任と企業の製品安全性の理論分析（第11～12回）
8. 事故と事故回避行動のインセンティブ～損害賠償ルールの経済分析～加害者・被害者の最適な事故回避努力に誘導するルールは何か？（第13回）
9. Q&A（第14回）

This lecture will cover the following topics

1. Guidance: environmental issues and economics (Lecture 1st)
2. Negotiation between Victims and Perpetrators: The Coase Theorem (Lecture 2nd-3rd)
3. Congestion problems and Road pricing (Lecture 4th-5th)
4. Optimal waste management policy: An analysis of a fee-based system for garbage disposal (Lecture 6th)
5. The Optimal Final Landfill Use: Economic Analysis of Optimal Resource Allocation among Different Generations (Lecture 7th-8th)
6. Theoretical analysis of information and consumer and firm product quality choices (Lecture 9th-10th)
7. Accidents and incentives for accident avoidance behavior: A theoretical analysis of product liability and corporate product safety (Lecture 11th-12th)
8. Accidents and Incentives for Accident-Avoidance Behavior: An Economic Analysis of Damage Compensation Rules: What are the rules that guide the injury and victim to optimal accident avoidance efforts? (Lecture 13th)
9. Q&A (Lecture 14th)

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業中に実施するミニテスト・宿題（20％）及び理解度確認セッション（80％）

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

入門 環境経済学新版-脱炭素時 有村俊秀・日引聡 中央公論新社 2023 4121027515 参考書
代の課題と最適解

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

事前に Google Classroom にアップロードする講義ノートや資料を事前に読んで予習してください。

Google Classroom ->le6fx42

10. その他/In addition :

○授業中に配布する講義ノートを使って講義します。

以下は、具体的な政策などに関する解説があり、参考書として使用します

有村俊秀・日引聡著『入門 環境経済学新版-脱炭素時代の課題と最適解』中央公論新社、2023年

○Office hour : いつでも OK。ただし、不在である場合もあるので、できるだけ、事前に（直前でもいいので）メール（hibiki@tohoku.ac.jp）で在室を確認してから来てください。

履修者が 300 名を超えた場合、経済学部以外の学部からの履修を認めない場合があります

【トピックス経済史・経営史】展開 I /Topics of Economic and Business History: Expansion I

担当教員/Instructor: ZHANG TINGTING/ZHANG TINGTING

曜日・講時/Day/Period: 前期 月曜日 3 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM310J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

江戸時代からの日本的雇用慣行の歴史制度、及び現在の労働制度・労務管理制度を歴史学的に検討し、講義する。

The object of this class is to present the historical system of Japanese employment from the Tokugawa period to the modern period. All of contents are prepared for students in the level of academic research program.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

日本の雇用が持つ歴史的な性格についての専門的な知見を獲得もらうことが目的である。

Goal of study is to for students to hold the comprehensive understanding and academic research on historical process of the Japanese employment.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

第1回 オリエンテーション/ Introduction

第2～3回 江戸時代の奉公人制度と日本の雇用慣行 (教科書第1章) / Textbook chapter 1

第4～5回 戦前の日本企業の労働制度と労務管理 (教科書第2章) / Textbook chapters 2

第6～7回 工場法の設定と労務管理 (教科書第3章) / Textbook chapter 3

第8～9回 日本企業の雇用管理の制度と国際比較 (教科書第4章) / Textbook chapter 4

第10～11回 日本企業の賃金・労働時間・福利厚生制度と国際比較 (教科書第5章) / Textbook chapter 5

第12～13回 日本企業の職務・人事考課・キャリア・教育訓練の制度と国際比較 (教科書第6章) / Textbook chapters 6

第14～15回 日本企業の労働組合と労使関係の制度と国際比較 (教科書第7章) / Textbook chapter 7

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業時に課す小レポートおよび学期末に課す最終レポートによって成績を評価する。

Students will be evaluated grade with some reports in the end of each class and the term report.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

日本的労働制度の歴史と戦略	丹野 勲	泉文堂	2012	9784793003783	教科書
賃金と労働と生活水準	斎藤修	岩波書店	1998	4000097229	参考書

8. 関連URL/URL:

<https://classroom.google.com/c/NjYxNjY1MTg2NDI2?cjc=d3jfske>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

講義内容は多岐にわたり情報量が多いため、予習と復習が必要不可欠である。

10. その他/In addition:

教員連絡先:

研究室 502 (文科系合同研究棟)

電話 022-795-7837

Email: zhang.tingting.c6@tohoku.ac.jp

オフィスアワー: 授業後約1時間 (研究室にて可)

【トピックス経済史・経営史】展開Ⅱ/Topics of Economic and Business History: Expansion II

担当教員/Instructor: 川名 洋/YOH KAWANA

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 2 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM311J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

経済史学は、異なる地域の経済発展過程を比較する視点を内包している。アダム・スミスやF・ブローデル、D・ノースといった著名な学者らは、優れた比較経済史の論者としても知られている。比較の視点は、後発工業国の経済発展の分析や、先進国間の歴史的な違いを探究する際にも、その効果を発揮する。例えば、どの国でも都市は最も進んだ経済活動の中心地であるが、都市化の過程は国によって異なっている。そのため、都市の比較史を通じて、経済を支える固有の制度や社会的価値観を明らかにすることが可能になる。本講義では、こうした比較史の利点を最大限活用し、長期の西欧経済史について概説を行う。受講者は、自国の経済との類似点・相違点についての理解を深め、社会的な質の観点から経済力を相対的に評価する能力を身に付けることが期待される。

本講義では、偏った経済学的思考に陥らない“pluralist economics”の精神を尊重しつつ、欧米と同じ自由市場経済体制下にある日本経済の行く末を見据える上で欠かせない基礎的知識の習得を目指す。

また、最先端の研究成果に触れるため英語文献を積極的に活用する。「経済史」の概要については、下記関連 URL 及び担当者の HP (<https://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/index.html>) を参照。

Approximately 100 years behind the developed country of Britain, the late-industrializing country of Japan also experienced its first industrial revolution in Asia, thereby joining the ranks of developed countries by the early 20th century. In addition to the ‘first industrialized country’ in the region, there are striking similarities in the economic histories of Britain and Japan. For instance, just as the Japanese economy prospered from cultural exchanges with Western countries, the British economy was also supported by its interactions with Asian countries. The point at which the economy improved during the run-up to the industrial revolution can also be said to be a common feature between the two countries.

The purpose of finding similarities in the different economies is ultimately to highlight their ‘differences’. According to the latest research, it has become clear that a typical example separating the history of the two countries lies in the process of urbanisation leading to a modern economy. Towns and cities serve as vibrant economic hubs that laid the groundwork for contemporary society. The disparities in their development hint at a potentially insurmountable divide between the fundamental political and social values bolstering seemingly identical advanced economies. This lecture series will delve into an examination of the significant historical differences between the two leading economies, respectively representing the West and the East.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

- ・ 比較経済史の方法について理解する。 To understand the methods of comparative economic history.
- ・ 経済的経営的事象を政治的、社会的、文化的側面と関連付けて思考し、経済変化の意味と本質を見通す能力を身につける。 To consider economic events in the context of political, social and cultural aspects from a historical perspective, and to understand the significance and core principles of economic transformation.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1. 序論 Introduction
2. 中世・近世ヨーロッパの人口変動/Medieval and early modern Europe: historical demography
3. 中世・近世ヨーロッパの農業経済/The agricultural economy
4. 中世・近世ヨーロッパの商業経済/Commercialisation
5. 比較経済史－日本の事例 I/Comparison and contrast I
6. 都市化の諸相－中世都市の起源－/Urban history: medieval towns
7. 都市化の諸相－人口増加と移住－/Urban history: demographic growth
8. 都市化の諸相－社会的分業と流動性－/Urban history: social structure and mobility
9. 首都経済の成長/The expansion of the metropolitan economy
10. 行政と司法－都市の公式な政治経済領域/Formality in the urban economy
11. ビジネスと貧困－都市の非公式な経済社会領域/Informality in the urban economy
12. 国家、個人及び都市法人/Individuals, corporations, and the state
13. 比較経済史－日本の事例 II/Comparison and contrast II
14. 結論/Conclusion
15. 理解度確認セッション/Examination

※最新の研究成果を講義に反映させるために授業内容を変更する場合がある。

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

6. 成績評価方法/Evaluation method :

毎回の受講を前提に理解度確認セッション、または、レポートにより評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

公私混在の経済社会—近世イギリスにおける個人と都市法人—	川名 洋	日本経済評論社	2024年
British Economic Growth 1270–1870	S. Broadberry, et al.	Cambridge UP	2015
‘Japan’, in J. Baten, ed., A History of the Global Economy: 1500 to the Present	Osamu Saito	Cambridge UP	2016
The Cambridge Urban History of Britain, vol. II 1540–1840	• P. Clark, ed.	Cambridge UP	2000
メトロポリス・ロンドンの成立	A.L. ベーア, R. フィンレイ	三嶺書房	1992年
Emergence of Economic Society in Japan, 1600–1990	A. Hayami, Osamau Saito, R. P. Toby	Oxford UP	2004

8. 関連URL/URL :

西洋経済史Q & A : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/prologue.html>

イギリス経済史 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/englishheco.html>

文庫本で読む「西洋経済史」 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/ecoref2022.html>

受講者用リンク集 : <http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawana/link>

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義中に配布するテーマごとの文献リストを参考に講義内容についてさらに知識を深めてほしい。その上で、先進国経済の成立ちについて論理的に説明できるように、要点・疑問点等を講義内容に沿ってよく整理してもらいたい。

10. その他/In addition :

1. 本科目は選択科目です。初回の講義において成績評価の方法等に関する重要な説明を行うので、履修希望者は必ず出席し、説明内容を十分理解した上で履修すること。

2. 大学の国際化推進に向けて英語で講義内容について解説する場合があります。但し、英語力は履修条件としない。

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor：菅原 歩/AYUMU SUGAWARA

曜日・講時/Day/Period：前期 水曜日 2講時 経済学部第5演習室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM223E, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

グローバル経営史の基本

Basics of global business history

2. 学修の到達目標/Goal of study：

グローバル経営史研究の基本レベルについて現在の到達点を知る。

To find out about the basic knowledge of global business history research.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class：

授業内容・方法：

講義の進め方

テキストの該当箇所について、授業前半で、受講者のうちの担当者が要約を発表する。
(要約は受講者全員が毎回クラスルームで提出すること。)

授業後半では、ディスカッションと必要に応じた講師による解説を行う。

本講義では、グーグルクラスルームも使用する。クラスコードは、f2xqlxs

受講者数が多い場合は（演習室が満席になる程度の場合）、要約、質問、考察の発表では主にグーグルクラスルームを使用する場合がある。

(※なお、グーグルクラスルームへのログインと、学務情報システムでの「履修登録」は別なものなので、履修者は必ず履修期間内に学務情報システムでの履修登録も行うこと。)

進度予定：

第1回：講義のイントロダクション

第2回：Chap.1 Concepts (1)

第3回：Chap.1 Concepts (2)

第4回：Chap.2 Multinationals and Globalization (1)

第5回：Chap.2 Multinationals and Globalization (2)

第6回：Chap.4 Manufacturing (1)

第7回：Chap.4 Manufacturing (2)

第8回：Chap.5 Services (1)

第9回：Chap.5 Services (2)

第10回：Chap.6 Crossing Borders (1)

第11回：Chap.6 Crossing Borders (2)

第12回：Chap.7 Managing Multinationals (1)

第13回：Chap.7 Managing Multinationals (2)

第14回：Chap.11 Conclusions

第15回：理解度確認セッション（論述式）

講義の進展速度、受講者数などによって、内容・進度に多少の変更を加える場合がある。

Class content：

How to proceed with the lecture.

In the first half of the each class, a summary of the relevant sections of the text will be presented by some of the students in charge.

In the second half of the each class, there will be discussion and, if necessary, commentary by the lecturer.

Google Classroom will also be used in this lecture. The class code is f2xqlxs

If the number of students is larger (close to full of the room capacity), the presentation of summaries, questions and reflections may be mainly shared on the Google Classroom.

The class contents may be subject to change depending on the numbers of participants or extent of the speed of the class.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッション : 40 %

要約発表 : 30 %

討論への貢献 : 30 %

Comprehension review sessions: 40%.

Summary presentation: 30%.

Contribution to discussion: 30%.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Multinationals and Global Capitalism: From the Nineteenth to Twenty-First Century	Geoffrey Jones	Oxford University Press	2005	0-19-927210-7	教科書
国際経営講義：多国籍企業とグローバル資本主義	ジェフリー・ジョーンズ	有斐閣	2007年	978-4-641-16281-5	参考書

8. 関連URL/URL :

Google Classroom のクラスコードは f2xqlxs

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習：各回のテキスト内の該当章を事前に熟読してくる。要約の作成。

復習：討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。理解度確認セッションの準備。

Preparation: read the relevant chapters in the text for each session carefully in advance. and summarizing it.

Review: a discussion of the issues raised in the discussion

10. その他/In addition :

履修の条件 :

第1回の講義までにこのシラバスを読んでいること。(第1回の講義の際に確認します。)

受講希望者数が演習室の収容人数を超えるような場合は、受講者選抜テストを行う場合があります。

オフィスアワー：講義中に指示します。

メールアドレス：学生便覧の「経済学研究科教員・講師一覧表」にあります。

菅原の学部演習への参加を希望する場合には本講義を受講することを強くお勧めします。

Course prerequisite:

Students must have read this

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor：酒井 一輔/KAZUHO SAKAI

曜日・講時/Day/Period：後期 水曜日 2 講時 経済学部第2 3 演習室

対象学年/Eligible Participants：2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering：EAL-ECM223E, 単位数/Credit(s)：2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class：

近年、ジェンダー平等について社会的関心が高まるなかで、経済史研究の分野でも女性の労働やライフコース、エンパワメントに関する研究が急速に進展しつつあります。本授業では、経済史分野での女性労働やジェンダー（不）平等に関する代表的な著作や近年の論文を原文で読み、経済史研究の新潮流に触れることを目的とします。

In recent years, as social interest in gender equality has increased, research on women's labor, life course, and empowerment has rapidly progressed in economic history research. The purpose of this class is to expose you to new trends in economic history research by reading the original texts of representative works and recent papers on women's labor and gender inequality in economic history.

2. 学修の到達目標/Goal of study：

以下の通りです。

- ・英語で書かれた専門書や学術論文を読むことに習熟する。
- ・経済史研究における女性労働やジェンダー（不）平等に関する主要論点を理解する。

The goals of this class are that the student.

- (1) gets used to reading English books/articles
- (2) obtains basic knowledge of economic history research on women's labor and gender inequality.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class：

本授業では、毎回、事前準備（ホームワーク）として指定箇所（20 ページ前後）を和訳することが求められます。そのうえで授業時間内では、以下の通り進めます（ただし、履修者の人数と学年などに応じて変更する可能性があります）。①和訳した内容をグループ内で口頭報告する、②和訳した内容についていくつかの議題に即してグループ内で討論する、③和訳や討論の内容について講師から簡単な補足説明する、④討論や講義を踏まえて、各自のコメントを英語で記して提出する。

In this class, students are required to translate the designated sections (about 20 pages) into Japanese as homework each class. The class will then proceed as follows. (1) Oral group discussion of the translated material, (2) Group discussion of the translated material on several topics, (3) Brief supplementary explanation from the instructor on the translated material and discussion, (4) Submission of written comments in English based on the discussion and lecture.

講読する文献は以下を予定しています（ただし、履修者の人数と学年などに応じて変更する可能性があります）。各回授業で講読する分量はおおむね 20 ページ前後となります。

The reading book and articles are as follows (however, it may change depending on the number of students and grade level). The reading volume for each class is approximately 20 pages.

(1)Ruth Schwartz Cowan, More Work For Mother: The Ironies Of Household Technology From The Open Hearth To The Microwave, March 11, 1985

(2)Jane Whittle and Mark Hailwood, The gender division of labour in early modern England, The Economic History Review, Volume 73, Issue 1, 2020, pp. 3-32

(3)Mauricio Drelichman and David González Agudo, The Gender Wage Gap in Early Modern Toledo, 1550-1650, The Journal of Economic History, Volume 80, Issue 2, 2020, pp. 351 - 385

進捗予定は以下の通りです。The schedule is follows;

第1回ガイダンス

第2回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter1

第3回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter2

第4回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter3

第5回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter4(1)

第6回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter4(2)

第7回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter5(1)

第8回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter5(2)

第9回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter6(1)

第10回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter6(2)

第11回 Ruth Schwartz Cowan (1985) Chapter7

第12回 Ruth Schwartz Cowan (1985) についてのまとめ（小テスト含む）

第13回 Jane Whittle and Mark Hailwood(2020)

第14回 Mauricio Drelichman and David González Agudo(2020)

第15回まとめ（小テスト含む）

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicate the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

提出課題および小テストの出来栄 : 90 %

討論への貢献 : 10 %

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

8. 関連URL/URL :

Google Classroom のクラスコードは、cd7nnwb

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習 : 各回のテキスト内の該当章を事前に和訳してしてくる。

復習 : 討論で出た論点への考察を復習のための課題とする場合がある。

10. その他/In addition :

【トピックスリテラシー】外国書講読（英）/Topics of Literacy: Reading in Foreign Texts(English)

担当教員/Instructor: B A I YU/BAI YU

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 2 講時 経済学部第2 4 演習室

対象学年/Eligible Participants: 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM223E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

This course is also conducted under the guidance of Professor Yanjun Li.

We will focus on the book "How the World Became Rich: The Historical Origins of Economic Growth," authored by Mark Koyama and Jared Rubin. The book shows the majority of individuals today possess considerably more wealth than their ancestors. Humanity has acquired the vast majority of its riches within the past two centuries. How did this transformation occur? What factors contributed to the world's newfound prosperity?

2. 学修の到達目標/Goal of study:

The course would explore how the past can offer insights into how countries can overcome poverty. Certain prerequisites appear common to all successful economies. However, there is no universal solution. A society's history, institutions, and culture are pivotal in determining its potential for development..

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

1 Why, When, and How Did the World Become Rich?

2 Did Some Societies Win the Geography Lottery?

3 Is it all Just Institutions?

4 Did Culture Make Some Rich and Others Poor?

5 Fewer Babies?

6 Was it Just a Matter of Colonization and Exploitation?

7 Why Did Northwestern Europe Become Rich First?

8 Britain's Industrial Revolution

9 The Rise of the Modern Economy

10 Industrialization and the World it Created

11 The World is Rich

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course:

The course is conducted in English.

6. 成績評価方法/Evaluation method:

The examination method involves presenting chapters in class and submitting a report at the end of the semester.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

How the World Became Rich:	Mark Koyama, Jared Polity	2022	1509540237
The Historical Origins of	Rubin		
Economic Growth			

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

10. その他/In addition :

【トピックスリテラシー】ビジネス・コミュニケーションA/Topics of Literacy: Business Communication

A

担当教員/Instructor: ROMAN RAYMOND SC/ROMAN RAYMOND SCOTT

曜日・講時/Day/Period: 後期 木曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-ECM320E, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

The purpose of this course is to increase your business communication knowledge and abilities.

We will discuss a variety of business communication topics, with a focus on improving practical communication skills.

We will use Google Classroom (47r2hs4) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

At the end of this course you will have a better understanding of international business communication. You will be able to perform more effectively in a wide range of business situations as both an individual and team member.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

Contents and tentative schedule of the class:

To prepare for each class you will have a reading assignment and sometimes a written homework assignment. Often you will work with other students in small groups, discussing the homework assignment or doing other activities. We will have many opportunities to practice discussion and presentation skills during class time.

The method of instruction (in-person, online, etc.) will be announced within Classroom.

1: Introduction

2: Business Writing (homework = 5 points)

3: Team Communication Effectiveness (homework = 5 points)

4: Leadership Communication (homework = 5 points)

5: Rhetoric and Public Speaking (homework = 5 points)

6: Presentation Preparation (homework = 5 points)

7: Confirmation of understanding

8: Presentation Performance (homework = 10 points)

9: Student Presentations-a (practice) and/or video on presentation skills

10: Student Presentations-b (practice)

11: Student Presentations-a (evaluated)

12: Student Presentations-b (evaluated)

13: Student Presentations (continued)

14: Student Presentations (continued)

15: Review of student presentations, Summary of Course and Q&A

4. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

○

5. 使用言語/Language Used in Course:

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method:

Evaluation Method:

Homework 35% Comprehension-level Check 25%* Presentation 30% Participation 10%

*There will be an in-class confirmation of your understanding.

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

8. 関連URL/URL:

9. 授業時間外学修/Preparation and Review:

Students should

- ・ Be prepared for each class
- ・ Complete all assignments completely and on time
- ・ Participate effectively and energetically in class exercises
- ・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition :

There is no textbook. Materials will be distributed by Google Classroom / email.

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)

Email: ray.roman.b6[at]. . .

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業／Practical business

【トピックスリテラシー】ビジネス・コミュニケーションB/Topics of Literacy: Business Communication

B

担当教員/Instructor : ROMAN RAYMOND SC/ROMAN RAYMOND SCOTT

曜日・講時/Day/Period : 前期 木曜日 5 講時 経済学部第2演習室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM321E, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

The purpose of this course is to increase your business communication and English knowledge and abilities relating to business. We will discuss and practice assertiveness, negotiation and discussion skills, with a focus on improving practical English communication vocabulary and skills. We will use Google Classroom (rosslai) as the main tool for announcing updates, distributing assignments, etc.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

At the end of this course you will have a better understanding of international business communication. You will be able to perform more effectively in a wide range of business situations as both an individual and team member.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

The method of instruction will be in-person unless otherwise announced. Tentative schedule:

1. Introduction: Course explanation and Q/A
2. Introduction to Assertiveness
3. Practice Scenario 1
4. What is Effective Negotiation? Two Key Ideas
5. Practice Scenario 2 & Two More Key Negotiation Ideas
6. Practice Scenario 3 & Review and Q/A
7. Confirmation of Understanding
8. Additional Reading 1
9. Additional Reading 2
10. Practice Scenario 4 & Introduction to Group Presentation
11. Paper Check-In 1: Your Main Idea and Outline
12. Presentation Check-in: Role allocations and draft slideshows
13. Paper Check-In 2: Your Draft; Presentation Q/A
14. Presentations by Groups: Key Points of Paper
15. Group presentations, continued; Paper due; What did we learn? Comments; Q&A

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

○

5. 使用言語/Language Used in Course :

English (Instruction and classroom discussion). (日本語での質問、相談も可能。)

6. 成績評価方法/Evaluation method :

Paper: 25% Comprehension-level Check: 30%* Presentation: 35% Participation 10% *There will be a 90-minute, in-class confirmation of your understanding.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

Getting To Yes: Negotiating An Agreement Without Giving In	Fisher	Ury and Patton	2012 Ed	9781847940933

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

- Students should
- ・ Be prepared for each class
 - ・ Complete all assignments completely and on time
 - ・ Participate effectively and energetically in class exercises

・ Give best effort in all activities

10. その他/In addition :

Other materials will be provided as needed

Office hours: Thursday 13:30-14:30 or by appointment (Please send email beforehand.)

A minimum number of four students required to hold the class.. However, meeting time and day may be flexible, so if you are

【トピックス経営学】市場戦略／市場戦略 I /Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market Strategy I

担当教員/Instructor : 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHI

曜日・講時/Day/Period : 後期 月曜日 2 講時

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN315J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

マーケティングの基本的概念とその運用に関して、環境分析を中心に講義と発表やグループワークなどを通じて理解する。

This course aims to help students understand the basic concepts of marketing and its operation through lectures and group works.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

マーケティングの基本的な前提となる概念について、環境分析を中心に理解し、企業行動のような社会現象に当てはめて解釈できるようになる。

Students will understand basic concepts of marketing and become able to interpret social phenomena such as corporate management by application of those concepts.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

本講義は Google Meet を用いてオンラインで行う。
Google Classroom のクラスコードは e5lk2xs である。
学期中は常に確認するようにしてほしい。

- 第1回 インTRODakション
- 第2回 マーケティングの基本① マーケティングの仕組み 1
- 第3回 マーケティングの基本① マーケティングの仕組み 2
- 第4回 マーケティングの基本② マーケティングの発展史 1
- 第5回 マーケティングの基本② マーケティングの発展史 2
- 第6回 マーケティングの基本③ マーケティング計画の策定 1
- 第7回 マーケティングの基本③ マーケティング計画の策定 2
- 第8回 顧客と競争環境の分析① マクロ環境の分析 1
- 第9回 顧客と競争環境の分析① マクロ環境の分析 2
- 第10回 顧客と競争環境の分析② 顧客の分析 1
- 第11回 顧客と競争環境の分析② 顧客の分析 2
- 第12回 顧客と競争環境の分析③ 市場戦略と競争対応 1
- 第12回 顧客と競争環境の分析③ 市場戦略と競争対応 2
- 第13回 顧客と競争環境の分析④ マーケティング・インテリジェンス
- 第14回 ゲストスピーカー一回
- 第15回 振り返り並びに質疑応答

※第14回にゲストスピーカー回が設定されているが、調整によって開催有無・日程は変更される。

This class will be given in a combination of lectures and student presentations.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

講義中に行われる課題を通じて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

マーケティング入門

小川孔輔

日本経済新聞出版 2009
社

45321696

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

履修者の状況に応じて、講義内容は変更されることがあります。
あらかじめ承知しておいてください。

【トピックス経営学】市場戦略／市場戦略Ⅱ/Topics of Business and Management: Market Strategy/ Market Strategy II

担当教員/Instructor: 一小路 武安/TAKEYASU ICHIKOHI

曜日・講時/Day/Period: 後期 水曜日 1 講時

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN317J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

マーケティングの基本的概念であるとその運用に関して、4つのP(製品、価格、販売促進、流通チャネル)を中心に講義と発表やグループワークなどを通じて理解する。

This course aims to help students understand the basic concepts of marketing and its operation through lectures and group works.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

マーケティングの基本的な前提となる概念について、4つのPを中心に理解し、企業行動のような社会現象に当てはめて解釈できるようになる。

Students will understand basic concepts of marketing and become able to interpret social phenomena such as corporate management by application of those concepts.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

本講義はGoogle Meetを用いてオンラインで行う。
Google Classroomのクラスコードはgbefolkである。
学期中は常に確認するようにしてほしい。

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 マーケティング意思決定① 製品開発 1
- 第3回 マーケティング意思決定① 製品開発 2
- 第4回 マーケティング意思決定② 価格の決定 (1)1
- 第5回 マーケティング意思決定② 価格の決定 (1)2
- 第6回 マーケティング意思決定③ 価格の決定 (2)1
- 第7回 マーケティング意思決定③ 価格の決定 (2)2
- 第8回 マーケティング意思決定④ コミュニケーション戦略 (1)1
- 第9回 マーケティング意思決定④ コミュニケーション戦略 (1)2
- 第10回 マーケティング意思決定⑤ コミュニケーション戦略 (2)1
- 第11回 マーケティング意思決定⑤ コミュニケーション戦略 (2)2
- 第12回 マーケティング意思決定⑥ 流通チャネル政策 (1)
- 第13回 マーケティング意思決定⑥ 流通チャネル政策 (2)
- 第14回 ゲストスピーカー回
- 第15回 振り返り並びに質疑応答

※第14回にゲストスピーカー回が設定されているが、調整によって開催有無・日程は変更される。

This class will be given in a combination of lectures and student presentations.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

授業中に行われる課題を通じて評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

マーケティング入門

小川孔輔

日本経済新聞出版 2009
社

45321696

教科書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

10. その他/In addition :

履修者の状況に応じて、授業内容が多少変更されることがあります。
あらかじめ承知しておいてください。

【トピックス統計学】OR／オペレーションズ・リサーチ I /Topics of Statistics: Operations Research/ Operations Research I

担当教員/Instructor : 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period : 前期 月曜日 2 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN310J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

オペレーションズ・リサーチとは、組織の活動をシステムとして捉え、運営上の課題解決を目指す手法の体系である。そこでは、モデル化を通じた課題の表現、システムの構成要素間の関係の定量的な把握、数理的・数値的な技法の適用などのアプローチが用いられる。

本講義では、オペレーションズ・リサーチの基本的な技法を説明すると同時に、それらの手法の実際の適用事例もあわせて紹介することによって、受講者が問題のモデル化、モデルの操作、結果の解釈の方法を身につけることを目的とする。

【トピックス統計学】OR／オペレーションズ・リサーチ I においては、最適化技法を中心とした内容を取り扱う。

Operations Research is a field that considers an organization and its activities as a complex and coordinated system. It aims to find effective solutions for decision-making problems in different phases of an organization's operation. To achieve this, Operations Research uses systematic methods, including modeling to represent a managerial problem, quantitatively measuring system components' relations, and applying mathematical and computational techniques.

This course will provide an introduction to the basic and standard methods of Operations Research. It will also provide practical examples of how these methods are applied. Students are expected understand how to model a typical problem, operate the model, and interpret the result derived from the model.

The primary focus of the course is on optimization techniques in Operations Research I.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

- ・線形計画法について、対象とする問題のモデル化とその最適解の解釈ができる
- ・整数計画問題を線形計画法との関連性から理解し、組み合わせ問題へ適用することができる
- ・動的計画法の基本的な性質を踏まえて、状態に応じた決定の仕組みを理解する

The aims of the course are as follows:

Students can model a problem in question as a linear programming problem, solve it computationally, and figure out the meaning of computational results.

Students can understand the property of integer programming from its association with linear programming and can apply it to combinatorial problems.

Based on the basic properties of dynamic programming, students can understand the mechanism of a state-depending decision.

3. 授業内容・方法と進度予定/Contents and progress schedule of the class :

オペレーションズ・リサーチにおける最適化に関する基本的な手法を紹介する。モデルに関する技法や数理的な性質等とあわせて、どのような場面で何を目的として用いられるのかという応用上のポイントについても説明する予定である。

講義資料は Google Classroom (classroom コード : h25tsqw) を通じて配布する。

The following essential topics in Operations Research are provided in the course. Both the technical and mathematical aspects of models are explained, and we will also discuss the crucial points for practical application, which depend on a model's objective and target.

Class materials are distributed via Google Classroom. Classroom code is h25tsqw.

- 1 決定木 / Decision tree
- 2 故障木 / Fault tree
- 3 LP (1) 線形計画法 (LP) のイントロダクション / Introduction of linear programming (LP)
- 4 LP (2) 配合を決める問題 / Determining a distribution
- 5 LP (3) LP の性質 / Properties of LP
- 6 LP (4) 基底形式表現と潜在価格 / Dictionary and shadow price
- 7 IP (1) 整数計画法(IP)の基本 / Basics of integer programming (IP)
- 8 IP (2) ナップサック問題 / Knapsack problem
- 9 IP (3) 集合被覆問題 / Set covering problem
- 10 IP (4) 日程スケジューリング / Production scheduling
- 11 IP (5) 機械スケジューリング / Machine scheduling
- 12 DP (1) 動的計画法(DP)の考え方 / Concept of dynamic programming (DP)
- 13 DP (2) DP の適用事例 (i) / Application of DP (i)
- 14 DP (3) DP の適用事例 (ii) / Application of DP (ii)
- 15 新聞売り子問題 / Newsvendor problem

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点と理解度確認セッション（筆答試験）の点数にもとづいて総合的に評価する。詳しくは、講義中に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

オペレーションズ・リサーチ	森雅夫・松井知巳	朝倉書店	2004	978-4254275384	参考書
意思決定のための数理モデル入門	今野 浩, 後藤順哉	朝倉書店	2011	978-4254275551	参考書
モデリングの諸相	室田 一雄 他	近代科学社	2016	978-4764905191	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義資料を事前に配布するので講義の前に目を通しておくこと。
予習と復習のため、適宜課題を課す。

10. その他/In addition :

【トピックス統計学】OR／オペレーションズ・リサーチⅡ/Topics of Statistics: Operations Research/ Operations Research II

担当教員/Instructor: 鈴木 賢一/KENICHI SUZUKI

曜日・講時/Day/Period: 前期 水曜日 1 講時 経済学部第3講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN314J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

オペレーションズ・リサーチとは、組織の活動をシステムとして捉え、運営上の課題解決を目指す手法の体系である。そこでは、モデル化を通じた課題の表現、システムの構成要素間の関係の定量的な把握、数理的・数値的な技法の適用などのアプローチが用いられる。

本講義では、オペレーションズ・リサーチの基本的な技法を説明すると同時に、それらの手法の実際の適用事例もあわせて紹介することによって、受講者が問題のモデル化、モデルの操作、結果の解釈の方法を身につけることを目的とする。

【トピックス統計学】OR／オペレーションズ・リサーチⅡにおいては、ネットワーク構造を持つ問題を中心とした内容を扱う。

Operations Research is a field that considers an organization and its activities as a complex and coordinated system. It aims to find effective solutions for decision-making problems in different phases of an organization's operation. To achieve this, Operations Research uses systematic methods, including modeling to represent a managerial problem, quantitatively measuring system components' relations, and applying mathematical and computational techniques.

This course will provide an introduction to the basic and standard methods of Operations Research. It will also provide practical examples of how these methods are applied. Students are expected to understand how to model a typical problem, operate the model, and interpret the result derived from the model.

The course of Operations Research II mainly covers the problems with a network structure.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

ネットワークの構造と性質を数理的に表現することができる

ネットワークの構造を持つ問題の性質を理解し、その性質を生かしたモデル化を通じて現実の問題にアプローチできる。

The course aims to achieve the following objectives:

Students can represent the network's structure and property with mathematical expressions.

Students can understand the properties of problems with network structure. They also make use of the knowledge to construct effective models and approach various practical problems.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

オペレーションズ・リサーチにおける最適化に関する基本的な手法を紹介する。モデルに関する技法や数理的な性質等とあわせて、どのような場面で何を目的として用いられるのかという応用上のポイントについても説明する予定である。

講義資料はGoogle Classroom (classroomコード: kkdppo3) を通じて配布する。

The following essential topics in Operations Research are provided in the course. Both the technical and mathematical aspects of models are explained, and we will also discuss the crucial points for practical application, which depend on a model's objective and target.

Class materials are distributed via Google Classroom. Classroom code is kkdppo3.

- 1 階層分析法(AHP) (i) / Analytic Hierarchy Process (i)
- 2 階層分析法(AHP) (ii) / Analytic Hierarchy Process (ii)
- 3 ネットワークの基礎 / Elements of network
- 4 輸送問題 / Transshipment problem
- 5 整数性と割当問題 / Integrality and allocation problem
- 6 割当問題: Shield net
- 7 最大流問題と最小カット問題 / Maximum flow problem and minimum cut problem
- 8 巡回セールスマン問題 (TSP) / Traveling salesperson problem (TSP)
- 9 搬送経路問題 / Vehicle routing problem (VRP)
- 10 プロジェクトネットワーク / Project network
- 11 CPM / CPM
- 12 ネットワーク分析 (i) / Network analysis (i)
- 13 ネットワーク分析 (ii) / Network analysis (ii)
- 14 事例紹介 / Practical application of OR
- 15 レビュー / review

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

平常点と期末の課題の評価にもとづいて総合的に評価する。詳しくは、講義中に説明する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

オペレーションズ・リサーチ	森雅夫・松井知巳	朝倉書店	2004	978-4254275384	参考書
意思決定のための数理モデル入門	今野 浩, 後藤順哉	朝倉書店	2011	978-4254275551	参考書
モデリングの諸相	室田 一雄 他	近代科学社	2016	978-4764905191	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

講義資料を事前に配布するので講義の前に目を通しておくこと。
予習と復習のため、適宜課題を課す。

10. その他/In addition :

【トピックス統計学】ファイナンス／証券投資/Topics of Statistics: Finance/ Investment and Security Analysis

担当教員/Instructor : 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period : 前期 火曜日 3 講時 経済学部第 2 講義室

対象学年/Eligible Participants : 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-MAN311J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

この授業では、ファイナンス理論の主要な分野のひとつである証券投資（インベストメント）の基礎を紹介する。証券投資における金融証券の価値評価とポートフォリオ選択に関する基本的な考え方について説明する。

This course introduces basic to investment theory, which is one of the important research areas of theory of finance. This course demonstrates basic concepts on security valuation and portfolio choice in investment theory.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

証券投資の基本的な考え方を学ぶ。

Students learn about basic concepts in investment theory

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

授業は講義を中心に進める。内容及び進捗予定は以下のとおりである。

This is a lecture-centered course. The contents and schedule are as shown below:

第1回：オリエンテーション／Orientation

第2回：お金の時間価値／Time Value of Money

第3回：キャッシュフロー流の現在価値／Present Value of a Cash Flow Stream

第4回：債券評価（1）／Valuing Bonds（1）

第5回：債券評価（2）／Valuing Bonds（2）

第6回：リターンとリスク／Return and Risk

第7回：ポートフォリオ選択（1）／Portfolio Choice（1）

第8回：ポートフォリオ選択（2）／Portfolio Choice（2）

第9回：ポートフォリオ選択（3）／Portfolio Choice（3）

第10回：資本資産評価モデル／The Capital Asset Pricing Model

第11回：先渡契約／Forward contracts

第12回：先物取引／Futures

第13回：金融オプション（1）／Financial options（1）

第14回：金融オプション（2）／Financial options（2）

第15回：理解度確認セッション／Examination

内容及び進捗予定は諸事情により変更されることがある。

The contents and schedule are subject to change due to various reasons.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

実務・実践的授業：該当しません。

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method :

理解度確認セッションで実施する課題テストによって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

コーポレートファイナンス（入門編）第2版	パーク・ディマーズ	丸善出版	2014	4621066102	参考書
コーポレートファイナンス（応用編）第2版	パーク・ディマーズ	丸善出版	2014	4621066110	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

「教科書および参考書」に記載した図書を読み、章末問題に取り組むことを推奨する。

10. その他/In addition :

【トピックス統計学】ファイナンス／財務管理/Topics of Statistics: Finance/ Financial Management

担当教員/Instructor: 嘉本 慎介/SHINSUKE KAMOTO

曜日・講時/Day/Period: 前期 木曜日 2 講時 経済学部第2講義室

対象学年/Eligible Participants: 3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering: EAL-MAN318J, 単位数/Credit(s): 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class:

この授業では、ファイナンス理論の主要な分野のひとつである財務管理（コーポレートファイナンス）の基礎を紹介する。財務管理における投資プロジェクトの意思決定、資金調達と資本構成、ペイアウト政策などに関する基本的な考え方について説明する。

This course introduces basic to corporate finance theory, which is one of the important research areas of theory of finance. This course demonstrates basic concepts on corporate investment decisions, financing and capital structure, dividend policy in corporate finance theory.

2. 学修の到達目標/Goal of study:

財務管理の基本的な考え方を学ぶ。

Students learn about basic concepts in corporate finance theory

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class:

授業は講義を中心に進める。内容及び進捗予定は以下のとおりである。

This is a lecture-centered course. The contents and schedule are as shown below:

第1回: オリエンテーション/Orientation

第2回: 投資の意思決定法/Investment Decision Rules (1)

第3回: 投資の意思決定法/Investment Decision Rules (2)

第4回: 資本コスト/Cost of Capital

第5回: 株式評価/Valuing Stocks

第6回: 市場の効率性/Market Efficiency

第7回: 情報の非対称性と企業の意思決定/Asymmetric information and corporate financial decisions

第8回: 資本構成 (1) /Capital Structure (1)

第9回: 資本構成 (2) /Capital Structure (2)

第10回: 資本構成と財務破綻/Capital structure and financial distress

第11回: 企業のエージェンシー問題 (1) /Agency problems of corporations (1)

第12回: 企業のエージェンシー問題 (2) /Agency problems of corporations (2)

第13回: ペイアウト政策/Payout Policy

第14回: 企業の合併と買収/Mergers and Acquisitions

第15回: 理解度確認セッション/Examination

内容及び進捗予定は諸事情により変更されることがある。

The contents and schedule are subject to change due to various reasons.

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

実務・実践的授業: 該当しません。

5. 使用言語/Language Used in Course:

日本語

6. 成績評価方法/Evaluation method:

理解度確認セッションで実施する課題テストによって評価する。

7. 教科書および参考書/Textbook and references:

コーポレートファイナンス（入門編）第2版	パーク・ディマーズ	丸善出版	2014	4621066102	参考書
コーポレートファイナンス（応用編）第2版	パーク・ディマーズ	丸善出版	2014	4621066110	参考書

8. 関連URL/URL :

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

「教科書および参考書」に記載した図書を読み、章末問題に取り組むことを推奨する。

10. その他/In addition :

経済数理/Mathematical Science for Economics

担当教員/Instructor : 狩野 隼輔/SHUNSUKE KANO

曜日・講時/Day/Period : 後期 木曜日 5 講時 経済学部第1講義室

対象学年/Eligible Participants : 2・3・4,

科目ナンバリング/Course Numbering : EAL-ECM232J, 単位数/Credit(s) : 2

1. 授業の目的と概要/Object and summary of class :

数学において「近さ」を表す概念として「位相」と呼ばれるものがある。
位相の導入により、様々な図形の形を大まかに捉え、扱うことができるようになった。
本講義では位相の初歩的な概念について学び、現在の確率論の礎となっている測度論の導入を行うことを目的とする。

In mathematics, there is the notion of "topology", which represents the "nearness".
We can treat various kinds of geometric objects roughly as a benefit of introducing the topology.
In this lecture, we learn some basic notions of topology, and also we learn the measure theory as a foundation of probability theory.

2. 学修の到達目標/Goal of study :

距離空間及び距離から定まる位相、開集合・閉集合などの位相の基礎事項について理解すること、
また確率空間の定義を知ること为目标とする。

The aim is to understand some basics of topology, such as metric space, the topology introduced by a metric, open set, closed set, and to know the definition of the probability space.

3. 授業内容・方法と進捗予定/Contents and progress schedule of the class :

1. ガイダンス、集合の演算 1 / Guidance, operations for sets 1
2. 集合の演算 2 / Operations for sets 2
3. 実直線から実直線への連続関数と極限 / Continuous function from real line to real line and limit
4. 実平面から実平面への連続写像と極限 / Continuous map from real plane to real plane and limit
5. 距離空間 / Metric space
6. 距離空間から距離空間への連続写像と極限 / Continuous map from metric space to metric space and limit
7. 開集合と閉集合 / Open set and closed set
8. 位相の導入 / Introduction to topology
9. 位相空間から位相空間への連続写像と極限 / Continuous map from topological set to topological set and limit
10. コンパクト性 / Compactness
11. 位相空間の演算 / Operators for topological spaces
12. 測度の導入 / Introduction to measure
13. ルベーグ測度 / Lebesgue measure
14. 確率空間 1 / Probability space
15. 理解度確認セッション / Comprehension check session

4. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

5. 使用言語/Language Used in Course :

日本語 / Japanese

6. 成績評価方法/Evaluation method :

数回のレポートと理解度確認セッションで評価する予定である。詳しくは授業初回で説明する。

Evaluation will be performed by several assignments and a comprehension check session. It will be explained in detail in the first class.

7. 教科書および参考書/Textbook and references :

集合と位相	斎藤毅	東京大学出版会	2016	4130629581	参考書
はじめての確率論 測度から確率へ	佐藤坦	共立出版	1994	4320014731	参考書
位相への30講	志賀浩二	朝倉書店	1988	4254114796	参考書

8. 関連URL/URL :

classroom コード : vbgtuy6 / classroom code: vbgtuy6

9. 授業時間外学修/Preparation and Review :

予習復習に努めること。

Students are required to look over the textbook for the next class as well as for the review.

10. その他/In addition :